HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立電気洗濯乾燥機

型式

ビーディー　エスエックス　シーエル
BD-SX110CL
（左開きドアタイプ）

ビーディー　エスエックス　シーアール
BD-SX110CR
（右開きドアタイプ）



ヒートリサイクル 風アイロン
ビッグドラム
日立ドラム式洗濯乾燥機

日立の家電品 お客様サポート

ホームページから以下のサービスがご利用いただけます。

- ▶ 使いかた動画
- ▶ 家電品の登録 ※1
- ▶ お知らせ
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ

※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。

詳しくは→(P.108)

このたびは日立電気洗濯乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・据付説明書・洗濯乾燥機設置時のチェックシート(据付確認書)とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→**(P.8～11)**をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ・付属品 4
操作パネルのはたらき 6
安全上のご注意 8
使用上のご注意 12
据え付け状態の確認 12

お洗濯の前に

洗濯物の確認と準備 13
洗濯も乾燥もできないもの 13
乾燥できないもの 13
洗濯物の準備 14
洗濯物の量と重さの目安 15
洗濯物の片寄りを防ぐ 15
自動投入を使う 16
自動投入時の洗剤や柔軟剤の基準量を設定 16
自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の入れかた 17
自動投入の設定・解除 18
自動投入の使いかた 18
手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた 20
手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた 20
手動投入時の洗濯物の量の計測と洗剤量表示 22
手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤量 22
洗濯のりの使いかた 24
使用できる洗濯のり 24

使いかた

風呂水(お湯取運転)を使う 25
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた 25
お湯取運転の設定 27
ドアの開閉について 29
ドアの開けかた・閉めかた(ドアロックされていないとき) 29
ドアのロックを解除する 30
ドアロック(チャイルドロック)について 30
閉じ込め防止機能について 31
運転中にドアを開けるとき 32
運転コースの選びかた 33
洗濯・洗濯～乾燥する 34
使いかた 34
各機能の設定・解除 35
乾燥する 36
使いかた 36
「標準」コースの時間を使い分ける 37
毛布コースでお洗濯キャップを使う 38
お洗濯キャップの使いかた 38
毛布コースで洗濯・洗濯～乾燥・乾燥する 39
洗濯の準備 39
毛布・掛け布団の折りかた・入れかた 40
毛布・掛け布団の干しかた 40
使いかた 41
ダニ対策コースを使う 42
洗濯物の準備 42
使いかた 43
おしゃれ着コースで洗濯する 44
洗濯物の準備 44
使いかた 45
デリケートコースで洗濯する 46
洗濯物の準備 46
使いかた 46
消臭除菌・花粉コースを使う 47
消臭除菌コースが使えるもの 47
使いかた 47
静止乾燥する 48
洗濯物の準備 48
乾燥が終わったら 48
使いかた 49
スチームアイロンを使う 50
コースの使い分け 50
スチームアイロン機能について 50
スチームアイロンできるもの 50
使いかた 51
AIお洗濯を使う 52
AIお洗濯について 52
使いかた 53
自動おそうじを使う 54
使いかた 54
温水ミスト(温め自動/30分/90分)を使う 55
機能の使い分け 55
「温水ミスト」(温め自動)の使いかた 56
「温水ミスト」(30分/90分)の使いかた 57
ナイアガラすすぎを使う 58
使いかた 58
手造りコースを使う(自分でコースを造る) 59
使いかた 59
お好みの設定で運転する 60
洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定を変更する 60
「脱水のみ」などの個別運転をする 61
運転内容と変更できる内容 62
予約運転をする 64
予約の使いかた(切り替え内容) 64
使いかた 65

便利な使いかた 66
運転スタート音・終了予告音・終了音の設定 66
終了予告音の設定 66
脱水具合を調節する 67
乾き具合を調節する 67
「洗い」ボタンを押して、設定を変更する 68
「洗▶乾」運転時の振動や音を抑える 68
脱水運転時の振動や音を抑える／
脱水の立ち上がりをスムーズにする 69
除湿方式を変更する 69
乾燥後の洗濯物のふんわり感を保つ(ふんわりガード) 70
脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる(温風ほぐし脱水) 70

お手入れ

お手入れをする 72
糸くずフィルター 72
乾燥フィルター 74
乾燥フィルター差し込み口 76
洗剤ケースふた 77
洗剤ケース 77
自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)・タンク取付部 78
自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)と液体洗剤・柔軟剤経路 79
本体、ドラム 80
水栓(蛇口)、ワンタッチつぎて、給水ホース 80
風呂水吸水口 81
お湯取ホース・クリーンフィルター 81
給水口 82
排水口・排水トラップ 83
自動投入部ふた 83
温水槽洗浄・槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする 84
コースの使い分け 84
温水槽洗浄・槽洗浄コース 84
槽乾燥コース 84
使いかた 85

お困りのとき

お知らせ表示(「C○○」などが表示)されたとき 86
こんな音がしたとき 88
本体各部 89
① 音 89
② 振動 89
③ 給水口・給水 89
④ 排水口・排水 90
⑤ ドア 90
⑥ ドラム 90
⑦ 電源 90
⑧ 洗剤ケース 90
⑨ 自動投入部 (液体洗剤タンク・柔軟剤タンク) 91
⑩ 乾燥フィルター 91
⑪ 風呂水吸水口・風呂水吸水 92
⑫ 本体 92
本体の運転動作 92
⑬ 自動おそうじ 92
⑭ 運転動作 92
⑮ 運転時間 94
操作パネルの表示内容 95
⑯ 洗剤量表示 95
⑰ 運転中表示 95
⑱ 残時間表示 96
洗濯物の仕上がりが気になる 97
⑲ 洗剤残りがある(白いものが残る) 97
⑳ 糸くずが気になる 97
㉑ 汚れ落ちがわるい 97
㉒ 黒ずみが気になる 98
㉓ 黄ばみが気になる 98
㉔ 色移りや変色が気になる 98
㉕ 洗濯物がゴワゴワする 98
㉖ においがする 99
㉗ 柔軟剤の効果がない 100
㉘ 乾きがわるい 100
㉙ 乾燥じわが気になる 100

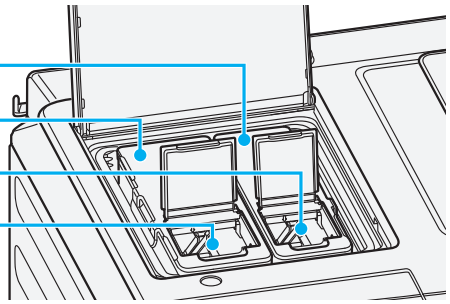
アフターサービスなど

もしものとき 101
給水ホース内の水抜きをするとき
(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき) 101
もしも凍結したとき 101
別売り部品 102
仕様・試験結果 104
保証とアフターサービス 106
点字シール 108

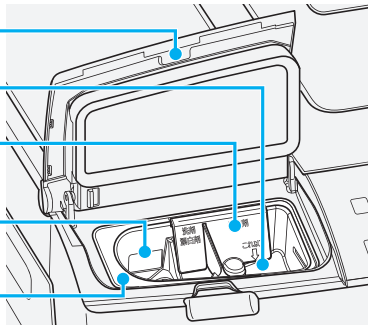
各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→(P.○○)で示しています。

自動投入部→(P.16～19、P.78、79)



手動投入部→(P.20、77)

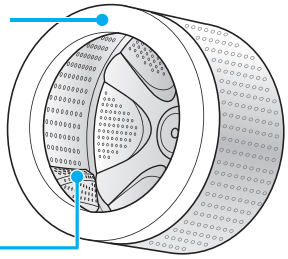


ドラム(洗濯・脱水槽)

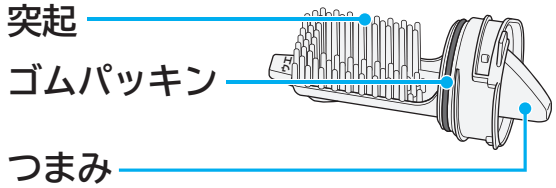
バランスリング(4重流体バランサー)

※ドラムを回すと水の音がしますが、これは脱水時のバランスを取るためにバランスリングの中に入っている水の音です。ドラム内に水が残っている訳ではありません。

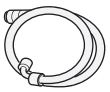
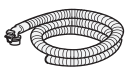
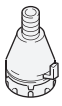
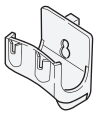
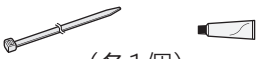
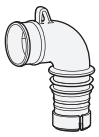
リフター



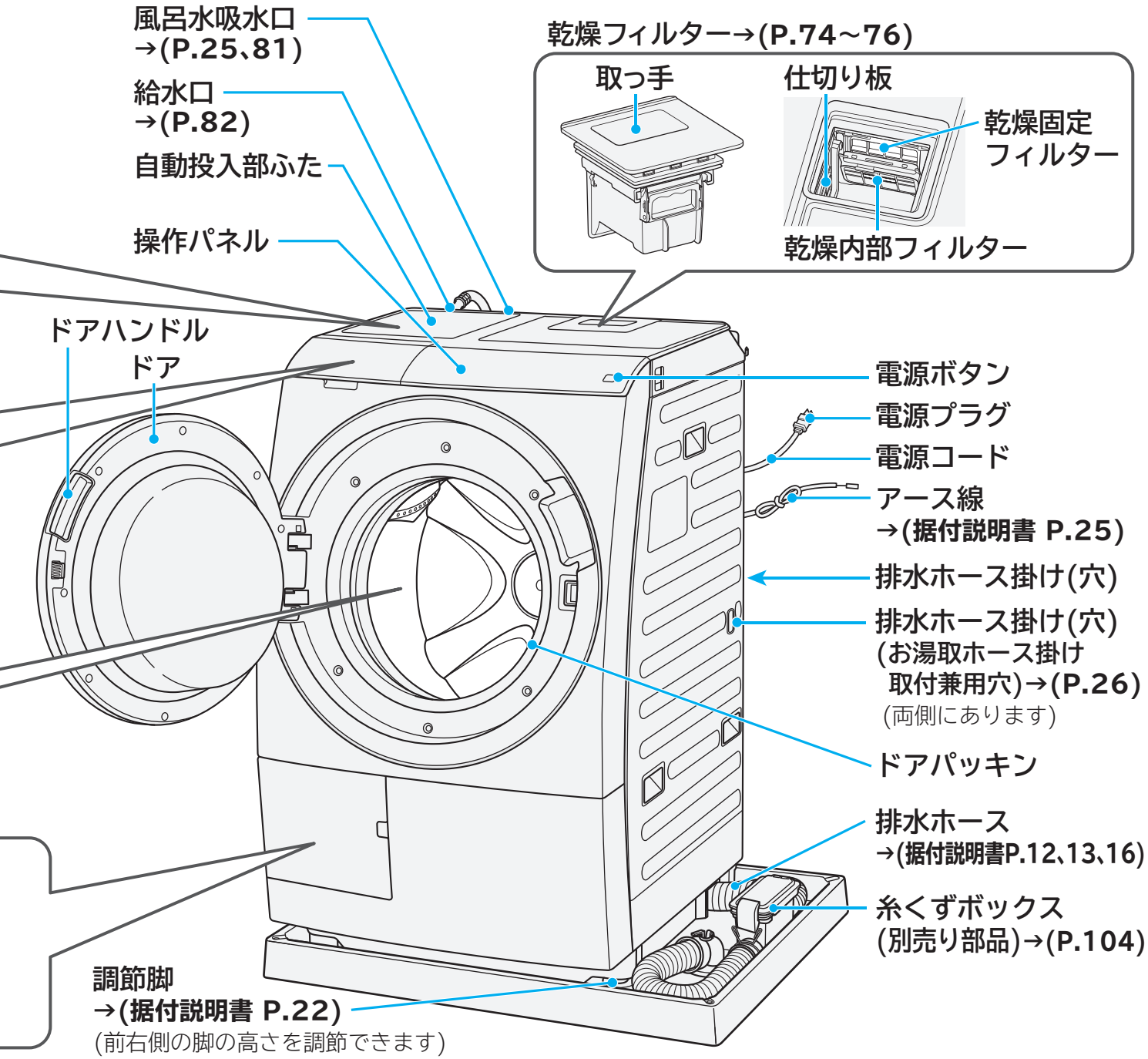
糸くずフィルター→(P.72、73)

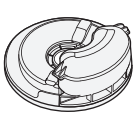
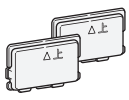
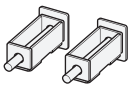


付属品

水栓との接続に使用します		風呂水を使うときに使用します		お湯取ホースを片づけるときに使用します	排水ホースと排水口・排水トラップなどを接続する場合に使用します	
ワンタッチつぎて →(据付説明書 P.6)	給水ホース(約0.8m) →(据付説明書 P.23)	お湯取ホース(約4m)(吸水ホース) →(P.25、26)	クリーンフィルター →(P.25、26)	お湯取ホース掛け →(P.26)	排水ホース接続セット →(据付説明書 P.14、16～19)	排水エルボ →(据付説明書 P.19)
					アダプター ホースフック Lパイプ  結束バンド 接着剤 	
(1個)	(1本)	(1本)	(1個)	(1個)	(各1個)	(1個)

■BD-SX110CRをお買い上げのお客さまへ
●この取扱説明書は、BD-SX110CL(左開きドアタイプ)で説明しています。
●BD-SX110CR(右開きドアタイプ)はドアが開く方向と「ドアハンドル」の位置が異なりますが、使いかたは同じです。



	排水口からの水はね、ニオイを防止するために使用します	本体を水平に据え付けるときに使用します	輸送用ボルトを外したあとの穴ふさぎに使用します	輸送用ボルトの取り付け・取り外しのときに使用します	本体輸送時や据え付け時の槽固定に使用します	本体の水平を確認するときに使用します
	排水トラップカバー →(据付説明書 P.16、18、19)  (1個)	脚キャップ(高さ調整用) →(据付説明書 P.22)  6mm 3mm (各1個) 両面テープ  (1枚)	カバー →(据付説明書 P.7)  (2個)	輸送用ボルト取り外しスパナ →(据付説明書 P.7)  (1個)	輸送用ボルト →(据付説明書 P.7)  (2個)	水準器 ※水準器は洗濯機専用です。 →(据付説明書 P.22)  (1個)

操作パネルのはたらき

説明のために、すべての表示を点灯状態にしています。

運転状態情報表示(運転中の動作内容を表示します)

衣類片寄り見直し中	ほぐし動作により、洗濯物の片寄りを見直しています。
運転見直し中	AIお洗濯中や泡消し動作中、「ダニ対策」コース時の温風行程中、乾燥中の残時間を見直しています。
排水トラップ給水中	排水口からのにおいの逆流を防ぐため、排水トラップへ水をためています。 点滅中は電源ボタンを押しても電源は切れません。(約3～12分後に電源が切れます)

残時間・洗剤量・予約時間・お知らせ表示→(P.19、22、64、86)

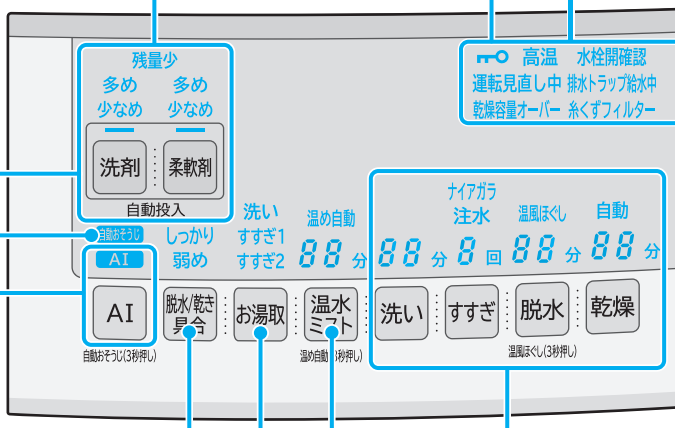
- ●運転スタート後に洗剤量・残時間の目安が表示されます。
- ●「予約」を押すごとに予約運転終了予定時間が表示されます。
- ●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。
  例：C02、F01など
- ●自動投入の基準量を設定したときに、洗剤や柔軟剤の基準量が表示されます。例：20、10など

液体洗剤や柔軟剤の自動投入を使う→(P.16~19)

液体洗剤や柔軟剤を洗濯のたびに自動で適量投入します。

自動おそうじを使う→(P.54)

洗濯槽の裏側などの見えない部分に付着した汚れなどを自動で洗い流します。



AIお洗濯を使う→(P.52、53)

複数のセンサーで洗剤の種類や布質・汚れの量などの情報を見て、自動で各行程に適した洗濯制御で運転します。

脱水/乾き具合を調節する→(P.67)

脱水の回転数と乾燥時の乾き具合を「しっかり」「弱め」に調節することができます。

風呂水(お湯取運転)を使う→(P.25~28)

「お湯取」ボタンを押すと、風呂水が使える行程を順に表示します。

温水ミストを使う→(P.55~57)

「温水ミスト」(30分)では皮脂汚れを落とし、黄ばみを予防します。
「温水ミスト」(90分)ならついてしまった黄ばみまで落とすことができ、においの原因菌も洗い流します。

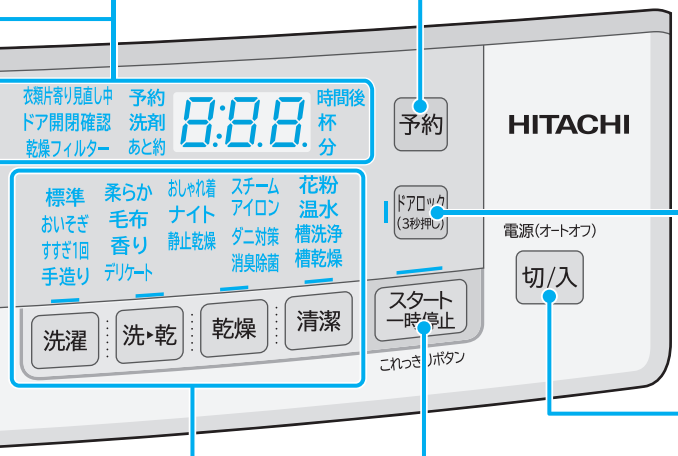
■電源を入れたあと3秒押し操作で設定が変わるボタン

ドアロック(3秒押し)	ドアロックの設定・解除ができます。	→(P.30)
スタート一時停止	終了予告音の設定・解除ができます。	→(P.66)
洗▸乾	運転スタート音・終了予告音・終了音が変えられます。	→(P.66)

乾燥	除湿方式(空冷・水冷除湿)が変えられます。	→(P.69)
脱水	温風ほぐし脱水の設定・解除ができます。	→(P.71)
洗い	・「洗▸乾」運転時の脱水回転数を調節できます。 ・脱水立ち上がり具合を調節できます。	→(P.68、69)

お知らせ表示→(P.32、86、87)

水栓開確認	水栓が開いているか確認していただくため、電源を入れてから運転を開始するまでの間、点灯します。C01、C06のお知らせ表示されている間、点滅します。
ドア開閉確認	運転スタート時にドアが開いている場合、またはしっかり閉まっていないときに点滅します。
	ドアがロックされている間、が点灯または点滅します。
高温	ドラム内部が高温のとき点灯または点滅します。
乾燥フィルター	乾燥フィルターが目詰まりしたときや、「洗▶乾」または「乾燥」を10回運転するたびに点滅します。
糸くずフィルター	糸くずフィルターが正しく取り付けられていないときや、運転を15回行うたびに点灯します。
乾燥容量オーバー	乾燥できない容量のときに点滅します。
残量少	タンク内の液体洗剤や柔軟剤の残量が少なくなったときに点滅します。



予約運転をする→(P.64)

運転を終了したい予定時間に、1時間単位で3～24時間後までの間で設定することができます。

ドアロックを設定する→(P.30)

子どもが勝手にドアを開けられないようにします。
設定すると「」と「ドアロック(3秒押し)」が点灯します。

電源

電源の入・切を行います。
電源を入れたあと、20分以内にスタートしないと、自動で電源が切れます。

運転内容を変える→(P.60～63)

「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」の設定を変更することができます。コースによっては、変更できないこともあります。

コースを選ぶ→(P.33～51、84)

「洗濯」「洗▶乾」「乾燥」「清潔」を押すと、選んでいるコースが点滅します。

スタート/一時停止

スタートや、一時停止を行います。
一時停止の状態で1時間以上放置すると、自動で電源が切れます。ただし、乾燥開始後は、一時停止の状態で15分以上放置すると、自動で電源が切れます。

操作パネルの点字表記について

目の不自由なかたのために操作部の位置がわかる「点字シール」(操作部にはり付けます)をご用意しています。ご希望のかたは「商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口」へお問い合わせください。→(P.108)

温水ミスト	温め自動の設定・解除ができます。	→(P.55)
お湯取	・清水すすぎの設定・解除ができます。 ・お湯取設定を記憶する/しないを切り替えることができます。	→(P.28)

脱水/乾き具合	ふんわりガード機能の設定・解除ができます。	→(P.70)
AI	自動おそうじの設定・解除ができます。	→(P.52)

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🚫	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために(感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ)


禁止

●電源コードを傷つけない
・傷つけない、加工しない　・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
・加重をかけない、挟み込まない
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない


指示

●定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
●電源プラグは根元まで差し込む
●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る


プラグを抜く

●電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
●お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く


アース線接続

●アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

本体の故障や事故を防ぐために(電気部品を傷めたり、振動で本体が転倒するおそれ)


水場禁止

●浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。


禁止

●キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない
運転中の振動で本体が移動したり、転倒してけがをするおそれがあります。

⚠警告

運転時の爆発や火災を防ぐために(油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ)


禁止

●引火物や火気をドラム内や自動投入タンクの中に入れない、近づけない
・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
・ローソク、蚊取り線香、たばこなど

●油や引火物が付着した洗濯物、引火の可能性がある洗濯物を乾燥させない
・植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系オイルなど)、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールが付着した洗濯物
・樹脂(セルロース系)　・ポリプロピレン繊維の製品　・スポンジの入ったもの

●揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない

●お湯取ホースで、灯油やガソリンなど水以外のものを吸い込まない。

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために(感電・発火・火災のおそれ)


プラグを抜く

●本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する


分解禁止

●分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。


水ぬれ禁止

●本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない


禁止

●入浴中は風呂水吸水しない

子どもの事故を防ぐために(ドラム内に閉じ込められて窒息したり、やけど、感電、けが、おぼれるおそれ)


禁止

●子どもをドラム内に入らせない
●液体洗剤や柔軟剤は、子どもの手の届かないところ、見えないところに置く
液体洗剤や柔軟剤を誤飲するおそれがあります。
●操作に不慣れなかただけでは使わせない
●ドアロック(チャイルドロック)が設定できます。→(P.30ドアロック(チャイルドロック)について)


指示

●付属品の水準器や付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
水準器を誤って飲み込んだり、ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。
●廃棄処理をするときは、ドアを取り外す
ねじを緩めてドアを取り外します。

ドラムへの巻き込まれを防ぐために(ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ)


接触禁止

●ドラムが完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために(泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ)


指示

●洗剤は表示に従って適量を入れる→ (P.22)
●液体洗剤や柔軟剤を入れ間違えない→ (P.17、20)
●液体洗剤 (柔軟剤) の自動投入設定時、手動投入部に洗剤 (柔軟剤) を入れない

⚠注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

(ドラムのバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ)

異常振動が発生したときは自動で動作を停止しますが、ドラムが高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。

禁止

●防水性の衣類・繊維製品は、ドラムに絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水が溜まっています。そのまま脱水をすると、溜まった水が急激に移動し、回転バランスが崩れて異常振動が発生することがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。

防水性・繊維製品の例

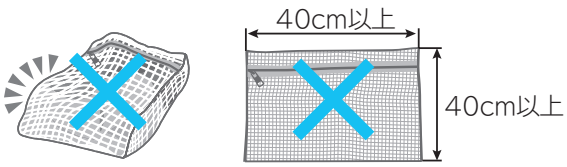
ウィンドブレーカー、おむつカバー、紙おむつ、雨ガッパ、釣具ウェア、スキーウェア、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いもの (洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください)

●洗濯物を詰め込んだネットだけで運転しない

異常振動の原因になったり、洗濯物が片寄り、運転できないことがあります。

●一辺が 40cm 以上の大きなネットを使用しない

異常振動の原因になったり、洗濯物が片寄り、運転できないことがあります。



けが、やけどを防ぐために

禁止

●ロックされた状態のドアを無理に開けない
●運転中は乾燥フィルターを取り外さない

接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない
●乾燥運転中や乾燥運転終了直後は、ドラムやドア周辺の金属部、本体右上部、洗濯物(ファスナーや金属ボタン)に触らない
●ドア取り付け金具の近くに手を置いたままドアを閉めない

ドアと本体の間に手や指を挟み、けがをするおそれがあります。

水漏れを防ぐために

指示

●洗濯・乾燥前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩みや、さびの発生により水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく
●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

風呂水運転時の水漏れを防ぐために（サイホン現象により、お湯取ホースから水が流れ出して水漏れや床をぬらすおそれ）

禁止

●浴槽の水面より風呂水吸水口が低くなる場所で使用しない
●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない

⚠注意

洗濯物の損傷を防ぐために


禁止

●ドアを閉めるときに洗濯物を挟まない


指示

●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンはきちんと閉めてからドラムに入れる

けがや水漏れ、本体の損傷や故障を防ぐために


禁止

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
●50℃以上のお湯を使用しない
●給湯器とつながない
瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。
●粉石けん(天然油脂)は使用しない
●ドアパッキンへぞうきんなどをかけない
●洗濯物を出し入れするときは、ドアパッキンに無理な力を加えない
●ドアはゆっくり開け閉めする
●糸くずフィルターは取り付けて運転し、運転中は外さない
●糸くずフィルターやゴムパッキンが破損した状態で使用しない
●ドアにぶらさがったり、無理な力を加えない
●お洗濯キャップ(別売り)は、洗濯の「柔らか」コース、「洗▸乾」「乾燥」「清潔」運転では使用しない
お洗濯キャップが熱で変形し、ドラムから飛び出すことによりけがをしたり、本体が破損するおそれがあります。
●ドアを閉めるときは洗濯物を挟まない
●硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどをドラムに入れない
洗濯物のポケットの中なども確認して、ある場合は取り除いてからドラムに入れてください。
●直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けない
本体内部の温度が異常に高くなって故障したり、外観が変形・変色するおそれがあります。
タンク内の液体洗剤や柔軟剤が変質するおそれがあります。


指示

●運転中は洗剤ケースふたを閉める
●ドア裏側の金属部、本体外側のプラスチック部に、液体洗剤・漂白剤・柔軟剤がついたときは、湿った柔らかい布ですぐにふき取る
液体洗剤・漂白剤・柔軟剤がついたまま放置すると、本体の破損の原因になります。
●別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレー→(P.103)を設置する
床面を結露による水滴から守るときに、洗濯機用防水パン・洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。
●断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。
●排水口が掃除できるように本体を設置し、糸くずフィルター、排水口(排水トラップ)は定期的にお手入れする→(P.72、73、83)
排水口が詰まると、水漏れの原因になります。
●洗剤ケースと洗剤ケース周辺は、週1回を目安にお手入れする→(P.77)
液体洗剤・漂白剤・柔軟剤がついたまま放置すると、本体の破損の原因になり、けがをするおそれがあります。
●使用する前に、ドアパッキン周辺や裏側に糸くずなど異物が付着していないことを確認する
ドアの密着が確保されず、水漏れの原因になります。

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

●運転中は電源プラグを抜かない
(本体の故障のおそれ)
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。

●本体にテレビやラジオを近づけない
(画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ)
運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。

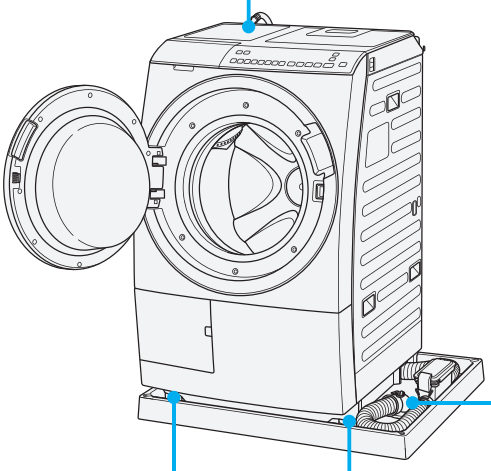
●洗濯物を入れ過ぎない
(洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ)
(洗濯時間が長くなったり、洗いムラや乾きムラが発生したりするおそれ)

●小物類は洗濯ネットに入れて運転する
(靴下やハンカチなどの小物類がドラムの隙間や内部に入り込むおそれ)

●乾燥運転中は十分に換気をする
(換気が不十分だと窓や壁などが結露するおそれ)

据え付け状態の確認

次のような問題を防ぐため、確認をしてください。
解決しないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

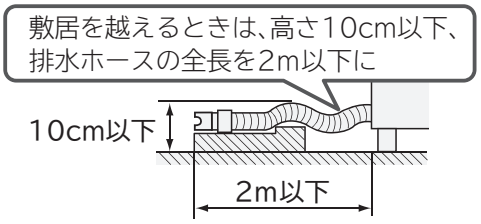


水漏れを防ぐ

●水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて**→(P.4)**を使用していますか？
●接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
●給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。さらに、ユニオンナットを約90°回し、しっかり締め付ける **→(据付説明書 P.23)**
●水栓(蛇口)にさびの発生はありませんか？

排水異常を防ぐ

●排水ホースの高さは、10cm以下になっていますか？
●排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？**→(据付説明書 P.16)**



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

●本体が水平に設置されていますか？
●水準器の気泡が円の中に入っていますか？
→(据付説明書 P.22)

排水時の停止を防ぐ(お知らせ表示C02、C18の表示)

●排水口が掃除できるように設置されていますか？排水口・排水トラップは月１回を目安にお手入れをしてください**→(P.83)**
●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス**→(P.104)**をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も乾燥もできないもの

縮み、形くずれ、変色、損傷、風合い劣化などの原因になります。

●次のような取扱絵表示が付いているもの

(家庭での洗濯禁止)表示

(石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示

●取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
●ネクタイ、スーツ、コート
ただし、「消臭除菌」コースは使用できます。→(P.47)

●和服、和装小物製品
●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
●シルク製品
●ベルベットなどのパイル地製品
●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどの原因になります。

●防水性製品 →(P.10)
洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
●玄関マット、ラグマット、敷物
・裏面にゴムが付いているもの
・厚手のもの　・毛足の長いもの

●カーペット
●座布団や枕、クッションなど
●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
●ペットの毛が多量に付着したもの

乾燥できないもの

縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などの原因になります。

●ゴムやウレタンなどを使用した製品
●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
●布団類などわたを使用した製品
●ウールなどの獣毛およびその混紡製品
素材によっては「静止乾燥」コースで乾燥できるものもあります。→(P.48)
●タイツ
●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
●濃い色のプリントもの

●次のような取扱絵表示が付いているもの

パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる
素材によっては「静止乾燥」コースで乾燥できるものもあります。→(P.48)

つり干しがよい

アイロンは、低温で掛けるのがよい

アイロン掛けはできない

「タンブル乾燥禁止」などの注意表示

油などの酸化熱による自然発火や引火の原因になります。

●油が付着したもの
植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールが付着した洗濯物や樹脂(セルロース系)などが付着したもの
●ポリプロピレン繊維の製品

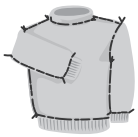
乾燥フィルターが目詰まりする原因になります。

のり付けしたもの

洗濯物の確認と準備　つづき

洗濯物の準備

上手に洗濯をするために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す		硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める		衣類のひもなどは結び、ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷み、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす(えり、そで口などの脂汚れ)		しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておくと、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く		大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返しする		毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦は、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちなどを防止するために、分けて洗濯してください。

色落ちしやすい洗濯物	●白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないか確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ●著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2、3枚まとめて洗ってください。 ●色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	●タオル・バスタオルは分けて洗ってください。 ●コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物、ストッキングなどは、市販の糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗ってください。
デリケートな洗濯物・小物類	●レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯ネットに入れて洗ってください。 ●ワイヤー入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。 ●靴下やハンカチなどの小物類は、洗濯ネットに入れて洗ってください。

洗濯物の量と重さの目安

運転コースによって、洗濯・乾燥できる量と重さが異なります。→(P.33)
量と重さの目安に従って、洗濯物をドラムに入れてください。

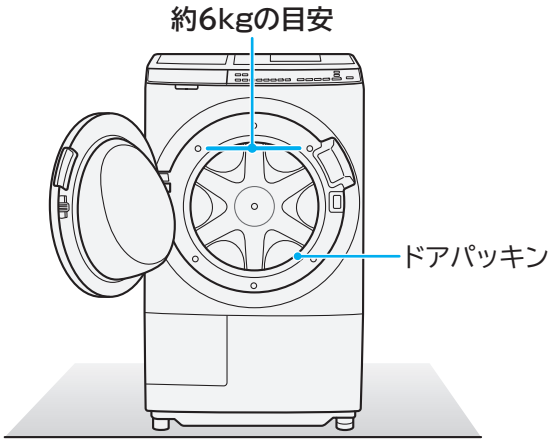
衣類別の重さの目安

洗濯物の重さを確認するための目安です。
洗濯物の素材や大きさにより、実際の重さは異なります。

	肌着類　シャツ・ズボン類　タオル・寝具類
50g	ブリーフ　靴下
100g	肌着　タオル
200g	ワイシャツ
300g	バスタオル
400g	パンツ　スカート　パジャマ上下
500g	シーツ

洗濯物の重さの目安は、一般財団法人日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物をドラムに入れたときの目安



洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。
自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

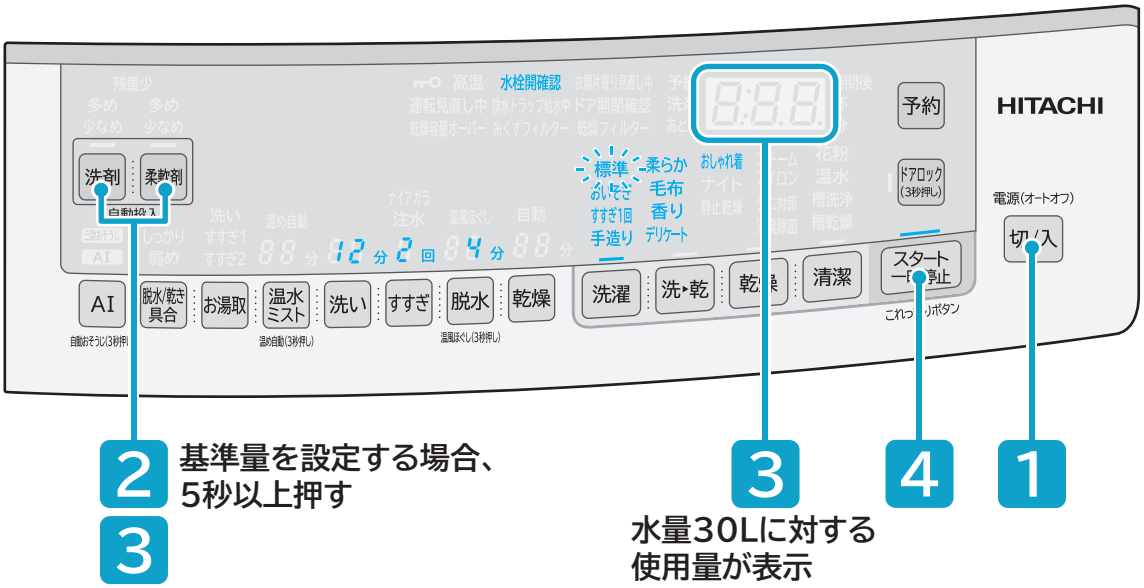
洗濯物をドラムの中に入れるときは	●重いものが片寄らないように、洗濯物はドラム内に均一に広げて入れてください。 ●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 ●洗濯物をバランスリングよりも奥に入れてください。 
洗濯ネットを使うときは	●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。汚れ落ちがわるくなったり、スムーズに脱水できなくなる場合があります。 ●洗濯ネットのファスナーは閉めてください。洗濯物を傷める場合があります。 ●一辺が40cm以上の大きなネットを使用しないでください。異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。
大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は	●大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。一つだけで洗濯しないでください。ほかの洗濯物を2、3枚追加して洗ってください。  ●先にドラムに入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

自動投入を使う

洗濯のたびに液体洗剤・柔軟剤の適量を自動で投入します。
自動投入を初めて使うとき、使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるときは、次の設定が必要です。

自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の基準量を設定

基準量は使用する液体洗剤または柔軟剤の容器に記載されている使用量の目安を確認してください。



1 切/入 を押し、電源を入れる

2

「液体洗剤」と「柔軟剤」の設定を同時に行うことはできません。

「液体洗剤」の基準量を設定

洗剤 を5秒以上押す

残時間表示部に水量30Lに対する使用量(mL)が表示されます。工場出荷時は、10mLが設定されています。



「柔軟剤」の基準量を設定

柔軟剤 を5秒以上押す

残時間表示部に水量30Lに対する使用量(mL)が表示されます。工場出荷時は、10mLが設定されています。



3 容器に記載してある「水量30Lに対する液体洗剤使用量・柔軟剤使用量」を確認し、設定する

洗剤 量を減らす　　柔軟剤 量を増やす

(長押しすると、表示が連続で切り替わります)

液体洗剤・柔軟剤量の目安→(P.23)

(記載がない場合は、洗剤メーカーにお問い合わせください)

4 スタート 一時停止 を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。

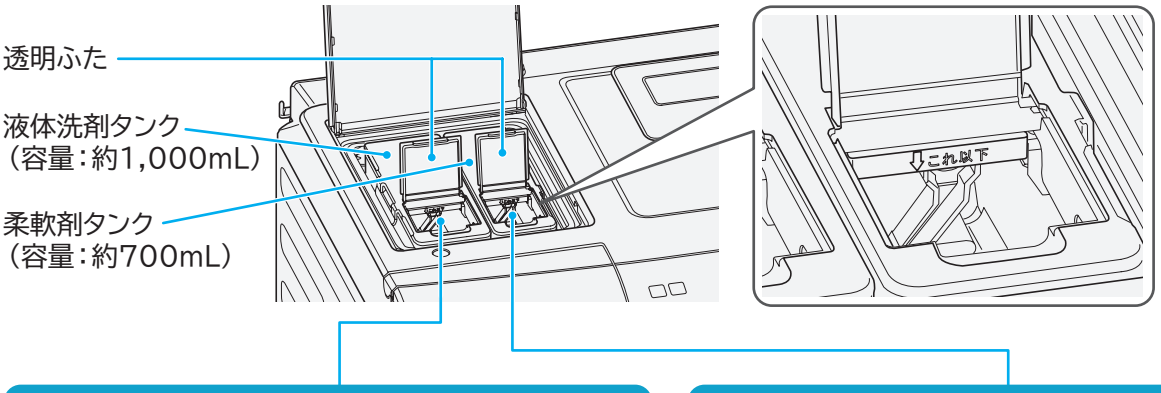
●使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるときは、先に自動投入部・タンク取付部のお手入れをしてください。
→(P.78、79)
異なる種類が混ざると自動投入部や経路が詰まる原因になります。
●使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるときは、液体洗剤や柔軟剤の基準量の設定を変更してください。
●基準量を設定せずに運転すると、洗濯物の汚れ落ちがわるくなったり、黒ずみ・黄ばみの原因になります。
また、泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。

自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の入れかた

液体洗剤と柔軟剤の投入口は異なります。指定の投入口に正しく入れてください。
自動投入できる洗剤や柔軟剤は液体のみです。
(液体以外の洗剤や柔軟剤を使うときは→(P.20～23))
漂白剤は、手動投入部(洗剤ケース)に入れてください。→(P.20)

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)

液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを本体に取り付けた状態で透明ふたを開け、液面が「これ以下」の位置を超えないように液体洗剤や柔軟剤を入れてください。



液体洗剤投入口

液体合成洗剤以外は入れないでください。
タンク内に変質した洗剤成分が残っている場合、経路が詰まったりするおそれがあります。
・粘性の高い液体洗剤や、ゼリー状に固まったり分離した洗剤は使用しないでください。
・長期間使用しない場合は、お手入れをしてください。カビが発生する場合があります。→(P.78、79)

柔軟剤投入口

柔軟剤以外は入れないでください。
タンク内に変質した柔軟剤成分が残っている場合、経路が詰まったりするおそれがあります。
・粘性の高い柔軟剤や、ゼリー状に固まったり分離した柔軟剤は使用しないでください。
・長期間使用しない場合は、お手入れをしてください。カビが発生する場合があります。→(P.78、79)

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)で使用できない洗剤

・粉末合成洗剤　・液体石けん　・液体の複合石けん　・おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)
・漂白剤(ハイターなど)　・洗濯のり→(P.24)　・重曹

＜手動投入部に入れて使用できるもの＞

●漂白剤は、洗剤ケースに入れてください。→(P.20)
漂白剤は、洗剤量(目安)表示に従って、使用する漂白剤の容器に記載されている「使用量の目安」を確認し、適量を洗剤ケースに入れてください。

＜ドラムに直接入れて使用できるもの＞

●タブレット・シート・キューブタイプのもの
●ビーズ状仕上げ剤
●ジェルボール型洗剤の使いかたについては、容器に記載されている内容を確認してください。
●洗濯のり→(P.24)

自動投入を使う　つづき

自動投入の設定・解除

設定できるコース

「標準」「おいそぎ」「すすぎ１回」「手造り」「柔らか」「毛布」「香り」「デリケート」「ナイト」「ダニ対策」コース
※「おしゃれ着」コース、「洗い」なし、「温水ミスト(90分)」運転の場合、液体洗剤の自動投入は設定できません。
「すすぎ」なしの場合、柔軟剤の自動投入は設定できません。

工場出荷時は「自動投入設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2

液体洗剤を設定する場合

洗剤 を押す

押すごとに表示が切り替わります。
設定内容によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。

多め 少なめ 洗剤	設定なし (工場出荷時)
多め 少なめ 洗剤	設定あり(自動投入する) 洗剤量：標準
多め 少なめ 洗剤	設定あり(自動投入する) 洗剤量：少なめ
多め 少なめ 洗剤	設定あり(自動投入する) 洗剤量：多め

柔軟剤を設定する場合

柔軟剤 を押す

押すごとに表示が切り替わります。
設定内容によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。

多め 少なめ 柔軟剤	設定なし (工場出荷時)
多め 少なめ 柔軟剤	設定あり(自動投入する) 柔軟剤量：標準
多め 少なめ 柔軟剤	設定あり(自動投入する) 柔軟剤量：少なめ
多め 少なめ 柔軟剤	設定あり(自動投入する) 柔軟剤量：多め

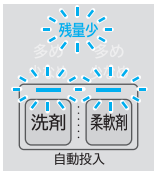
3 スタート 一時停止 を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶され、運転が開始されます。

液体洗剤や柔軟剤の残量表示の見かた

液体洗剤タンク・柔軟剤タンク内の液体洗剤や柔軟剤が少なくなったとき、点滅でお知らせします。
液体洗剤や柔軟剤を補充してください。







自動投入の使いかた

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた洗剤量(目安)表示後、液体洗剤が自動で投入されます。
(柔軟剤はすすぎ行程時に自動投入されます)
「残量少」の表示が点滅している場合、液体洗剤または柔軟剤を補充してください。→(P.17)

設定できるコース

「標準」「おいそぎ」「すすぎ１回」「手造り」「柔らか」「毛布」「香り」「デリケート」「ナイト」「ダニ対策」コース
※「おしゃれ着」コース、「洗い」なし、「温水ミスト(90分)」運転の場合、液体洗剤の自動投入は設定できません。
「すすぎ」なしの場合、柔軟剤の自動投入は設定できません。

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13～15)

1 ドアを閉めて、
切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 、洗・乾 、清潔 を押し、コースを選ぶ
ボタンを押すごとにコースが選べます。また、各機能の設定・解除ができます。
自動投入が設定されているか確認してください。→(P.18)

3 スタート 一時停止 を押す
ドラムが回転し、洗濯物の量が自動計測されます。
あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「ダニ対策」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。



洗濯物の量測定中の表示

洗濯物の量に合わせた洗剤量(目安)が表示されます。



洗剤量(目安)表示例：洗剤0.9杯

運転時間(目安)表示に切り替わります。



運転時間(目安)表示例：1時間30分

洗剤量(目安)の再表示
洗い終了までの間に
洗い **を押す**



(押している間、洗剤量が表示されます)

4 液体洗剤、柔軟剤が自動で投入される

液体洗剤や柔軟剤の自動投入が設定されている場合、手動投入部(洗剤ケース)に洗剤や柔軟剤を入れないでください。泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。

(必要に応じて)洗剤量(目安)に従って、
漂白剤を洗剤ケースに入れる→(P.20)

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルター(「洗▸乾」運転時)をお手入れする→(P.74、75)
糸くずフィルターをお手入れする→(P.72、73)

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)のお手入れ

次の場合に、お手入れをしてください。→(P.78)

- 2～3か月に一度(目安)
- 使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき
- 自動投入機能を1か月以上使わなかったとき
- 「残量少」表示が点滅したまま、1週間以上タンクに液体洗剤や柔軟剤を補充しなかったとき
- タンク取付部に汚れが残っているとき
- 透明ふたを開けたまま放置したときや残量が少ないまま放置したとき
- タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったとき

手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた

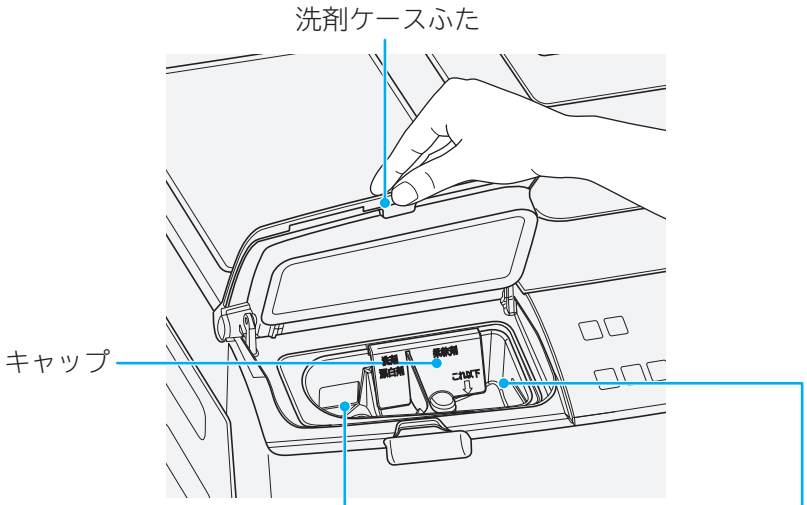
手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

洗剤(粉末・液体)と漂白剤は、同じ投入口です。柔軟剤は、洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。指定の投入口に正しく入れてください。

●洗剤・漂白剤・柔軟剤は、洗剤量(目安)表示に従って、使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている「使用量の目安」を確認し、適量を洗剤ケースに入れてください。→(P.22)
●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤を使用する場合は、よく溶かしてから直接、ドラム内に入れてください。ドラム内に入れるときは、洗剤量表示後、一時停止を押して、ドアを開けて入れます。
●ビーズ状仕上剤を使用する場合は、ドラム内に直接入れてください。
●粉石けん(天然油脂)は使用しないでください。
●ジェルボール型洗剤の使いかたについては、容器に記載されている内容を確認してください。
●洗剤ケースを取り外したまま運転しないでください。

手動投入部(洗剤ケース)

洗剤ケースふたを開けてください。
洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れた後は、洗剤ケースふたを閉めてください。



粉末合成洗剤・液体合成洗剤・漂白剤

●粉石けん(天然油脂)は使用しないでください。溶けにくく、詰まって水漏れ、故障の原因になります。
●「槽洗浄」「温水槽洗浄」コース以外では、塩素系漂白剤は使用しないでください。

洗剤残りを防ぐために
●洗剤ケースがぬれている場合は、乾いた布でふいてください。
●溶けにくい洗剤は、十分に水で溶かしてから入れてください。
●固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。

柔軟剤

●液面が「これ以下」(最大80mL以下)の位置を超えないようにしてください。超えて入れると、柔軟剤がすぐに流れ出て洗濯物の変色や黒ずみの原因になります。
●流れにくいものは、同量の水をよく溶かしてから入れてください。
●柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。固まってしまう場合があります。
●サイホン構造のため、わずかに水が残ります。異常ではありません。
●分離したり固化した柔軟剤は使用しないでください。洗剤ケースに残水する原因になります。

漂白剤の種類

・使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。
・「温水槽洗浄」「槽洗浄」コース以外では、塩素系漂白剤は使用しないでください。

酸化型	**酸素系** (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 **(ハイドロハイター)**	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

黒ずみ・黄ばみの原因

・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちがわるくなります。
・柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。

黄ばみを予防したいとき、落としたいときは、「温水ミスト」をお試しください。
→(P.55 温水ミスト・温め自動を使う)
黒ずみ・黄ばみを落としたいときは、下記をお試しください。

【ご注意】
洗濯物を傷める場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。
状態によっては完全に直せない場合があります。
・３倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。
・白物は塩素系漂白剤または還元型漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

お願い
●ドア裏側の金属部、本体外側のプラスチック部に、洗剤、漂白剤、柔軟剤が付着した場合は、湿った布ですぐにふき取ってください。
さびの発生や、破損の原因になります。
●運転中は洗剤ケースのふたを開けないでください。
水が飛び散るおそれがあります。
●洗剤ケースふたを無理に閉めないでください。
破損するおそれがあります。

手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた　つづき

洗剤や柔軟剤は、自動投入の設定を解除してから、手順に従い、適量を洗剤ケースに入れてください。

手動投入時の洗濯物の量の計測と洗剤量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた洗剤量が表示されます。

1 洗濯物をドラムに入れ、ドアを閉める

2 電源を入れ、運転するコースを選び、
スタート 一時停止 を押す

ドラムが回転し、洗濯物の量が自動計測されます。
あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「おしゃれ着」「ダニ対策」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。



洗濯物の量測定中の表示

洗濯物の量に合わせた洗剤量(目安)が表示されます。



洗剤量(目安)表示例：洗剤0.9杯

運転時間(目安)表示に切り替わります。



運転時間(目安)表示例：1時間30分

洗剤・漂白剤投入口への給水が始まります。
洗剤量の表示から約1分後に給水が始まります。

洗剤量(目安)の再表示
洗い終了までの間に 洗い を押す

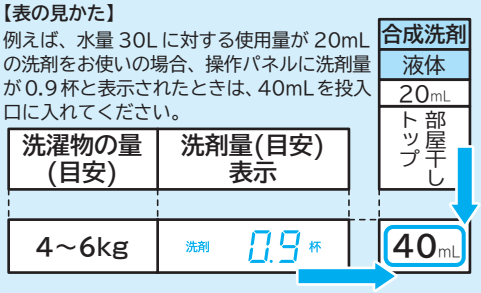


(押している間、洗剤量が表示されます)

3 右表を参考に洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた→(P.20)
点滅しているコースボタン(洗濯 、洗・乾 、清潔)を押すと、すぐに給水を開始します。
約1分以内に洗剤を入れられない場合は、「一時停止」ボタンを押し、洗剤を入れたあと、再度「スタート」ボタンを押して運転を再開させてください。

手動投入時の洗剤・

【表の見かた】
例えば、水量 30L に対する使用量が 20mL の洗剤をお使いの場合、操作パネルに洗剤量が 0.9 杯と表示されたときは、40mL を投入口に入れてください。



洗剤量(目安)表示が表示される

洗濯物の量(目安)	洗剤量(目安)表示
10～11kg	洗剤 1.1 杯
6～10kg	洗剤 1.0 杯
4～6kg	洗剤 0.9 杯
2～4kg	洗剤 0.7 杯
1～2kg	洗剤 0.6 杯
～1kg	洗剤 0.3 杯

「温水ミスト」(30分)設定のときは、上の表の使用量を参考にしてください。

「温水ミスト」(90分)設定のとき

～2kg	洗剤 1.2 杯

「温水ミスト」(90分)設定のときは、粉末合成洗剤を使用してください。
(粉末合成洗剤を通常の約2倍使用)

洗剤および洗濯物の量

- ●洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- ●洗剤によっては、泡が発生しやすいものもあるため、違う洗剤をご使用いただくか、洗剤量(目安)表示より洗剤を少なめに入れてご使用ください。
- ●香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後にドラムのにおいが気になる場合があります。
- ●表の洗濯物の量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
  洗濯物の量は、最大洗濯容量の7～8割が適当です。

漂白剤・柔軟剤量

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量を確認し、操作パネルに表示された洗剤量(目安)表示に従って、適量を投入口に入れてください。

(2018年11月現在)

合成洗剤							石けん(天然油脂)	漂白剤		柔軟剤			
粉末			液体			液体中性	液体	濃縮	普通	濃縮			普通
水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)													
20g	25g	35g	10mL	20mL	25mL	40mL	40mL	20mL	40mL	4mL	7mL	10mL	20mL
アタック	アタックリセットパワートップ	アリエール	アタックNeoナノックス	部屋干しトップ	トップクリアリキッドアタックアリエール	エマールアクロン	液体石けん(ミヨシ)	ワイドハイターEXブライトW	手間なしブライトワイドハイター	ハミングNeo	ふんわりソフラン	レノアハミングファインソフラン	ハミング
48g	60g	84g	24mL	48mL	60mL	43mL	43mL	23mL	45mL	10mL	16mL	24mL	48mL
44g	55g	77g	22mL	44mL	55mL	40mL	40mL	20mL	40mL	9mL	15mL	22mL	44mL
40g	50g	70g	20mL	40mL	50mL	37mL	37mL	15mL	30mL	8mL	14mL	20mL	40mL
32g	40g	56g	16mL	32mL	40mL	27mL	27mL	13mL	25mL	7mL	11mL	16mL	32mL
28g	35g	49g	14mL	28mL	35mL	25mL	25mL	12mL	23mL	6mL	10mL	14mL	28mL
16g	20g	28g	8mL	16mL	20mL	20mL	20mL	10mL	20mL	3mL	6mL	8mL	16mL
56g	70g	98g	−	−	−	−	−	12mL	23mL	6mL	10mL	14mL	28mL

●使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤・石けんの容器に記載してある「使用量の目安」や「使用上の注意」をよくご覧になり、正しく使用してください。
また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。

●縦型式洗濯機とドラム式の使用量は異なりますので、ご注意ください。

●AIお洗濯動作時は、環境条件(水の硬度や水温など)により、洗剤量(目安)が少なめに表示される場合があります。

重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

洗濯のりの使いかた

使用できる洗濯のり

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限ります。

- ●洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。
  ドラム式は、水の使用量が少ないため、若干硬めに仕上がる場合があります。
  気になる場合は、少なめに入れてください。
- ●上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。
- ●PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。
  十分なのり付けができない場合や、本体の故障の原因になるおそれがあります。
- ●のり付けするときは、「温水ミスト」「温め自動」を設定しないでください。
- ●のり付けした洗濯物は、乾燥運転をさせないでください。
- ●自動投入が設定されている場合は、解除してください。→(P.18)

のり付け運転の手順

準備

1. 切/入 を押し、電源を入れ、脱水「1分」を設定して運転する→(P.61)
   ドラム内に約3L以上の水が入っている状態でスタートすると、ドラム内の水が排水されます。
   洗濯のりを入れる前に、脱水運転を行ってください。(脱水終了後は、電源が切れます)
2. 切/入 を押し、電源を入れる
3. 洗濯のりを1L程度の水で薄め、ドラムに直接入れる
4. のり付けする洗濯物(1.5kg以下)を入れ、ドアを閉める

のり付けできる洗濯物は、1.5kg以下です。洗濯物の量と重さの目安→(P.15)

1 洗濯 を押し、「標準」コースを選び、洗い「6分」、脱水「1分」を設定する

2 スタート 一時停止 を押す

3 運転が終了したら、洗濯物を取り出し、ドアを閉める

4 のり付け後、ドラムに付いたのりを洗う
自動おそうじを設定する→(P.54)

5 切/入 を押し、電源を入れる

6 洗濯 を押し、「標準」コースを選び、洗い「25分」、すすぎ「3回」、脱水「4分」を設定する
※洗剤、洗濯物は入れないでください。

7 スタート 一時停止 を押す

8 運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.72、73)

風呂水(お湯取運転)を使う

洗濯運転時の行程ごとに、使用する水を、風呂水と水道水から選ぶことができます。

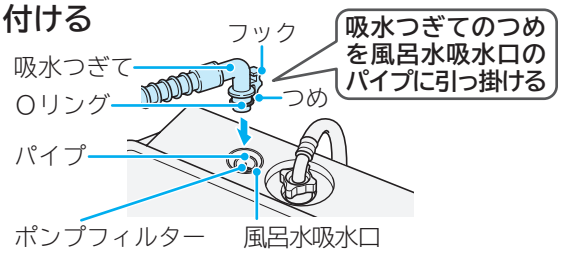
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた

お湯取運転をするときは、付属のお湯取ホースとクリーンフィルターを取り付けてください。

1 風呂水吸水口のキャップを外す

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

- ●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- ●入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。
- ●Oリングを外したり、傷つけたりしないでください。外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。
- ●風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。



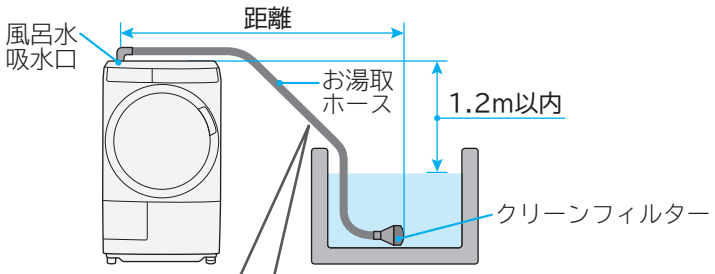
3 クリーンフィルターを浴槽に入れる

お湯取ホースの長さ調節

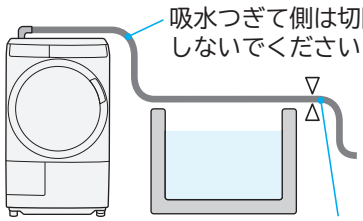
お湯取ホースの先端を浴槽に入れ、お湯取ホースの長さを調節します。
お湯取ホースにクリーンフィルターを回しながら取り付けます。
お湯取ホースの内側を水でぬらすと差し込みやすくなります。

- ●付属品のお湯取ホースは約4mです。
- ●風呂水吸水口からクリーンフィルターまでの距離が3m以内になるように、お湯取ホースの先端側をはさみやカッターで切断します。

※付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売り部品のお湯取ホースを使用してください。



吸水中は、水の重さによりお湯取ホースが垂れ下がり、クリーンフィルターが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。





別売り部品の場合→(P.103)

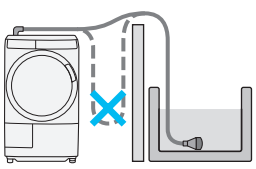
お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約5m	4m以内

- ●約7mホース(クリーンフィルターなし)
  部品番号 NW-7P5-045
- ●約5mホース(クリーンフィルター付き)
  部品番号 NW-7P5-046

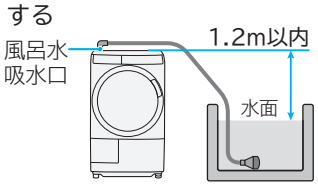
お湯取ホース使用時のご注意

お湯取運転を始める前に、お湯取ホースが正しく取り付けられているかを確認してください。
正しく取り付けられていないと、風呂水が吸水されなくなり、水漏れの原因になります。

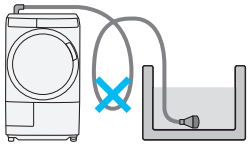
高い壁を越えるときは、たるみをなくす



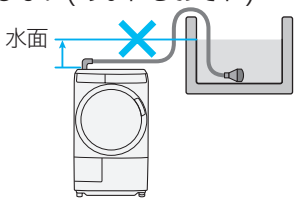
風呂水吸水口から浴槽水面までの高さは、1.2m以内にする



お湯取ホースは巻いたまま使わない



本体より浴槽水面が高い状態にしない(あふれるおそれ)



風呂水(お湯取運転)を使う　つづき

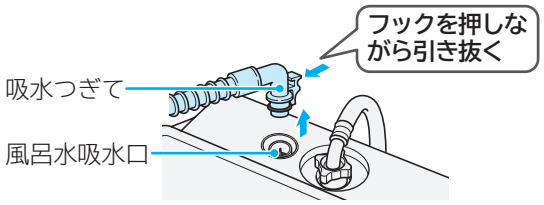
お湯取ホースの取り外しかた

長期間お湯取ホースを使用しないときは、本体から取り外しておくことをおすすめします。

1 浴槽からクリーンフィルターを取り出す

2 吸水つぎてを、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたまま、お湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水がドラム内に逆流して、洗濯物をぬらすおそれがあります。



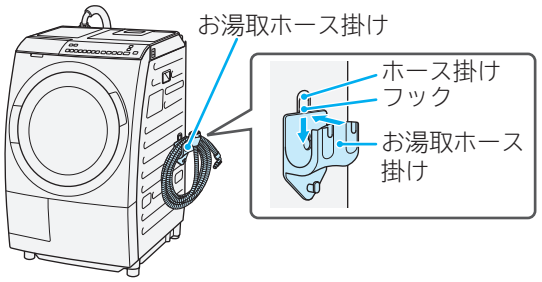
3 風呂水吸水口のキャップを取り付ける

4 クリーンフィルター部を上向きにして、お湯取ホース掛けにかける

お湯取ホースやクリーンフィルター内の残水は排水してください。床面をぬらすおそれがあります。

お湯取ホース掛けの使いかた

お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて止まるまで押し下げてください。
本体の左右どちら側でも取り付けられます。

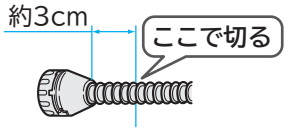


クリーンフィルターの取り外しかた

クリーンフィルターは、一度取り付けると手で簡単に外せません。
お湯取ホースの長さ調節のために、クリーンフィルターを取り外すときは、次の手順に従ってください。

1 お湯取ホースを切断する

クリーンフィルターの根元から約3cmの所でお湯取ホースを切断します。



2 クリーンフィルターに付いているお湯取ホースを取り除く

お湯取ホースの先端に約1cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらお湯取ホースを取り除きます。



お湯取運転の設定

お湯取運転するときも、水栓(蛇口)を開けてください。風呂水ポンプの吸い上げ運転の際、一定量の給水が必要になるため、お湯取運転時にも水道水が使われます。

お湯取運転の設定手順

1 水栓(蛇口)を開け、[切/入]を押し、電源を入れる

2 [洗濯]、[洗▸乾]、[清潔]のいずれかを押し、コースを選ぶ

「デリケート」「おしゃれ着」「ダニ対策」「消臭除菌」「花粉」「槽乾燥」コース、「乾燥」運転では、お湯取運転の設定ができません。
AIお洗濯の設定はできません。

3 [お湯取]を押し、お湯取運転したい行程の表示を点灯させる

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

次のようなお湯取運転の設定はできません。
- 洗い行程を水道水に設定した場合のすすぎ行程
- 「香り」コース設定時のすすぎ行程
- 「ナイアガラすすぎ」設定時のすすぎ行程
- すすぎ3回目以降

パネルの表示	行程内容
洗い すすぎ1 すすぎ2 全点灯	「洗い」から「すすぎ2」(2回目)まで風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」「すすぎ1」点灯	「洗い」と「すすぎ1」(1回目)を風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」のみ点灯	「洗い」のみ風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 全消灯	風呂水吸水(お湯取)しません。

4 [スタート 一時停止]を押し、運転させる

●設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●工場出荷時は「お湯取運転の設定を記憶しない」が設定されています。変更した内容を次回運転時まで記憶させたい場合は、「お湯取運転の設定を記憶する」に切り替えてください。→(P.28)
●運転途中で洗剤を投入しないでください。発泡のおそれがあります。

運転中に変更させる場合

1 洗いやすすぎの給水中に[スタート 一時停止]を押し、運転を一時停止する

2 [お湯取]を押し、お湯取運転したい行程の表示に変更する

「温水ミスト」「温め自動」設定時は、温水ミスト動作終了までお湯取運転の設定を変更できません。

3 [スタート 一時停止]を押し、運転を再開させる

お湯取運転中の注意

風呂水の吸水状態により、水道水運転よりも運転時間が長くなることがあります。
お湯取運転中に風呂水がなくなると、自動で水道水給水に切り替わります。

- 風呂水ポンプが作動しても、風呂水を吸い上げ始めるまでに1～3分間かかります。
  お湯取ホース内の空気を抜くためです。
- 運転途中で風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、風呂水ポンプが作動してから約4～8分後に自動で水道水給水に切り替わるため、運転時間が長くなります。
  水道水に切り替わったあとの運転は、すべて水道水給水されます。
- 発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を入れた風呂水は使用しないでください。
  吸水されない場合があります。
- 風呂水吸水性能を上げるため、1分ごとに5秒間水道水を給水する場合があります。

風呂水(お湯取運転)を使う　つづき

お湯取運転の設定を記憶させる手順

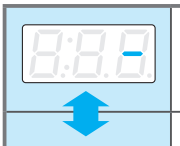
お湯取運転の設定を、次回運転時まで記憶する／しないを切り替えることができます。

工場出荷時は「お湯取運転の設定を記憶しない」が設定されています。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 お湯取 を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
「設定を記憶する」を設定すると、次回電源を入れたときも、お湯取運転の設定になっています。

	設定を記憶しない(工場出荷時)	「ピー」音でお知らせします
	設定を記憶する	「ピッ」音でお知らせします

3 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

お湯取運転の最後に水道水ですすぐ手順（清水すすぎ）

最後のすすぎ行程を「お湯取」に設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転を行います。
清水すすぎ中は、「 – 」が点滅します。

清水すすぎ中の表示



工場出荷時は「清水すすぎの設定なし」が設定されています。

1 切/入 を押し、電源を入れる

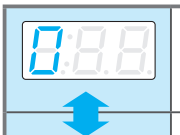
2 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ

3 洗い すすぎ 脱水 を押し、すべての表示を消す

洗い「なし(表示なし)」、すすぎ「なし(表示なし)」、脱水「なし(表示なし)」を設定します。

4 お湯取 を3秒以上押す

設定完了を表示と音でお知らせします。

	設定なし(工場出荷時)(清水すすぎは行いません)	「ピー」音でお知らせします
	設定あり	「ピッ」音でお知らせします

5 切/入 を押し、電源を切る

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●清水すすぎに使用する水道水は約7Lです。ためすすぎにはなりません。

ドアの開閉について

安全のため、運転が終了するまでドアが開かないようにロックされます。

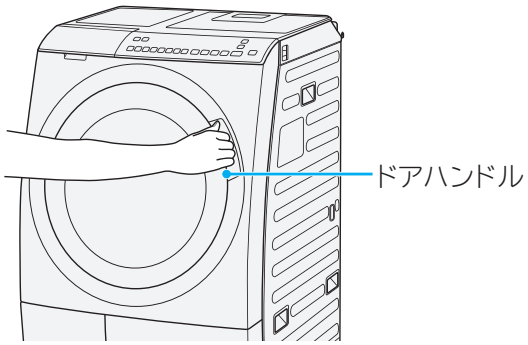
●ドアをしっかり閉めてから「スタート」ボタンを押してください。
●ドアにぶらさがったり、無理な力を加えたりしないでください。
本体の故障や水漏れの原因になります。

ドアの開けかた・閉めかた（ドアロックされていないとき）

ドアの開けかた

ドアハンドルを引いて開けます。

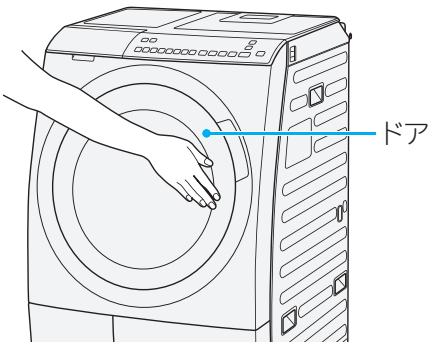
ドアの周囲はドアパッキンで気密を確保しているため、はり付きによりドアが開きにくい場合があります。



ドアの閉めかた

ドアの中央右側(右開きドアタイプの場合は中央左側)を押してしっかり閉めてください。

ドアパッキンの反力により、ドアが閉まりにくい場合があります。



ドアの開閉について　つづき

ドアのロックを解除する

電源が「切」のとき

電源ボタンを押して電源を入れます。

・運転中に電源を切ったり、停電があったりすると、ドアがロックされたままになります。
・ドラム内部が高温の場合は、冷却運転終了後、ドアのロックが解除されます。
・🔑 と ドアロック(3秒押し) が点灯しているときは、ドアロックが設定されています。ドアロック(3秒押し) を3秒以上押して、ドアロックを解除してください。

運転中に一時停止したとき

ドアが開けられる水位以上に、ドラム内に水が残っているときは、次の手順で排水してからドアを開けてください。

1. **一度 切/入 を押し、電源を切り、再度 切/入 を押し、電源を入れる**
2. **洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ**
3. **脱水 を押す** ※「4」分が点灯します。
4. **スタート 一時停止 を押し、排水する**
5. **ドラムが回り始めたら、スタート 一時停止 を押し、一時停止させる**
6. **🔑 が消灯したらドアを開ける**

ドアロック(チャイルドロック)について

子どもが勝手にドアを開けたり、ドラム内に閉じ込められないようにするため、電源を切った状態や運転前、運転中に強制的にドアをロックして、開けられないようにすることができます。

1. **ドアを閉め、 切/入 を押し、電源を入れる**
2. **設定するとき**

   ドアロック(3秒押し) を「ピッ」とブザーが鳴るまで3秒以上押す

   🔑 と ドアロック(3秒押し) が点灯し、ドアロックが設定されます。

   設定を解除するとき

   ドアロック(3秒押し) を「ピー」とブザーが鳴るまで3秒以上押す

   🔑 と ドアロック(3秒押し) が消灯し、ドアロックが解除されます。

ドアロックが設定されたままで運転を終了して、電源が切れていても、ドアロックは設定されたままになっており、ドアは開けられません。ドアを開けるには、電源を入れて設定を解除してください。

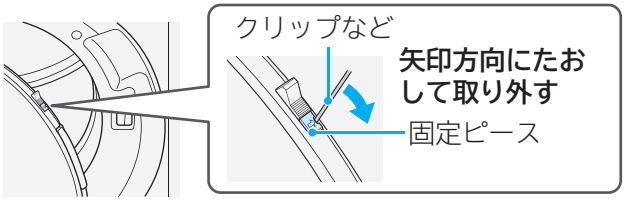
閉じ込め防止機能について

子どもが勝手にドアを開け、ドラム内に入ってしまっても閉じ込められないようにするため、ドアが閉まっても内側から開けることができます。(ドアをロックしない)

閉じ込め防止機能の設定のしかた

ドアハンドルを引いてドアを開け、先端が細いもの(クリップなど)を固定ピースの凹部に入れ、矢印方向にたおして取り外します。

固定ピースは、閉じ込め防止機能を解除するのに必要になりますので、取り外したあとは、大切に保管してください。



ドアの開けかた

ドアハンドルを引いて開けます。

ドアハンドルを引いたままの状態になります。

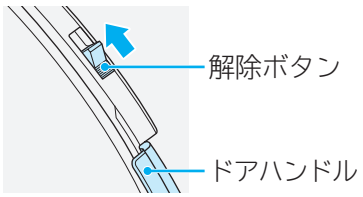
ドアの閉めかた

ドアの中央右側(右開きドアタイプの場合は中央左側)を押してゆっくり閉めてください。

この状態では、運転することはできません。

設定時の運転のしかた

1 解除ボタンを矢印方向にスライドさせて、ドアハンドルを元の状態に戻す

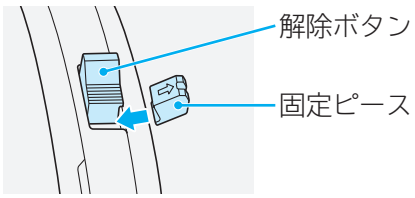


2 ドアハンドルを握らずに、ドアの中央右側(右開きドアタイプの場合は中央左側)を押して、しっかり閉める

運転することができます。

閉じ込め防止機能を解除するとき

解除ボタンをスライドさせて下図の状態にしてから、固定ピースを取り付けます。



固定ピースを紛失したときや、破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.102)

ドアの開閉について　つづき

運転中にドアを開けるとき

洗濯から乾燥運転中にドアを開ける手順

1 スタート 一時停止 **を押し、一時停止させる**

ドラム内部が高温の場合、「高温」が点灯または点滅します。

2 **ドラムの回転が止まったらドアを開ける**

高温（消灯）

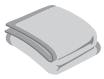
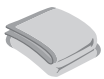
ドアのロックが解除され、ドアを開けることができます。
乾燥運転直後はドラムが高温のため、1～15分の冷却運転が始まります。
冷却運転後、ドアを開けることができます。

3 **ドアを閉め、** スタート 一時停止 **を押し、運転を再開させる**

- が点灯してドアがロックされ、運転が始まります。
- しっかりドアを閉めないと、ドアがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。
- ドラム内部が高温の場合、「高温」が点灯します。
- 無理にドアを開けると、ドアが破損するおそれがあります。

電源を入れたときや一時停止ボタンを押しても、 と ドアロック（3秒押し） が点灯しているときは、ドアロックが設定されています。 ドアロック（3秒押し） を3秒以上押して、ドアロックを解除してください。→(P.30)

運転コースの選びかた

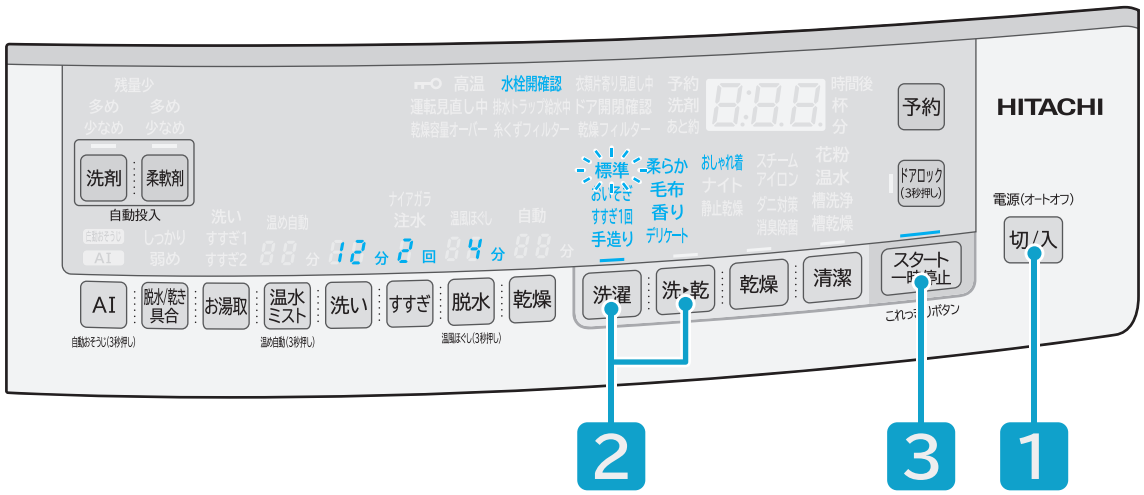
洗濯物の種類	コース	運転方法(最大洗濯・乾燥容量)			おすすめ洗剤 →(P.23) (乾燥コースは除く)
		洗濯	洗▶乾	乾燥	
普段の洗濯物 ・パジャマ ・肌着など 	標準	11kg	6kg	6kg	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
軽い汚れを短時間に 洗濯・乾燥したいとき ・パジャマ ・肌着など 	おいそぎ	6kg	6kg	—	(スピードコース用) 粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
すすぎ1回の専用洗剤 で洗濯したいもの ・ワイシャツ ・パジャマなど 	すすぎ1回	11kg	6kg	—	すすぎ1回 専用洗剤
自分でコースを造る ・普段の洗濯物 	手造り	11kg	6kg	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
タオルなどを風合いよく 仕上げたいとき 	柔らか	4.5kg	—	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
毛布や掛け布団など ・アクリル毛布 ・掛け布団 ・ベッドパッドなど 	毛布 →(P.39)	毛布：5kg 掛け布団：1kg 肌掛け布団：0.5kg	毛布：3kg 掛け布団：1kg 肌掛け布団：0.5kg	毛布：3kg 掛け布団：1kg 肌掛け布団：0.5kg	液体中性洗剤 または 液体合成洗剤 ※
柔軟剤の香りを しっかりつけたいとき 	香り	11kg	—	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
30 表示のあるデリケートな 衣類のお洗濯に ・ランジェリー ・ストッキングなど 	デリケート →(P.46)	3kg	—	—	液体中性洗剤 または 液体合成洗剤 ※
Ⓟ 表示のある衣類の お洗濯に ・スカート ・セーターなど 	おしゃれ着 →(P.44)	1.5kg	—	—	おしゃれ着用 液体中性洗剤 (毛・絹用)
静かに運転したいとき 	ナイト	—	4.5kg	4.5kg	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
ドライマークの付いた 衣類や靴などの乾燥 	静止乾燥 →(P.48)	—	—	0.4kg	—
乾いた洗濯物の洗濯しわ が気になるとき ・ブラウスなど 	スチーム アイロン →(P.50)	—	—	0.5kg 1kg	—
ダニが気になるとき 	ダニ対策 →(P.42)	3kg	—	—	液体合成洗剤
においや雑菌が気に なるとき ・スーツ ・ぬいぐるみなど 	消臭除菌 →(P.47)	—	—	1kg	—
花粉を取りたいとき ・肌着類 ・タオルなど 	花粉 →(P.47)	—	—	2kg	—
ドラムの汚れやにおいが 気になるとき ・洗濯物は入れないでください。 	温水槽洗浄 →(P.84)	2時間	—	—	日立純正洗濯機 クリーナー または 衣類用塩素系漂白剤
	槽洗浄 →(P.84)	11時間 3時間	—	—	
ドラムを乾かしたいとき ・洗濯物は入れないでください。 	槽乾燥 →(P.84)	—	—	1時間	—

※使用できない洗剤もあります。

洗濯・洗濯～乾燥する

洗濯のみ、洗濯～乾燥までを行うときの手順です。お好みのコースを選ぶことができます。

手動投入 使いかた　　**自動投入** を使う場合→(P.16～19)



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13～15)

1

ドアを閉め、

切/入 **を押し、電源を入れる**

2

洗濯 **または** 洗▸乾 **を押し、コースを選ぶ**

ボタンを押すごとにコースが選べます。また、各機能の設定・解除ができます。
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。**→(P.18)**

3

スタート 一時停止 **を押す**

洗濯物の量が自動計測され、30秒～2分後に洗剤量(目安)が表示されます。
ドラムにあらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「おしゃれ着」コースでは自動計測されません。

4

洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルター(「洗▸乾」運転時)をお手入れする→(P.74、75)
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

⚠注意

禁止

異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)

- **防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・乾燥をしないでください。**
- **毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。**
- **一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。**
  異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

各機能の設定・解除

「使いかた」の手順でコースを選んだあと、行程の変更→(P.60)や各機能の設定・解除ができます。
お好みに合わせて設定してください。（コースによっては変更・設定できないこともあります）
「温水ミスト」を設定した場合、洗濯・乾燥容量が異なります。

○‥‥設定できる　　ー‥‥設定できない

コース	AI お洗濯 →(P.52)	液体洗剤・柔軟剤 自動投入 →(P.16~19)	自動 おそうじ →(P.54)	温水 ミスト (30分/90分) →(P.55)	温水 ミスト (温め自動) →(P.55)	ナイアガラ すすぎ →(P.58)	温風 ほぐし脱水 「洗濯」運転のみ →(P.71)	脱水/乾き具合 →(P.67)	風呂水 (お湯取運転) →(P.25)	予約 →(P.64)
標準	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おいそぎ	ー	○	○	ー	○	ー	ー	○	○	○
すすぎ1回	ー	○	○	ー	○	ー	○	○	○	○
手造り	ー	○	○	ー	○	○	○	○	○	○
柔らか 「洗濯」運転のみ	ー	○	○	ー	○	ー	ー	ー	○	○
毛布	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
香り 「洗濯」運転のみ	ー	○	○	ー	○	ー	ー	○	○	○
デリケート 「洗濯」運転のみ	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
おしゃれ着 「洗濯」運転のみ	ー	柔軟剤のみ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
ナイト 「洗▶乾」運転のみ	ー	○	○	ー	○	ー	ー	○	○	○

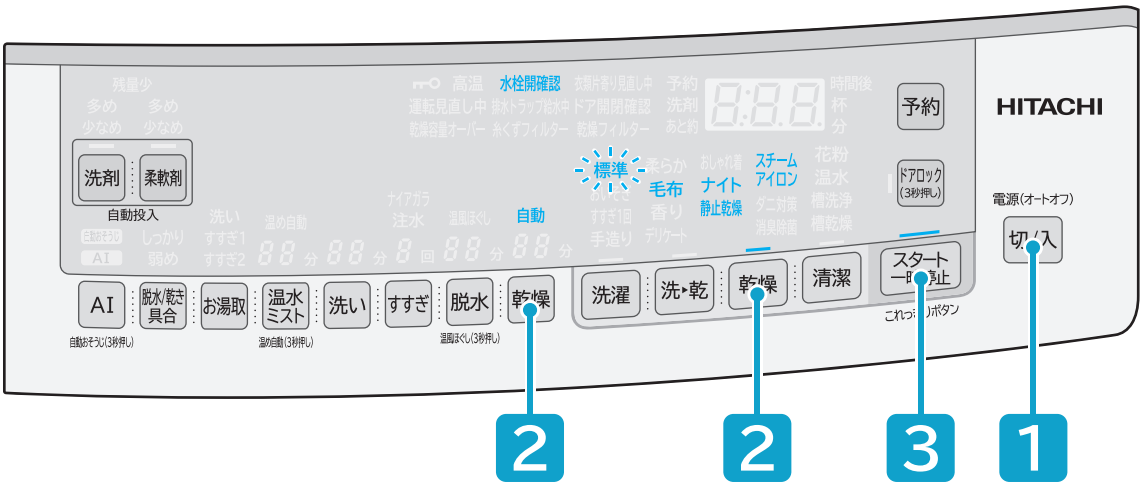
乾燥する

乾燥のみを行うときの手順です。洗濯は行いません。

使いかた

漂白剤などを使用した場合

洗濯時、漂白剤などを使用した場合は、においが残らない程度にすすいでから乾燥してください。
洗濯物に漂白剤などが残ったまま乾燥すると、本体の寿命を縮めたり、洗濯物を傷めたりします。



自動運転する場合

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13~15)

水を使って冷却・除湿します。
水栓(蛇口)が閉まっていると乾燥できません。

1 ドアを閉め、切/入 を押し、電源を入れる

2 乾燥 を押し、コースを選ぶ

ボタンを押すごとにコースが選べます。
洗濯物が乾くまで1時間以上運転されます。

表示 自動

乾き具合を調節する→(P.67)

3 スタート 一時停止 を押す

4 運転終了後、洗濯物を取り出し、乾燥フィルターをお手入れする→(P.74、75)

時間設定して運転する場合

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13~15)

水を使って冷却・除湿します。
水栓(蛇口)が閉まっていると乾燥できません。

1 ドアを閉め、切/入 を押し、電源を入れる

2 乾燥 を押し、「標準」コースを選び、乾燥 を押し、15/30/60/90分からいずれかの時間を選ぶ

「標準」コースのみ時間を変更することができます。

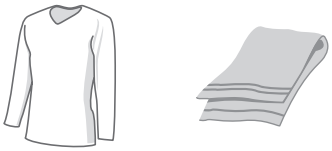
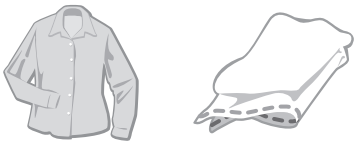
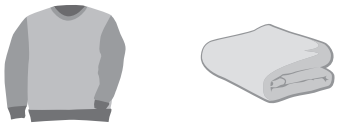
表示 15分 30分 60分 90分

3 スタート 一時停止 を押す

4 運転終了後、洗濯物を取り出し、乾燥フィルターをお手入れする→(P.74、75)

「標準」コースの時間を使い分ける

乾燥の仕上がりを良くするための、コースや方法について説明します。

洗濯物の種類	おすすめの乾燥コース
しわがつきにくい洗濯物 ・肌着 ・タオル類 ・Tシャツ（装飾のないもの） ・トレーナー　など 	「標準」コースで 「自動」設定
しわがつきやすい洗濯物 ・綿のシャツ（特に薄手のもの） ・シーツ　・パジャマ ・ハンカチ　・Tシャツ ・綿ズボン　・ブラウスなど 	「標準」コースで 「30分」設定 ※乾燥終了後、 つり干しをします。
厚手で乾きにくい洗濯物 ・厚手のトレーナー ・バスタオル ・ジーンズ　など 	「標準」コースで 乾き具合を 「しっかり」に設定

毛布コースでお洗濯キャップを使う

毛布コースで洗濯運転中に洗濯物の飛び出しを防ぐため、別売り部品のお洗濯キャップが必要になる場合があります。→(P.102)

お洗濯キャップの使いかた

お洗濯キャップを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。その場合は、保証の対象外になります。
（洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります）

お洗濯キャップ使用時の運転できる容量

運転方法	毛布		掛け布団	
	運転できる容量	お洗濯キャップ	運転できる容量	お洗濯キャップ
洗濯	3kg以下	必要に応じて使用する	掛け布団：1kg以下	使用する
	3kg～5kg	使用する	肌掛け布団：0.5kg以下	
洗▸乾・乾燥	3kg以下	使用できない	掛け布団：1kg以下	使用できない
			肌掛け布団：0.5kg以下	

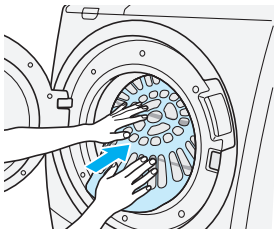
「洗▸乾」「乾燥」運転の場合は、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまうため、使用しないでください。

お洗濯キャップの取り付けかた

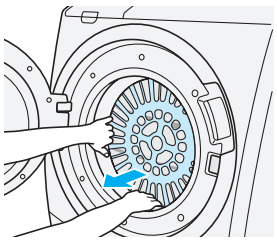
1 お洗濯キャップを曲げ、上側から挿入する



2 図のように、お洗濯キャップの下側を変形させて押し込む

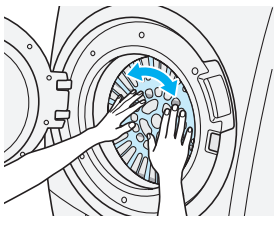


3 お洗濯キャップの外側を手前に引き、ドラムの内側にあてる



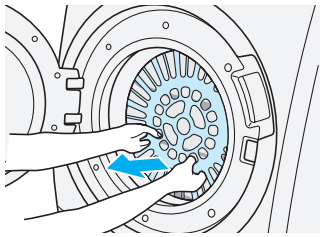
4 すべてドラムに入っているか確認する

お洗濯キャップに手をかけて、ドラムがスムーズに動くことを確認する

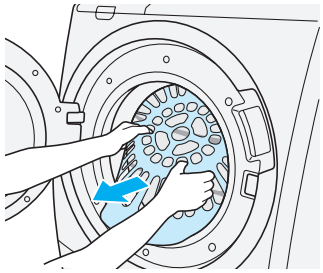


お洗濯キャップの取り外しかた

1 お洗濯キャップの下側を図のように持って、手前に引き上げる



2 下側が外れたら、手前に引き出す



お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、指や腕を挟まないよう注意してください。

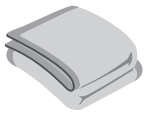
毛布コースで洗濯・洗濯~乾燥・乾燥する

毛布など大物の洗濯物を傷めず洗い上げます。

毛布、掛け布団、ベッドパッド、カーテンなどを「洗濯」「洗▸乾」運転するときは、「毛布」コース以外では運転しないでください。洗濯物を傷める場合があります。

洗濯の準備

洗濯・乾燥できるもの

	毛布	掛け布団
素材	化繊(ポリエステル、アクリル)または綿	詰め物素材が化繊(ポリエステル)または羽毛
取扱絵表示	(液温40℃を限度とし、手洗いができる)表示	詰め物素材が羽毛の場合 (液温40℃を限度とし、手洗いができる) または (液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる)表示
容量	**毛布（ダブルサイズ）**  [洗濯] **5kg以下**(合計1枚まで) [洗▸乾・乾燥] **3kg以下**(合計1枚まで)	**掛け布団（シングルサイズ）**  [洗濯] 詰め物の重さが**1kg以下**(合計1枚まで) [洗▸乾・乾燥] 詰め物の重さが**1kg以下**(合計1枚まで)
	毛布（シングルサイズ） [洗濯] **5kg以下**(合計3枚まで) [洗▸乾・乾燥] **3kg以下**(合計1枚まで)	**肌掛け布団（シングルサイズ）** [洗濯] 詰め物の重さが**0.5kg以下**(合計1枚まで) [洗▸乾・乾燥] 詰め物の重さが**0.5kg以下**(合計1枚まで)
サイズの目安(約)	ダブル　：幅180cm×長さ230cm シングル：幅146cm×長さ203cm	シングル：幅150cm×長さ210cm
使用する洗剤	**液体合成洗剤または液体中性洗剤** 使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。	

毛布を2枚以上入れて運転する場合は、1枚3kg以下にしてください。
毛玉ができやすい毛布は、1枚で運転してください。
ドラム内で毛布が入れ替わりにくくなり、温風が部分的に吹き付けられ、毛玉ができる原因になります。

そのほか、 表示のベッドパッド、カーテン、タオルケットも洗濯(5kg以下)、洗▸乾・乾燥(3kg以下)できます。

洗濯・乾燥できないもの

	毛布	掛け布団
素材	●羊毛(ウール)やカシミヤ素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。 ●異なる大きさの毛布(2枚以上の場合)	●詰め物素材が羊毛(ウール)のもの ●詰め物素材がポリエステル100%のものは乾燥できません ●カバー材質が絹のもの ●カバー材質が防水性のもの

運転動作(「洗濯」「洗▸乾」)

洗い
ドラムを回転させながら洗濯液を循環させます。

▶

すすぎ3回
排水・脱水・給水しながら水を入れ替えてすすぎます。

▶

排水・脱水
排水して、脱水します。

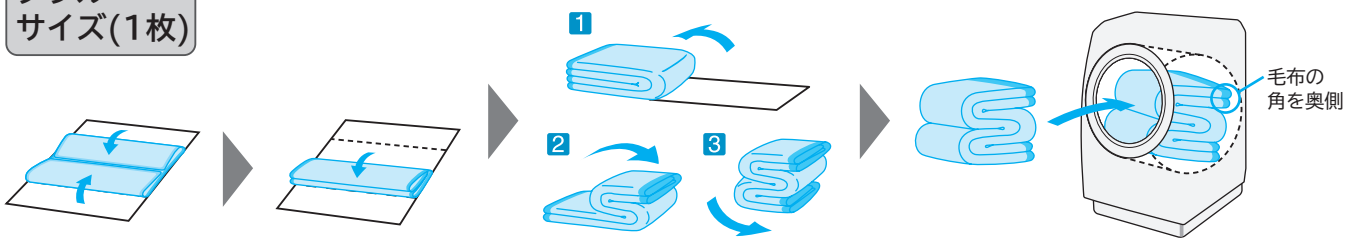
▶

乾燥
(「洗▸乾」運転の場合のみ)
ドラムを回して乾燥します。

毛布コースで洗濯・洗濯～乾燥・乾燥する　つづき

毛布・掛け布団の折りかた・入れかた

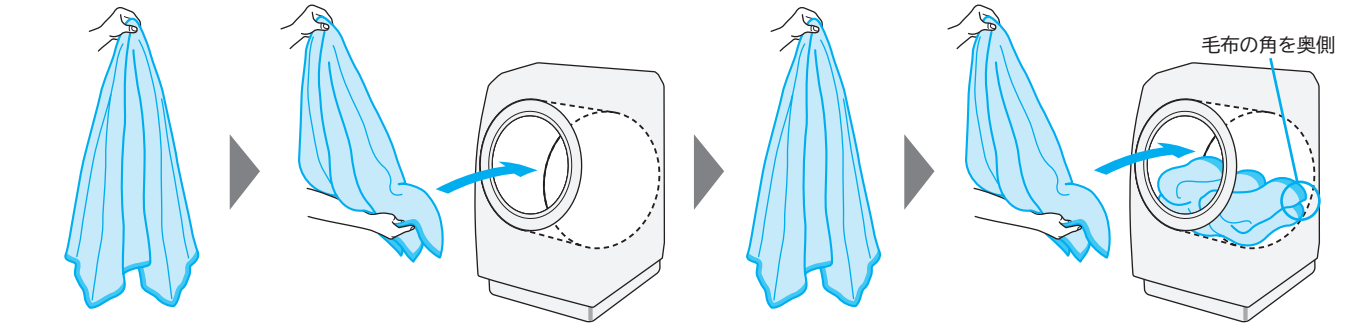
ダブルサイズ(1枚)



両端を内側に折る　さらに2つに折る　びょうぶ折り(4つ折り)にする　毛布の角を奥側にして、ドラムに入れる

シングルサイズ(2枚)

お洗濯キャップを使用してください。



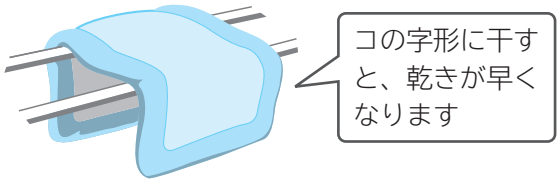
1枚目の毛布中央をつまむ　1枚目の角が奥側になるように入れる　2枚目の毛布中央をつまむ　2枚目の角が奥側になるように入れる

※別売りのお洗濯キャップの取り付けかたは→(P.38)

毛布の角を奥側にしないと、運転中に毛布を傷めるおそれがあります。

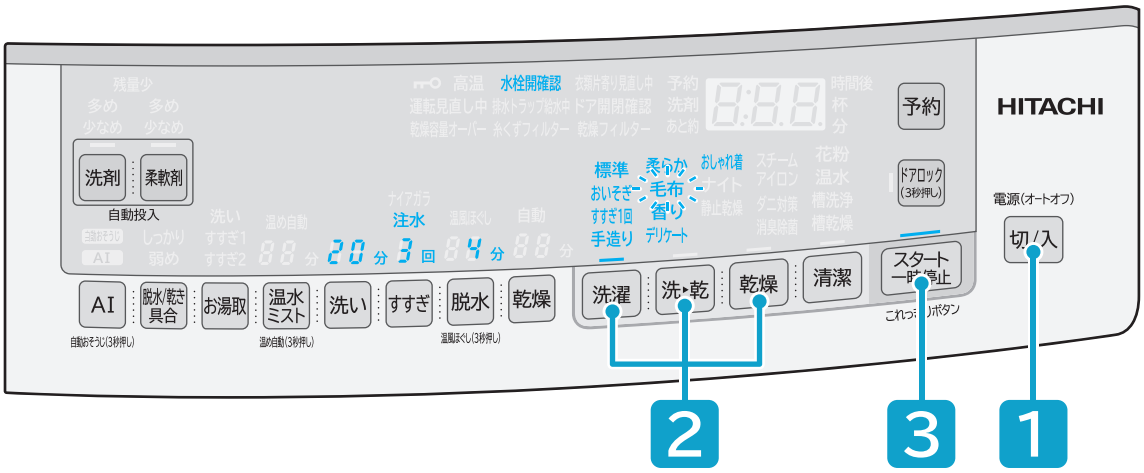
毛布・掛け布団の干しかた

風通しのよいところで自然乾燥させます。（掛け布団の場合は、晴天の日で約4時間かかります）



●毛布　：湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
●掛け布団　：時々裏返すと乾きやすくなります。
また、詰め物をつまんでほぐすとふっくら仕上がります。
●羽毛の掛け布団：詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください。
●カーテン　：レールにかけて形を整えて干すと、シワが伸びてきれいに仕上がります。
カーテンから水滴が垂れる場合は、床にタオルなどを敷いてください。
シワを抑制するために、脱水時間は1～3分に設定することをおすすめします。

手動投入 使いかた　　自動投入 を使う場合→(P.16～19)



「洗▸乾」「乾燥」運転の場合は、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまうため、使用しないでください。

洗濯物への糸くず付着の抑制として、運転前に糸くずフィルターのお手入れをおすすめします。

準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.39)

お洗濯キャップ使用時の運転できる容量 →(P.38)

1

ドアを閉め、

切/入 **を押し、電源を入れる**

2

洗濯 、洗▸乾 、乾燥 **いずれかを押し、「毛布」コースを選ぶ**

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)

3

スタート 一時停止 **を押す**

※洗剤量(目安)表示は0.5杯になります。

4

液体洗剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)

(粉末洗剤は使用しないでください)

※ 乾燥 は液体洗剤、柔軟剤は使用しない

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、

乾燥フィルター(「洗▸乾」「乾燥」運転時)をお手入れする→(P.74、75)

糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

「洗濯」運転時の脱水時間の目安	1～3分	4～6分	7～9分
洗濯物	カーテン	毛布(アクリル、ポリエステル) 掛け布団	毛布(綿) タオルケット

「洗▸乾」運転終了後、乾きムラがあるときは、毛布を折り返し、乾燥「毛布」コースで再度乾燥させてください。

ダニ対策コースを使う

ダニが気になるときにおすすめのコースです。
すすぎ運転の途中で洗濯物に温風を吹きつけることで、ダニ対策をすることができます。

洗濯物の準備

洗濯できるもの

素材	●毛布(アクリル、ポリエステル) ※シングルサイズ(幅146cm×長さ203cm)以下 毛布の折りかた・入れかた→(P.36) ●シーツ ●枕カバー
容量	3kg以下(合計2枚まで)
使用する洗剤	液体合成洗剤 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

洗濯できないもの

素材	●ぬいぐるみ　●枕　●掛け布団　●厚手の毛布　●羊毛(ウール)やカシミヤ素材のもの ●電気毛布　●異なる大きさの毛布(2枚以上の場合)

運転動作

洗い
ドラムを回転させながら洗濯液を循環させます。

▶

すすぎ1回目
シャワーをかけながらすすぎ、同時に排水します。

▶

温風加熱
ヒーターで温風を吹きつけて、洗濯物の温度を上げます。

▶

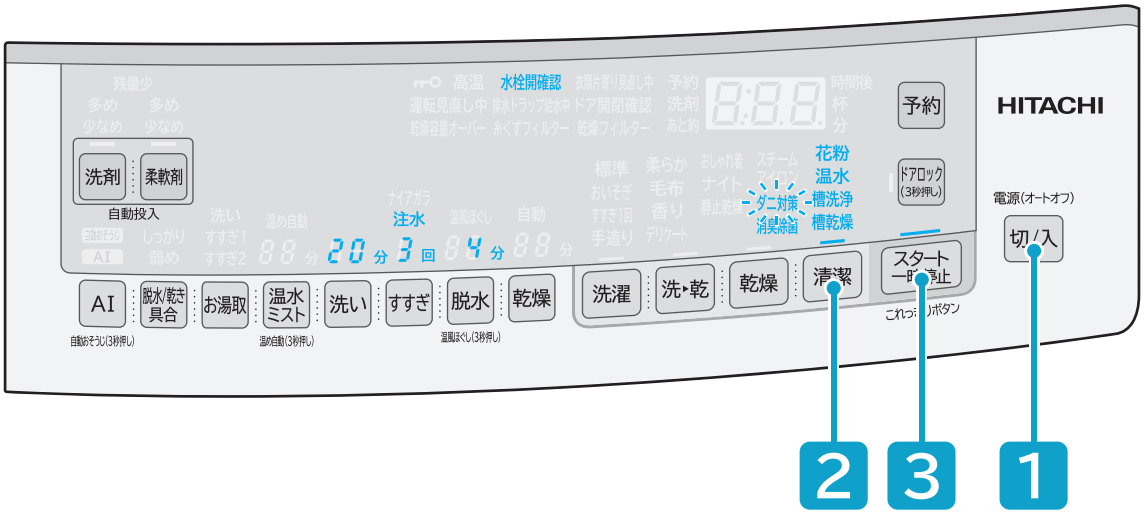
すすぎ2・3回目
排水・脱水・給水しながら水を入れ替えてすすぎます。

▶

排水・脱水
排水して脱水します。

手動投入 使いかた

自動投入 を使う場合→(P.16～19)



お洗濯キャップを使用しないでください。

準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.42)

1

ドアを閉め、

切/入 **を押し、電源を入れる**

2

清潔 **を押し、「ダニ対策」コースを選ぶ**

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。**→(P.18)**

3

スタート 一時停止 **を押す**

※洗剤量(目安)表示は0.5杯になります。

4

液体洗剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)

(粉末洗剤は使用しないでください)

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、

乾燥フィルターをお手入れする→(P.74、75)

糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

おしゃれ着コースで洗濯する

ドラムをほとんど回転させずに、洗濯物をやさしく洗い上げます。
(液温は40℃を限度とし、手洗いができる)、Ⓟ(ドライクリーニングができる)表示の衣類は、「おしゃれ着」コースを使用してください。「おしゃれ着」コース以外で運転すると洗濯物を傷める場合があります。

洗濯物の準備

取扱絵表示	● (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示 ● Ⓟ Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.13)
容量	**1.5kg以下**
使用する洗剤	おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用) 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

洗濯できないもの

取扱絵表示	● (家庭での洗濯禁止)表示のもの × ● Ⓕ Ⓕ (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示のものは、洗濯機で洗濯できません。

運転動作

洗い
ドラムをほとんど回転させずに、循環シャワーを散布して洗います。

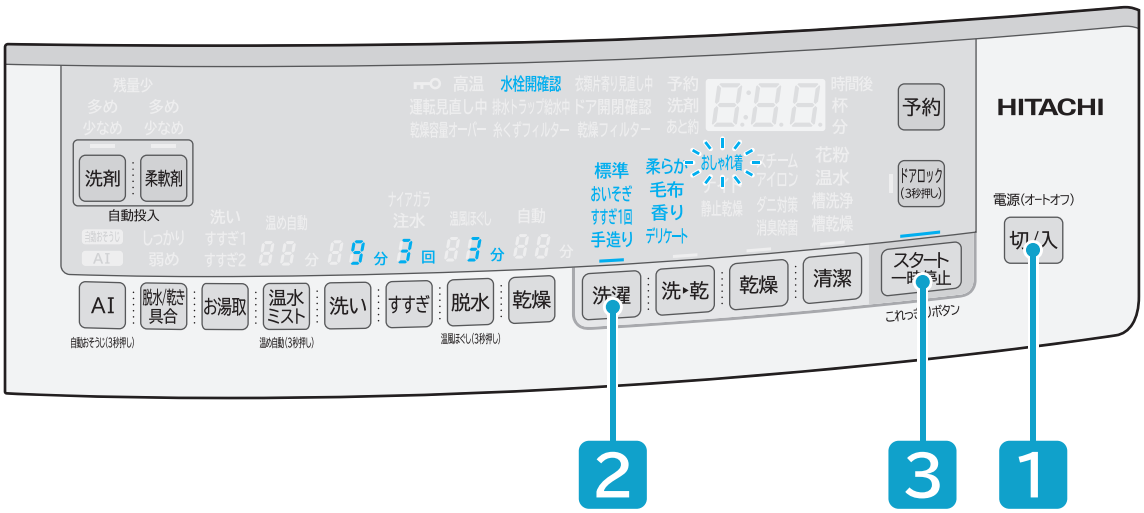
▶

すすぎ(ためすすぎ)
排水・脱水し、給水後、ドラム回転と循環シャワーですすぎます。

▶

排水・脱水
排水して、弱めに脱水します。

手動投入 使いかた　　自動投入 を使う場合→(P.16～19)



準備　水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.44)

1　ドアを閉め、
切/入 を押し、電源を入れる

2　洗濯 を押し、「おしゃれ着」コースを選ぶ

柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)
(液体洗剤の自動投入は設定できません)

3　スタート 一時停止 を押す

※洗剤量(目安)表示は0.5杯になります。

4　液体洗剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)
(粉末洗剤は使用しないでください)

5　運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

デリケートコースで洗濯する

水をたっぷり使い、衣類を泳がせるように洗うコースです。
(液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる)表示のデリケートな衣類は、「デリケート」コースを使用してください。「デリケート」コース以外で運転すると、洗濯物を傷める場合があります。

洗濯物の準備

洗濯できるもの

取扱絵表示	(液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる)表示 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.13)
容量	3kg以下
おすすめ洗剤	液体中性洗剤または液体合成洗剤 ・使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 ・液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

運転動作

洗い
ドラムを回転させ、循環シャワーを散布して洗います。

▶

すすぎ(ためすすぎ)
排水・脱水し、給水後、ドラム回転と循環シャワーですすぎます。

▶

排水・脱水
排水して、脱水します。

手動投入 使いかた

自動投入を使う場合→(P.16～19)

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる

1 ドアを閉め、
切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 を押し、「デリケート」コースを選ぶ
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)
お好みの設定で運転する→(P.60～63)

3 スタート 一時停止 を押す

4 液体洗剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)
(粉末洗剤は使用しないでください)

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

消臭除菌・花粉コースを使う

「消臭除菌」コースは、乾いた洗濯物のにおいや雑菌が気になるときにおすすめのコースです。
洗濯物に温風を吹きつけることで、消臭と除菌を行います。
「花粉」コースは、洗濯物の花粉を取りたいときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんな洗濯物に	最大容量	運転時間
消臭除菌	においや雑菌が気になるとき ●においの種類によっては、消臭できないものもあります。 ●菌の種類によっては、除菌できないものもあります。	1kg	50分
花粉	花粉を取りたいとき 洗濯物に付いた花粉を、ドラム内で落とし、排水と一緒に流します。	2kg	15分

消臭除菌コースが使えるもの 使えないもの→(P.13)

●ウール、アクリル製品(強撚糸以外)
●帽子やかばん(皮革、毛皮製品以外)
●靴やスリッパ
●スーツやスラックスなど
●ぬいぐるみ(詰め物にウレタンを使用していないもの)

・種類によっては運転できないものがあります。商品の取り扱い表示に従ってください。
・接着剤を使用している製品は消臭除菌できません。接着剤が溶けてはがれてしまうおそれがあります。

使いかた

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる

1 ドアを閉め、
切/入 を押し、電源を入れる

2 清潔 を押し、「消臭除菌」コースまたは「花粉」コースを選ぶ
ボタンを押すごとにコースが選べます。

3 スタート 一時停止 を押す

4 運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルターをお手入れする→(P.74、75)

静止乾燥する

Ⓟ(ドライクリーニングができる)表示の衣類や靴などを乾燥したいときに「静止乾燥」コースを使用してください。

洗濯物の準備

乾燥できるもの（乾燥できないもの→(P.13)）

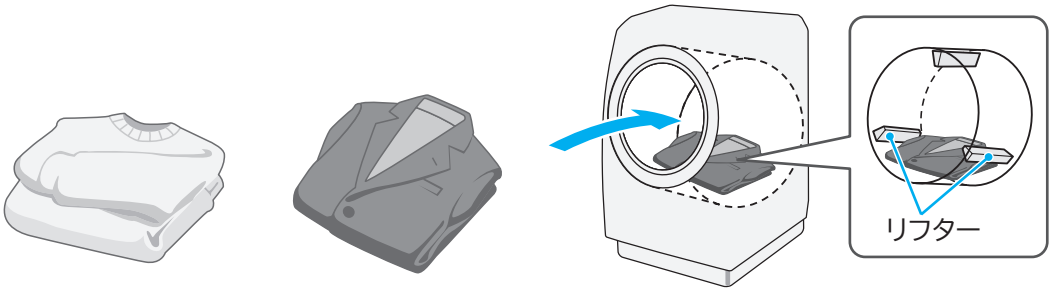
素材	ウール、ポリエステル、混紡 ●セーター、カーディガン ●ブラウス、シャツ、ワンピース ●スラックス、スカート ●学生服、セーラー服 ●靴やスリッパ
容量	**0.4kg以下**(洗濯物の量は1枚)



●取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニング店にご相談することをおすすめします。
●油の付着したものは乾燥できません。

洗濯物の入れかた

洗濯物はきちんとたたんでから、ドラム内のリフターの間に均一に広げて入れてください。



乾燥が終わったら

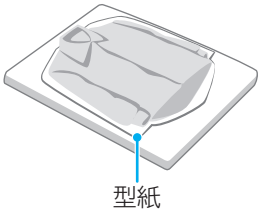
乾きムラがある場合には、洗濯物を反対側にたたみ直して、再度「静止乾燥」運転をしてください。

仕上げ(縮み、形くずれの直しかた)

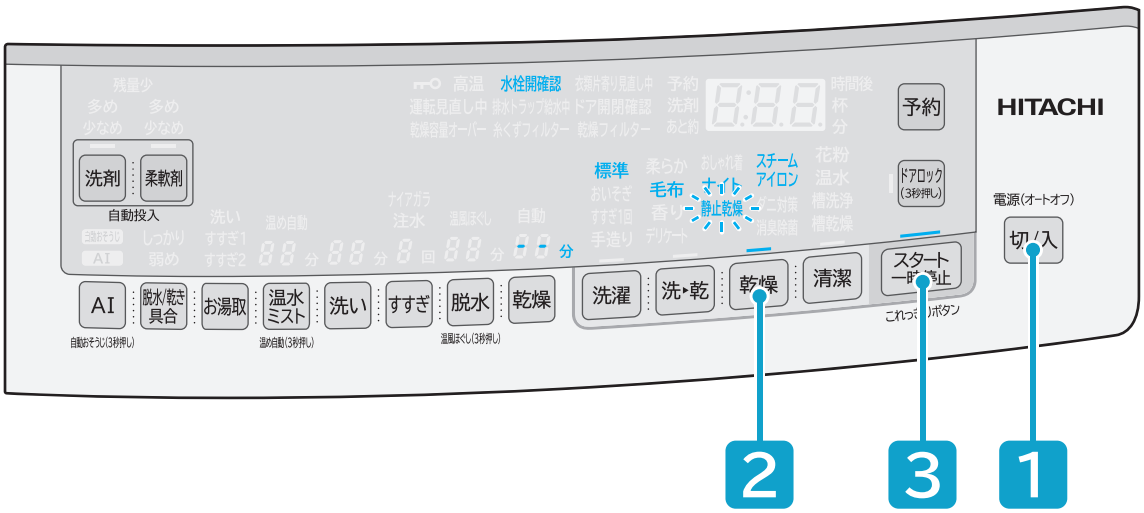
スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。



スチームをたっぷり当てたあと、洗濯前にとっておいた型紙に合わせて元の形まで伸ばし、形を整えます。



使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.48)

1

ドアを閉め、

切/入 **を押し、電源を入れる**

2

乾燥 **を押し、「静止乾燥」コースを選ぶ**

3

スタート 一時停止 **を押す**

ドラムは回転しません。

4

運転終了後、洗濯物を取り出し、

乾燥フィルターをお手入れする→(P.74、75)

水冷除湿方式が設定されていると、「静止乾燥」コースを設定することができません。**→(P.69)**

スチームアイロンを使う

コースの使い分け

コース	こんな洗濯物に	運転時間	最大衣類容量（目安）	衣類例
スチームアイロン	乾いた洗濯物のしわが気になるときに 	15分	0.5kg	カジュアルシャツ 1枚 ブラウス 1枚
		30分	1kg	カジュアルシャツ 2枚 ブラウス 2枚

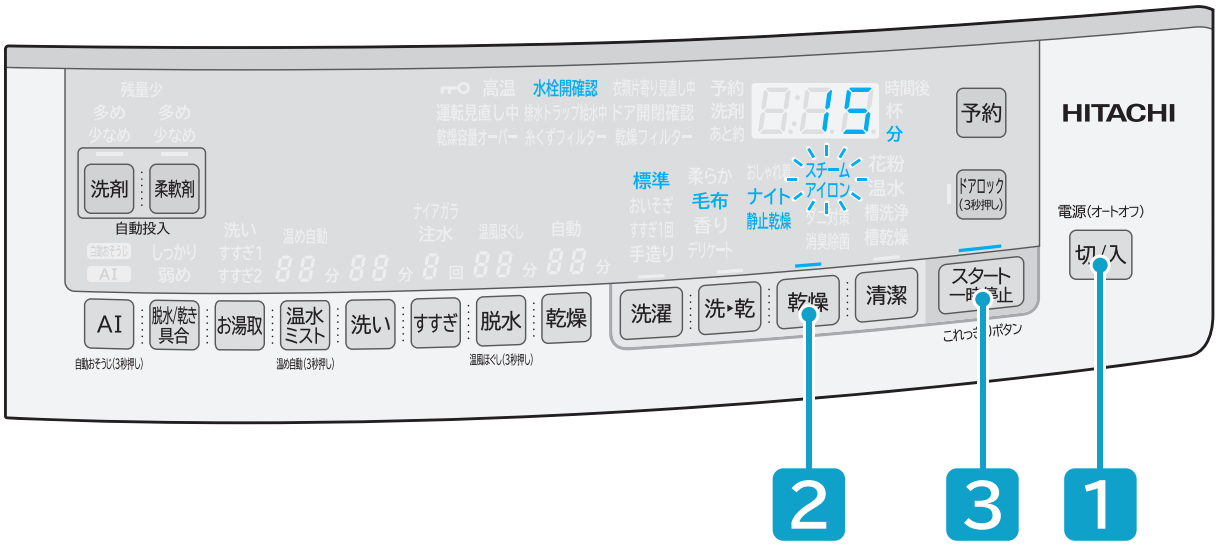
スチームアイロン機能について

●つり干し後や着用後、また、タンスに収納していた衣類のしわを伸ばします。
(しわの伸び具合は、洗濯物の量や種類によって異なります。しわが完全になくなるわけではありません)
●普段アイロンがけしないカットソーなどの衣類も手間なく仕上げます。
●つり干しでごわついたタオルも、柔らかくふわふわに仕上がります。
●高い消臭機能で、においを低減して清潔に仕上げます。
(すべてのにおいを除去することはできません。においの種類や強さによっては、残る場合があります)
●次のようなしわは取れにくくなります。
・乾燥運転で付いた深いしわ
・合成繊維製品(ポリエステルなど)のしわ
●綿素材の衣類を運転した場合には、表面に細かい凹凸しわができます。

スチームアイロンできるもの （運転できないものは→(P.13)）

素材	麻、綿、ポリエステル ●ブラウス、ワイシャツ、カジュアルシャツ ●カットソー ●ズボン、スカート ●パジャマ ●ハンカチ、タオル 
容量	**1kg以下**(1kg以上の洗濯物を入れると、しわが取れにくくなります)

使いかた



運転開始前にドラムやドアがぬれているときは、ふき取ってください。

準備

水栓(蛇口)を開け、衣類を入れる→(P.50)
〔水栓(蛇口)が閉まっているとスチームアイロンができません〕

1

ドアを閉め、

切/入 **を押し、電源を入れる**

2

乾燥 **を押し、「スチームアイロン」コースの「15分」または「30分」を選ぶ**

15分 または 30分 ボタンを押すごとに時間が選べます。

3

スタート 一時停止 **を押す**

4

運転終了後、衣類を取り出す
(ドラムやドアがぬれているときは、ふき取ってください)

AIお洗濯を使う

複数のセンサーで洗剤の種類や布質・汚れの量などの情報を見て、自動で各行程に適した洗濯制御で運転します。

AIお洗濯について

設定内容	パネルの表示	効果と行程内容
標準 (工場出荷時)		「AIお洗濯」設定なし
AIお洗濯		洗剤の種類や布質、汚れの量、水の硬度などの情報を見て、自動で 「洗い」「すすぎ」「脱水」それぞれの行程に適した洗濯制御で運転します。

設定できるコース

「標準」コース

運転動作

センシング・洗剤溶かし
(水の硬度・水温・布量・洗剤の種類を検知) ▶ **洗い**
(汚れ具合・布動き・布質を検知) ▶ **すすぎ(ためすすぎ)**
(すすぎ具合を検知) ▶ **脱水**
(脱水具合を検知)

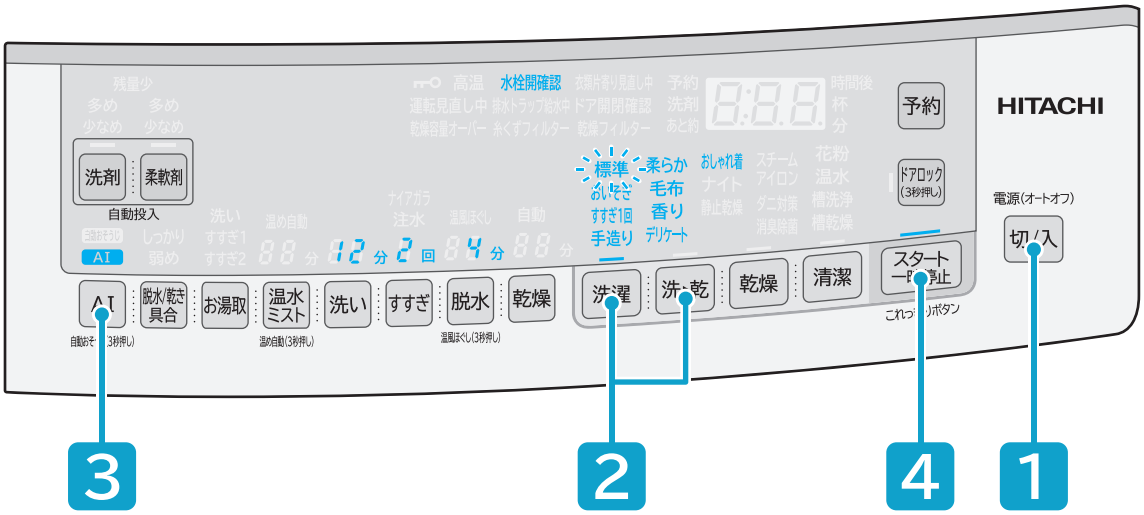
作動しない場合（その回の運転のみ自動で解除されます）

●「標準」コースを設定しても、洗い時間など手動で内容を変更した場合や、「お湯取運転」「温水ミスト」(温め自動/30分/90分)「ナイアガラすすぎ」を設定した場合。
最初に上記の変更または設定をした場合は、AIお洗濯は設定できません。
●ドラム内に約3L以上の水が入った状態で運転を開始した場合。
●洗濯途中で行程を変更した場合。

こんなときには

●AIお洗濯設定時、液体洗剤の自動投入は「設定なし」と「設定あり(洗剤量：標準)」が設定できます。
●洗剤量表示、または運転時間が変化しない(減らない)
・洗剤量(目安)表示が0.3杯の場合
・お住まいの地域(水の硬度や水温)、使用条件(洗剤の種類や投入量、汚れの種類や量)によっては変化しないことがあります。
硬水地域や水温が低い場合は、洗剤の泡立ちがわるいため、洗剤量、運転時間を減らしません。
同じ地域であっても、水道水を供給する浄水場によって、その水硬度は異なります。
・使用条件(洗剤の種類や投入量、汚れの種類や量)によっては変化しないことがあります。
汚れの量が多い場合でも、汚れの落ち具合により、洗い時間を変更しないことがあります。
・泡の発生によっては汚れの落ち具合が検知できない場合があります。
(洗剤によっては泡が発生しやすいものもあるため)
●AIお洗濯で、汚れの量が多いときは、洗い行程の運転時間が長くなります。
(衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)

手動投入 使いかた　　自動投入 を使う場合→(P.16～19)



工場出荷時は「なし」が設定されています。設定を変更するときは

準備
水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13～15)

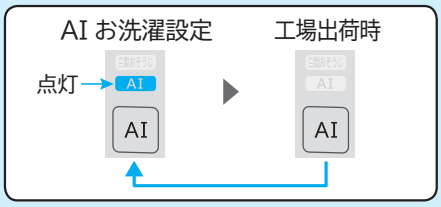
1
ドアを閉め、
切/入 **を押し、電源を入れる**

2
洗濯 **または** 洗→乾 **を押し、「標準」コースを選ぶ**

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)

3
AI **を押し、AIお洗濯を設定する**

押すごとに表示が切り替わり、変更することができます。
設定によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。→(P.52)



4
スタート一時停止 **を押す**

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。
洗濯物の量が自動測定され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

5
洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる →(P.20、22、23)

6
運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルター(「洗▸乾」運転時)をお手入れする→(P.74、75)
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

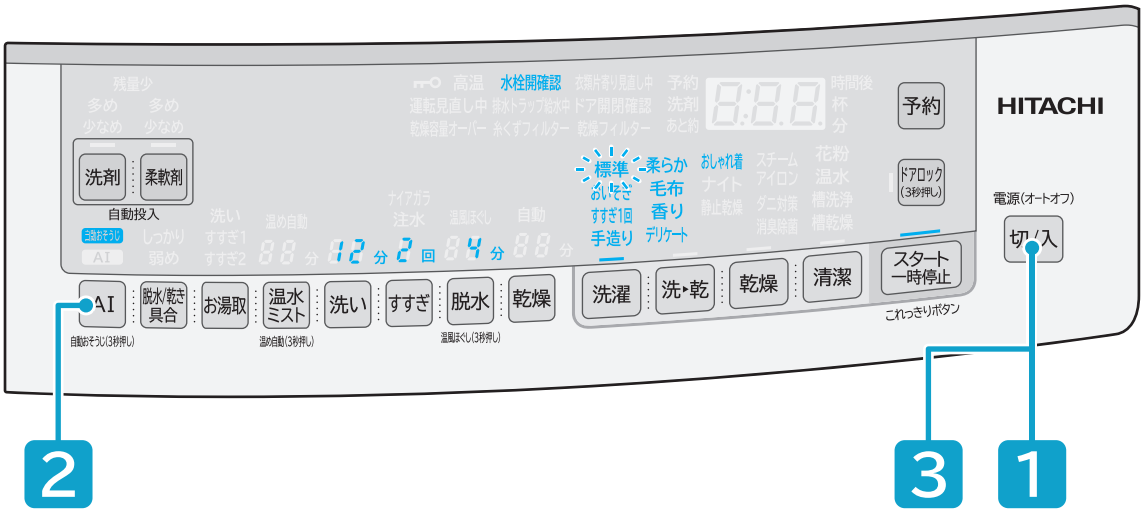
自動おそうじを使う

洗濯槽の裏側などの見えない部分に付着しやすい汚れなどを、水道水を使用して自動で洗い流します。
よりきれいに洗濯をするために、設定することをおすすめします。
また、「温水槽洗浄」「槽洗浄」コースを併用することで、気持ちよくお使いいただけます。→(P.84)

設定できないコース

「毛布」「デリケート」「おしゃれ着」コース、乾燥運転、清潔運転

使いかた



1 切/入 を押し、電源を入れる

2 AI を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
一度の設定で、毎回作動します。

自動おそうじ	**設定なし** **(工場出荷時)**	「ピー」音で お知らせします
自動おそうじ	**設定あり** 洗濯槽の洗浄をしたいとき。	「ピッ」音で お知らせします

3 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

●「自動おそうじ」は、洗濯運転中に自動で作動します。単独で作動させることはできません。
●手動で「洗い」のみ、「脱水」のみ、または「すすぎ」なし(表示を消す)を設定した場合は、
「自動おそうじ」は自動で解除(消灯)されます。
●「自動おそうじ」を設定すると、運転時間と使用水量が増えます。

温水ミスト(温め自動/30分/90分)を使う

(汚れを落ちやすくする・黄ばみを予防する、落とす・においの原因菌を洗い流す)

洗い行程の前に、洗濯物に温水ミストを吹きつけ、衣類を温めます。洗剤の酵素パワーを活性化させ、かくはん洗いをすることで、黄ばみの原因となる皮脂汚れを落とします。

機能の使い分け

設定内容	パネルの表示	効果と行程内容	容量		おすすめ洗剤
			洗濯	洗▸乾	
標準		「温水ミスト」を作動させない 〔(温め自動)設定なし：工場出荷時の状態〕	11kg以下	6kg以下	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水ミスト温め自動		汚れを落としやすくします。 室温約8℃以下、または水温約13℃以下の場合に自動で「温水ミスト」を約16分間作動させる (室温や水温が高い場合は作動しません)	11kg以下	6kg以下	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水ミスト30分		黄ばみを予防します。 水温にかかわらず「温水ミスト」を30分間作動させる	5kg以下		粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水ミスト90分		黄ばみを落とし、においの原因菌も洗い流します。 水温にかかわらず「温水ミスト」を90分間作動させる	2kg以下		粉末合成洗剤

設定できるコース

●「温水ミスト」(温め自動)　　：「毛布」「デリケート」「おしゃれ着」コース、乾燥運転、清潔運転以外
●「温水ミスト」(30分)(90分)：「標準」コース
●「温水ミスト」(90分)では、液体洗剤の自動投入の設定はできません。

温水ミスト(温め自動/30分/90分)を使う　つづき

運転動作

洗剤液を洗濯物にかけて染み込ませる ▶ ドラムを回転させながらミスト状の温水を洗濯物に吹き付け、回転休止を繰り返す ▶ 洗い ▶ すすぎ ▶ 脱水

温水ミスト温め自動の場合：約16分間
温水ミスト30分の場合　：約30分間
温水ミスト90分の場合　：約90分間

●作動中は、「温水ミスト」が点滅し、動作終了後、消灯します。
●「温水ミスト」作動中に一時停止を押しても、ドラム内部が高温またはジェット送風ファンが作動しているため、すぐにドアロックが作動しない場合があります。
●作動中は、「温水ミスト」が点滅し、作動終了後、消灯します。
●「温水ミスト」作動中に一時停止を押しても、すぐにドアロックが解除しない場合があります。
●「温水ミスト」(30分)(90分)を設定時に、室温約8℃以下、もしくは水温13℃以下の場合は、「温水ミスト」の作動時間がさらに約15分、または約40分長くなります。
●「温水ミスト」設定時は、一時停止を押しても、洗い・すすぎ・脱水などの運転内容を変更することはできません。
●「温水ミスト」設定時は、乾燥フィルターや乾燥フィルター取り付け部に結露水が発生する場合がありますが、異常ではありません。
●ドラムにあらかじめ水が入っている状態で運転を開始した場合は解除されます。
●「温水ミスト」(温め自動)(30分)(90分)を設定するときは、衣類の取扱絵表示に従ってください。
　・取扱絵表示の水温の上限温度が30℃または40℃以下となっている衣類は洗わないでください。
　・手洗い指定や、水洗いができない衣類は洗わないでください。
●衣類を傷めたり、色移りしたりすることがあります。色柄ものと白物は分け洗いをしてください。
●衣類の量、汚れ、洗剤の種類によって効果は異なります。
●「温水ミスト」(30分)(90分)を設定している場合は、「温水ミスト」が作動するため、
　・通常運転より、運転時間が約30分間、または約90分間長くなります。
　・通常運転より、消費電力が増えます。
●日光などで変色した黄ばみは落ちません。すべての黄ばみが落ちるわけではありません
●「温水ミスト」(30分)(90分)設定時は、「温め自動」を設定することはできません。
●「温水ミスト」作動中、泡の発生による機器の故障を防止するため、ジェット送風ファンが作動しない場合があります。洗剤によっては、泡が発生しやすいものもあるため、違う粉末合成洗剤をご使用いただくか、洗剤量(目安)表示より洗剤を少なめに入れてご使用ください。
●「温水ミスト」(90分)設定時は、一定時間(約5分間)ドラムが回転しない場合があります。衣類の傷みを抑制するためであり、異常ではありません。
●「温水ミスト」(90分)設定時は、洗い6分の固定となり、変更することはできません。

「温水ミスト」(温め自動)の使いかた

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 温水ミスト を3秒以上押す ▶

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

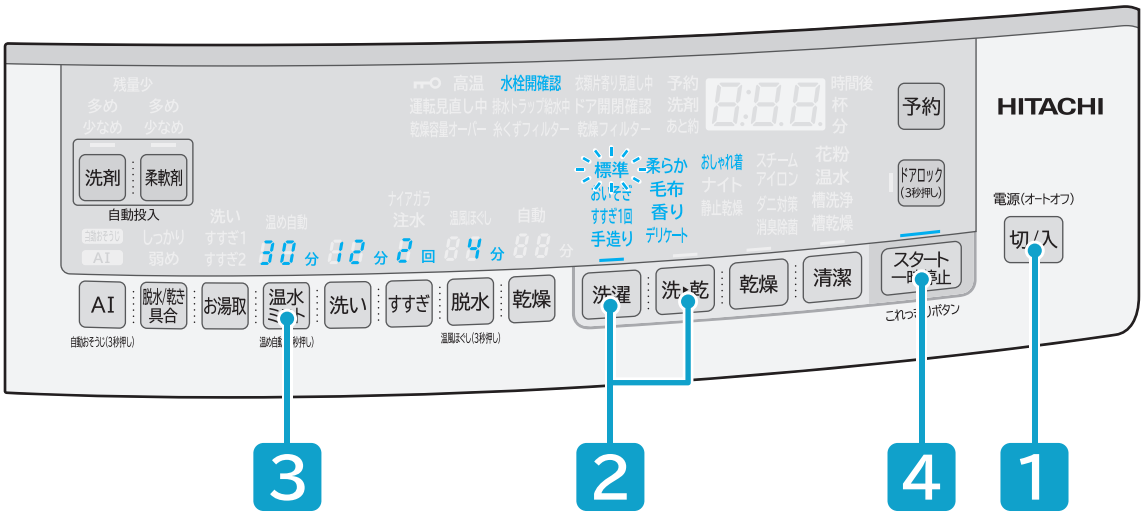
	「温水ミスト」(温め自動)設定なし(工場出荷時)	「ピー」音でお知らせします
	「温水ミスト」(温め自動)設定あり	「ピッ」音でお知らせします

3 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

手動投入 使いかた「温水ミスト(30分/90分)」

自動投入 を使う場合 →(P.16~19)



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13~15)

1

ドアを閉め、

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 または 洗▸乾 を押し、「標準」コースを選ぶ

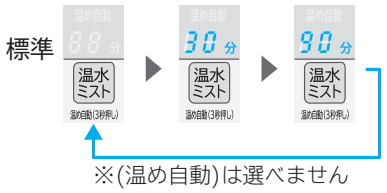
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)
(「温水ミスト」(90分)設定時は、液体洗剤の自動投入は設定できません)

3

温水ミスト を押し、「30分」または「90分」を設定する

押すごとに表示が切り替わり、変更することができます。

(温め自動)が設定されていない場合



(温め自動)が設定されている場合



4

スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動測定され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

5

洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる →(P.20、22、23)

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルター(「洗▸乾」運転時)をお手入れする→(P.74、75)
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

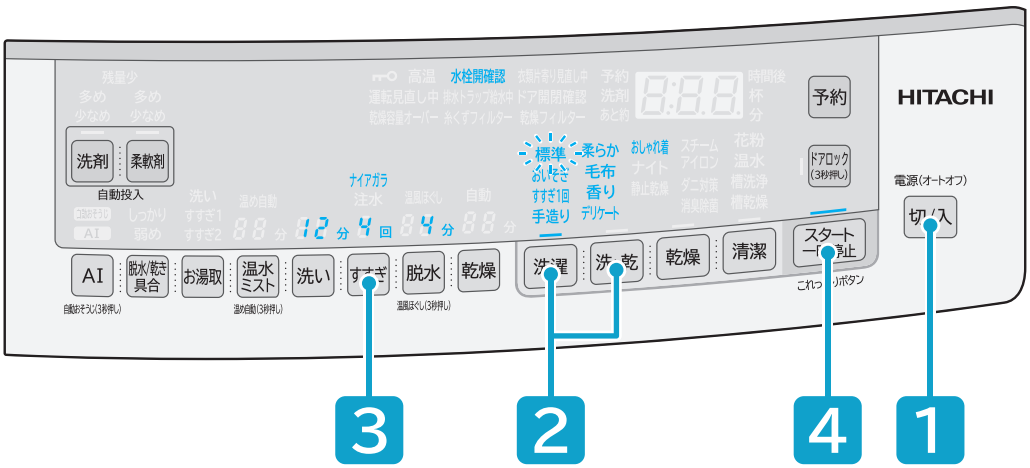
ナイアガラすすぎを使う

たっぷりの水を使ってすすぎ、高速脱水を行い洗剤を落とします。いつも以上にしっかりすすぎたいときにおすすめします。

設定できるコース

「標準」「手造り」コース

手動投入 使いかた　　**自動投入** を使う場合→(P.16～19)



準備　水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13～15)

1　ドアを閉め、
切/入 を押し、電源を入れる

2　洗濯 または 洗▸乾 を押し、「標準」または「手造り」コースを選ぶ
液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)

3　すすぎ を押し、「ナイアガラ」を選ぶ
「標準」コースの場合は、洗い と 脱水 をそれぞれ押して再設定する→(P.60)
ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

4　スタート 一時停止 を押す
「手造り」コースの場合は、スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。
洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。

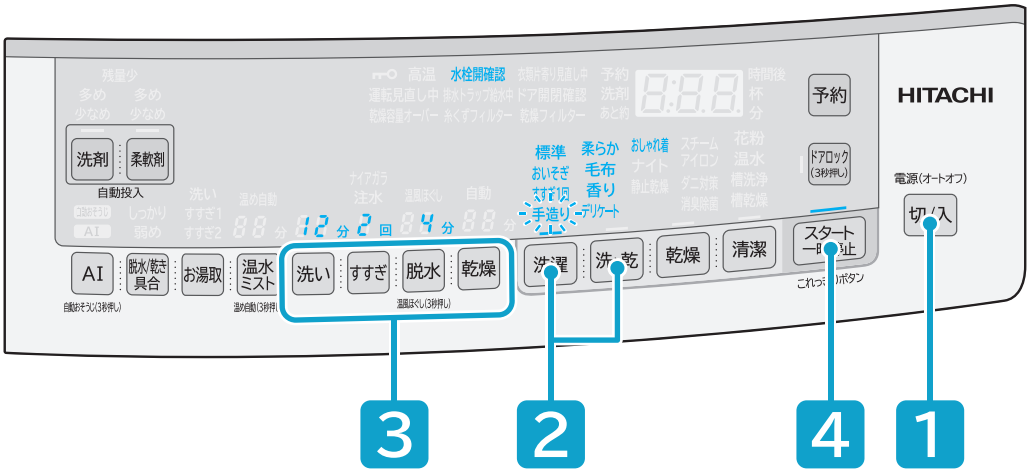
5　洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる →(P.20、22、23)

6　運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルター(「洗▸乾」運転時)をお手入れする→(P.74、75)
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

濃縮洗剤(すすぎ１回専用洗剤)の場合は、洗剤のすすぎやすさを検知して、すすぎ回数が変化します。
洗剤の種類や投入量によっては、変化しない場合があります。

手造りコースを使う(自分でコースを造る)

手動投入 使いかた　　**自動投入** を使う場合→(P.16～19)



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13～15)

1

ドアを閉め、

切/入 **を押し、電源を入れる**

2

洗濯 **または** 洗→乾 **を押し、「標準」または「手造り」コースを選ぶ**

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)

3

洗い、すすぎ、脱水、乾燥 **でお好みの運転内容を設定する**

運転内容と変更できる内容→(P.60)

4

スタート 一時停止 **を押す**

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。

5

洗剤量(目安)に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)

6

運転終了後、洗濯物を取り出し、

乾燥フィルター(「洗▶乾」運転時)をお手入れする→(P.74、75)

糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

お好みの設定で運転する

各行程のボタンを押すごとに、設定を変更することができます。
コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.62)

洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定を変更する

ボタン	パネル表示
洗い	6分 ▶ 9分 ▶ 12分 ▶ 15分 ▶ 25分 ▶ 無表示
すすぎ	1回 ▶ 注水 1回 ▶ 2回 ▶ 注水 2回 ▶ 3回 ▶ 注水 3回 ▶ 4回 ▶ 注水 4回 ▶ ナイアガラ 4回 ▶ 無表示
脱水	1分 ▶ 2分 ▶ ・・・・・・・・・ ▶ 8分 ▶ 9分 ▶ 無表示
88分 乾燥	15分 ▶ 30分 ▶ 60分 ▶ 90分 ▶ 自動 「15分」は乾燥運転のみ設定できます。

「自動」は洗濯物の乾きを検知して運転します。

「脱水のみ」などの個別運転をする

洗い・すすぎ・脱水のみの設定をしたり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
設定内容は記憶されないので、よく使う運転内容は「手造り」に登録すると便利です。→(P.59)
ここでは、例として「脱水のみ」を行う場合について説明します。

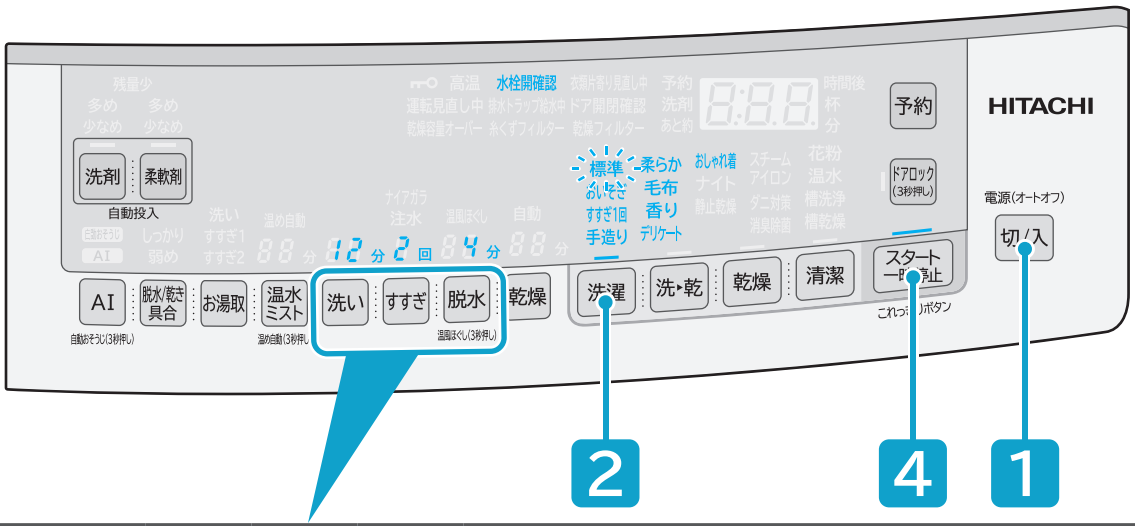
準備 洗濯物を入れる
洗い・すすぎを設定するときは、水栓(蛇口)を開けてください。

1 ドアを閉め、[切/入]を押し、電源を入れる

2 [洗濯]を押し、「標準」コースを選ぶ

3 [脱水]を押し、お好みの脱水時間を設定する

4 [スタート 一時停止]を押す



運転内容の設定	3			備考
	洗い	すすぎ	脱水	
脱水のみ※1			脱水	お好みの脱水時間を設定してください。
排水のみ※1			脱水	1分を設定してください。排水して脱水します。
洗いのみ	洗い			水は排水され停止します。
すすぎのみ		すすぎ		—
洗いと**すすぎ**	洗い	すすぎ		—
洗いと**脱水**	洗い		脱水	—
すすぎと**脱水**		すすぎ	脱水	—

※1：「脱水のみ」「排水のみ」を設定したとき、残時間が設定時間よりも長く表示されます。
(脱水の前に洗濯物の片寄りを直したり、排水したりするため、時間がかかります)

お好みの設定で運転する　つづき

運転内容と変更できる内容

：標準設定内容　：各ボタンで切り替えできる内容

コース	洗い	すすぎ			
		1回目	2回目	3回目	4回目
標準	洗濯12分/洗▶乾9分	回転スプレー	ため	—	—
	6、9、12、15、25分	ため(回転スプレー)または注水1～4回			
ナイアガラすすぎ設定時	6、9、12、15、25分	回転スプレー	回転スプレー	回転スプレー※3	ため
おいそぎ	6分	ため	—	—	—
	6、9分	ため(回転スプレー)または注水1～4回			
すすぎ1回	洗濯12分/洗▶乾9分	ため	—	—	—
	6、9、12、15、25分	ためまたは注水1回			
手造り	洗濯12分/洗▶乾9分※1	ため ※1	ため ※1	—	—
	6、9、12、15、25分	ためまたは注水1～4回、ナイアガラ			
柔らか	12分	回転スプレー	ため	—	—
	6、9、12、15分	ため(回転スプレー)または注水1～4回			
毛布	20分	注水	注水	注水	—
香り	12分	回転スプレー	ため	—	—
	6、9、12、15、25分	ため(回転スプレー)1～4回			
デリケート	15分	回転スプレー	ためすすぎ	—	—
		ため(回転スプレー)または注水1～3回			
おしゃれ着	9分	ため	ため	ため	—
ナイト	9分	回転スプレー	回転スプレー	ため	—
	6、9、12、15、25分	ため(回転スプレー)または注水1～4回			
静止乾燥	—	—			
ダニ対策	20分	回転スプレー ※4	注水	注水	—

所要時間の目安

●所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。(本体の残時間表示と上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の種類や量、排水条件などにより異なります)
●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
●残時間は1分ごとに減っていきます。ただし、運転途中で補正しながら表示されるので、増減する場合があります。乾燥運転中に残時間が「10分」、「20分」と点滅表示されてから1～2時間変わらない場合がありますが、異常ではありません。
●洗濯物の量や種類によっては、丸まったりして乾燥時間が長くなることがあります。
●「自動おそうじ」を設定すると、すすぎの運転時間が約8分長くなります。
●前回運転したときの水道水圧が低い場合には、運転開始直後の残時間が長くなる場合があります。
●水圧や水栓の開き具合によって、運転開始直後に、残時間表示が増減する場合があります。

コースの内容

●電源を入れると、前回運転したコースが表示されます。
(洗濯の「標準」「おいそぎ」「すすぎ1回」「手造り」「柔らか」「香り」コース、洗乾の「標準」「おいそぎ」「すすぎ1回」「手造り」コースの場合)
●「洗い」行程終了後は、コース内容は変更できません。
●スタートしたあと、コースの切り替えはできません。
一度電源を切ってから行ってください。

●泡の発生を抑制するために、「洗い」動作中に一時排水し、注水を行う場合があります。
●洗濯運転の最終脱水後、「ほぐし脱水」を追加で約2分行います。
(「標準」「すすぎ1回」「おいそぎ」「手造り」「香り」コース)
※1 「手造り」コースの初期状態を表しています。
※2 「柔らか」コースは、脱水運転中に温風が出ます。(タオルなどのごわつきを抑えるためです)乾燥できない洗濯物は運転しないでください。→(P.13) お洗濯キャップを使用しないでください。
※3 濃縮洗剤 (すすぎ1回専用洗剤)をお使いの場合は行いません。
※4 回転スプレーすすぎの後に温風処理を行います。
※5 「洗▶乾」運転の場合、脱水時間は変更できません。
※6 「洗▶乾」運転の場合、乾燥行程の初期に脱水運転を行います。

脱水		乾燥		所要時間の目安（実際の時間と異なります）		
洗濯	洗▶乾 ※5	洗▶乾 ※6	乾燥	洗濯	洗▶乾	乾燥
4分 1、2、4、7、9分	1分	自動 30、60、90分、自動	自動 15、30、60、90分、自動	33分 約(25～70分)	1時間～ 7時間	15分～ 6時間
1、2、4、7、9分	1分	30、60、90分、自動	—	50分 約(45～70分)	1時間～8時間	—
1分 1、2、4、7、9分	1分	自動	—	20分 約(15～50分)	1時間～ 7時間	—
4分 1、2、4、7、9分	1分	自動	—	30分 約(25～50分)	1時間～ 7時間	—
4分 ※1 1、2、4、7、9分	1分	自動 ※1 30、60、90分、自動	—	39分 約(25～75分)	1時間～ 7時間	—
30分 ※2	—	—	—	61分 約(50～80分)	—	—
4分 1、2、4、7、9分	1分	自動	自動	72分 約(65～80分)	2時間～ 5時間	1時間～ 3時間
4分 1、2、4、7、9分	—	—	—	44分 約(35～80分)	—	—
2分 1～3分	—	—	—	38分 約(35～50分)	—	—
3分 (表示は4分)	—	—	—	41分	—	—
—	1分	自動	自動	—	1時間～ 10時間	40分～ 9時間
—	—	—	110分 (表示は--分)	—	—	110分
4分 1、2、4、7、9分	—	—	—	約125分	—	—

残時間表示の見かた

表示例：
1時間30分
の場合



表示例：
45分の場合



表示例：
洗濯物の量を計測
している場合



表示の見かた（☼は点滅を表します）

表示例：



洗い(15分)運転中
(「洗い」ボタン上のランプ)



清水すすぎ運転中
(「すすぎ」ボタン上のランプ)



乾燥(自動)運転中
(「乾燥」ボタン上のランプ)



すすぎ1運転中
(「すすぎ」ボタン上のランプ、
すすぎ2回設定時)



洗剤量(0.9杯)表示



乾燥運転待機中



脱水(4分)運転中
(「脱水」ボタン上のランプ)



運転見直し中

※AIお洗濯中や泡消し動作中、「ダニ対策」コース時の温風行程中、乾燥中の残時間を見直しています。



排水トラップに水をためる動作中

※運転中に電源ボタンを押した場合、または運転終了時に、排水口からのにおいの逆流を防ぐため、排水トラップへ水をためる場合があります。



ふんわりガード中

予約運転をする

運転終了予定時間を1時間単位で3～24時間後までの間で設定することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

予約の使いかた(切り替え内容)

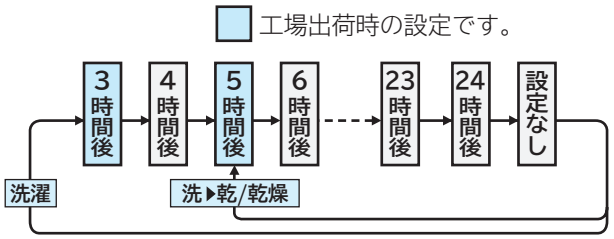
予約時間とは、運転終了予定時間です。
例えば、今から5時間後に終了させたい場合、予約時間は「5時間後」になります。

予約 **を押すごとに設定が切り替わります。**

(長押しすると、予約時間が連続で切り替わります)



(5時間後の表示例)



3～24時間後で設定可能	「洗濯」運転
5～24時間後で設定可能	「洗▶乾」「乾燥」「清潔」運転

設定できないコース

洗濯の「デリケート」「おしゃれ着」、乾燥の「スチームアイロン」、清潔の「ダニ対策」「消臭除菌」「槽洗浄」「槽乾燥」コース

こんなときには

予約内容の確認： 予約 **を押す**
(押している間、予約運転の内容が表示されます)

予約の取り消し： 切/入 **を押し、電源を切る**
(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更　： 切/入 **を押し、電源を切り、初めからやり直す**

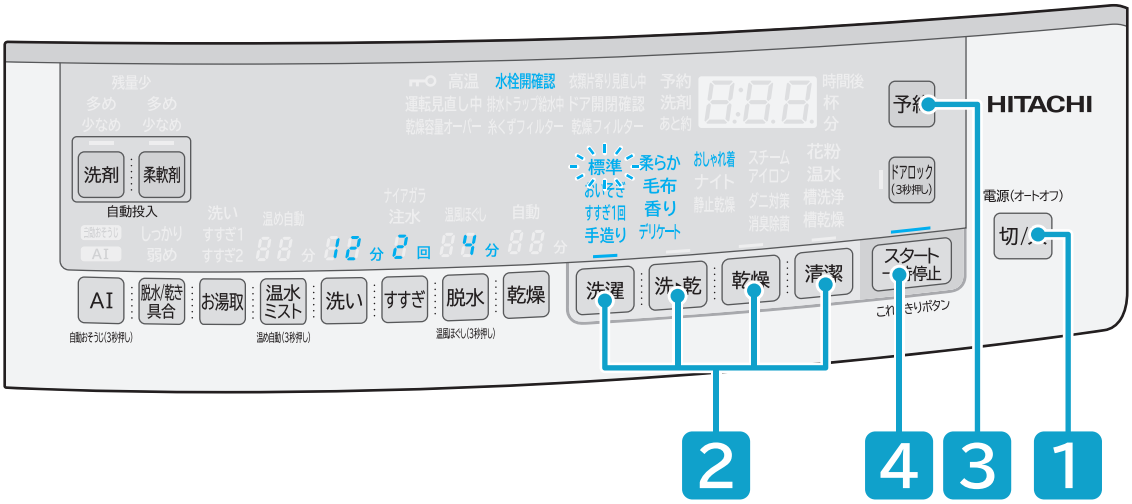
衣類の追加　：電源を切らずに、洗濯物を入れる
(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると汚れ落ちがわるくなったり、乾きムラの原因になります)

- ●洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了時間が変わることがあります。
- ●予約運転をするときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- ●洗濯物のしわを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
  長時間放置すると、においの原因になります。
  「洗▶乾」運転する場合は、ふんわりガード「設定あり」にすることをおすすめします。→(P.70)
- ●予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度ドラムの水を排水してから運転してください。
- ●予約運転時に自動投入を設定ありの場合は、給水動作を実施せずに予約待機します。

お願い **ジェルボール型洗剤は使用しないでください。**
ドラム内に水分が残っていると、ジェルボールのフィルムが溶け、洗剤液が直接洗濯物に触れる可能性があり、長時間経過するとしみになるおそれがあります。

手動投入 使いかた

自動投入 を使う場合→(P.16～19)



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.13～15)

1 ドアを閉め、

切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 、洗→乾 、乾燥 、清潔 運転したいいずれかのボタンを押し、コースを選ぶ

液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入の設定を解除してください。→(P.18)

ボタンを押すごとにコースが選べます。
予約が設定できないコースもあります。→(P.35)

3 予約 を押し、運転終了時間を設定する

4 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、30秒～2分後に洗剤量(目安)が表示されます。
ドラムにあらかじめ水が入っている場合は、自動計測されません。

5 洗剤量(目安)に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れる→(P.20、22、23)

運転内容を表示したあと、「予約」のみ点灯します。そのあとドアのロックが解除されます。

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、

乾燥フィルター(「洗▸乾」「乾燥」運転時)をお手入れする→(P.74、75)
糸くずフィルターは定期的にお手入れする→(P.72、73)

便利な使いかた

運転スタート音・終了予告音・終了音の設定

運転スタート・終了予告・終了時のメロディ音を同時に変更することができます。

工場出荷時は「メロディ」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗▸乾 を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると設定が変わります。ご希望の音になるまで、設定の切り替えを繰り返してください。

メロディ(工場出荷時) → ブザー → 音なし(ボタン受付音あり) →

設定完了をそれぞれの音でお知らせします。

3 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

終了予告音の設定

予告音にて運転終了約10分前をお知らせします。

(「洗▸乾」運転および「乾燥」運転時の予告音が鳴ったときの残時間は、コースや設定内容により異なります)

工場出荷時は「設定なし(音なし)」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 スタート 一時停止 を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると設定が変わります。

音あり(「ピッ・ピッ・予告音メロディ」) ⟷ 音なし(工場出荷時)(「ピッ・ピッ・ピー」)

「運転スタート音・終了予告音・終了音の設定」によって、切り替え時に鳴る音が異なります。

「音あり」を設定しても、「運転スタート音・終了予告音・終了音の設定」が「音なし」に設定されていると、終了予告音は鳴りません。

3 スタート 一時停止 を押し、一時停止する

4 切/入 を押し、電源を切る

●脱水中、洗濯物の片寄りで脱水をやり直したときは、終了予告音は鳴りません。
●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

脱水具合を調節する（「洗濯」コースのみの設定です）

洗濯物の脱水じわは、洗濯物の量、大きさ、質によって異なります。
運転開始前に調節してください。

設定できないコース

「柔らか」「デリケート」「毛布」「おしゃれ着」コース

工場出荷時は「ふつう」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗濯 **を押し、コースを選ぶ**

3 脱水/乾き具合 **を押す** ▶

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

表示なし（ふつう）	工場出荷時
しっかり	脱水が足りないとき 干す時間を短くしたいとき
弱め	脱水じわが気になるとき

4 スタート 一時停止 **を押す**

（スタートボタンを押すと設定が完了します）

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●脱水「1分」は、「しっかり」が設定できません。

乾き具合を調節する（「洗▸乾」「乾燥」コースのみの設定です）

乾燥後の洗濯物の乾き具合は、洗濯物の量、大きさ、質によって異なります。
運転開始前に調節してください。

設定できないコース

「毛布」「静止乾燥」「スチームアイロン」コース、「洗▶乾」「乾燥」運転の「15/30/60/90分」

工場出荷時は「ふつう」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗▸乾 、乾燥 **運転したいいずれかのボタンを押し、コースを選ぶ**

3 脱水/乾き具合 **を押す** ▶

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

表示なし（ふつう）	工場出荷時
しっかり	乾きがわるい(乾きムラが多い)とき
弱め	乾き過ぎるとき (湿り気がやや多くなります)

4 スタート 一時停止 **を押す**

（スタートボタンを押すと設定が完了します）

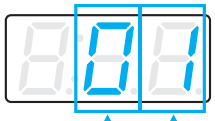
変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

便利な使いかた　つづき

「洗い」ボタンを押して、設定を変更する

洗い を3秒以上押すと、残時間表示部に下記のような2つの数字が表示されます。
表示された数字は、それぞれの設定内容を示しています。
設定を変更しない場合は 切/入 を押して電源を切ってください。

〈表示例〉



脱水運転時の振動や音を抑える/脱水の立ち上がりをスムーズにする
(1：標準モード)

「洗▸乾」運転時の振動や音を抑える
(0：高速モード)

※(　)カッコ内は工場出荷時の設定

「洗▸乾」運転時の振動や音を抑える

「洗▸乾」運転の乾燥行程中の脱水回転数を切り替えることができます。床の強度などの条件によっては、運転中に振動が大きくなる場合がありますので、ご使用状況に合わせて、調節してください。

工場出荷時は「高速モード」が設定されています。設定を変更するときは

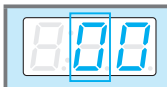
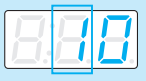
1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗い を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると残時間表示部に数字が表示されます。

3 すすぎ を押す ▶

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

	高速モード：工場出荷時
	中速モード：乾燥中の振動や音を抑える。(運転時間が長くなります)
	低速モード：乾燥中の振動や音を抑える。(運転時間が長くなります)

4 スタート 一時停止 を押す (スタートボタンを押すと設定が完了します)

5 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

脱水運転時の振動や音を抑える/脱水の立ち上がりをスムーズにする

標準モードのほかに、振動や騒音を抑えて運転するモードと、脱水立ち上がりをスムーズにするモードを切り替えられます。

工場出荷時は「標準モード」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗い **を3秒以上押す**

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると残時間表示部に数字が表示されます。

3 脱水 **を押す** ▶

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

0:01	標準モード：工場出荷時
0:02	スムーズモード： 脱水の立ち上がりをスムーズにする。(洗濯物の種類によっては、音や振動が大きくなる場合があります)
0:00	低振動モード： 脱水時の振動や音を抑える。 (運転時間が長くなります)

4 スタート 一時停止 **を押す** (スタートボタンを押すと設定が完了します)

5 切/入 **を押し、電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

除湿方式を変更する

乾燥運転時の除湿方式の設定を切り替えることができます。

・空冷除湿方式：乾燥運転中に、排水ホースから湿気(温風)を出して運転します。
・水冷除湿方式：乾燥運転中に、水を使って水冷除湿をします。(使用する水の量が増えます)

水冷除湿方式が設定されていると、「静止乾燥」コースを設定することができません。

工場出荷時は「空冷除湿方式」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 88 分 乾燥 **を3秒以上押す** ▶

設定完了を表示と音でお知らせします。

0:0 1	空冷除湿方式 (工場出荷時)	「ピッ」音で お知らせします
0:0 0	水冷除湿方式	「ピー」音で お知らせします

3 切/入 **を押し、電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。
※「ナイト」「標準(乾燥15/30/60/90分)」「スチームアイロン」「消臭除菌」「花粉」コースでは、常に水冷除湿運転を行います。

乾燥後の洗濯物のふんわり感を保つ（ふんわりガード）

乾燥終了後、洗濯物を取り出すまでドラムを回転させ、ふんわり感を保ちます。(最長約2時間)
ふんわりガード運転中は、ドアロックされているため、一時停止ボタンを押してからドアを開けてください。

設定できないコース

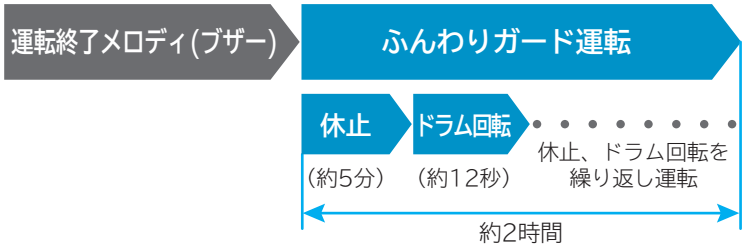
「毛布」「静止乾燥」「標準(乾燥15分)」「消臭除菌」「花粉」コース

ふんわりガード運転の内容

12秒間のかくはん動作を5分間隔で約2時間運転します。「一時停止」ボタンを押した時点で、ドアのロックを解除し終了します。



が点灯します。
また、「000」と スタート 一時停止 が点滅します。



工場出荷時は「設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 脱水/乾き具合 を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

000	設定なし (工場出荷時)	「ピー」音で お知らせします
111	設定あり	「ピッ」音で お知らせします

3 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる（温風ほぐし脱水）

脱水時に温風を吹きかけることで、洗濯物を温かくやわらかな状態で取り出すことができます。

設定できないコース

「おいそぎ」「柔らか」「毛布」「香り」「デリケート」「おしゃれ着」「ダニ対策」コース、「洗▶乾」「乾燥」運転

工場出荷時は「設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 を押し、「標準」コースを選ぶ

3 脱水 を3秒以上押す

受付音が鳴り、3秒以上押し続けると設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

温風ほぐし	設定なし (工場出荷時)	「ピー」音で お知らせします
温風ほぐし	設定あり	「ピッ」音で お知らせします

4 切/入 を押し、電源を切る

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●洗濯物の容量が約6kg以上の場合は、「温風ほぐし脱水」動作を行いません。
●「洗い設定なし」の場合、洗濯物の容量が約6kg以上でも、「温風ほぐし脱水」動作を行いますが、ほぐし効果が得られない場合があります。
●「温風ほぐし脱水」が「設定あり」の場合、洗濯運転の最終脱水後、温風運転を約5分行います。
なお、水温が低い場合は、温風運転時間が長くなる場合があります。
●「温風ほぐし脱水」動作中に「一時停止」ボタンを押すと、電源が切れます。
●「温風ほぐし脱水」が「設定なし」の場合、洗濯運転の最終脱水後、「ほぐし脱水」を約2分行います。
すすぎ、または脱水から運転を開始した場合、「ほぐし脱水」は行いません。

お手入れをする

洗濯乾燥機の性能を十分発揮させ、長くお使いいただくため、お手入れの方法について説明します。

糸くずフィルター

定期的にお手入れしてください。

お知らせ表示「糸くずフィルター」が表示されていなくても、定期的にお手入れしていただくことをおすすめします。
糸くずフィルターに糸くずがたまると、洗濯液が通過しにくくなり、排水ができなくなる原因(お知らせ表示「C02」)になります。

運転中や、ドラムや排水ホースに残水がある場合(洗いのみの運転後など)は、糸くずフィルターを外さない
ドラムに水が入っている場合は、糸くずフィルターを外すときに多量の水が出てきますので、脱水してから外してください。

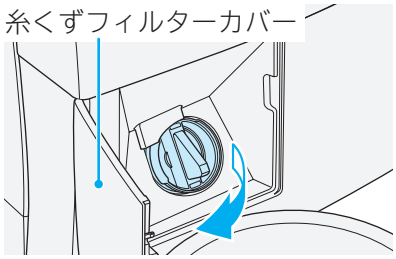
「糸くずフィルター」は、運転を15回行うたびに表示します。
「洗▶乾」運転をした場合は、乾燥で出る糸くずがたまりやすいため、15回未満でも表示する場合があります。
(糸くずのたまり具合が少ないときでも表示します)
一度電源を切り、糸くずフィルターのお手入れをしてください。再度電源を入れると表示が消えます。

準備

糸くずフィルターを外す前に脱水運転を行い、排水されたことを確認する→**(P.61)**

「C02」が表示された場合は、ドラムに多量の水が残っているおそれがあります。
その状態で糸くずフィルターを外すと、水が勢いよく出て床面をぬらしてしまうことがあるので、糸くずフィルターは外さないでください。

1 糸くずフィルターカバーを開ける

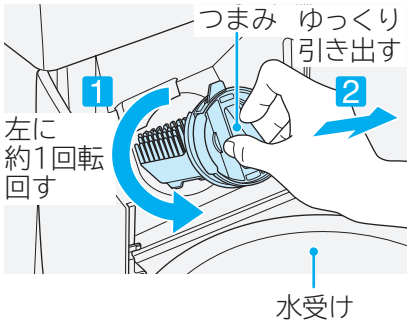


2 糸くずフィルターを取り外す

1 糸くずフィルターのつまみを左に約1回転回す

2 糸くずフィルターを手前にゆっくり引き出す

●残水が出る場合があるので、水受けなどで受けてください。
●糸くずフィルター内部にたまった糸くずが本体内部に落ちないように注意してください。
●糸くずフィルター差し込み部が汚れている場合は、ぞうきんなどでふき取ってください。

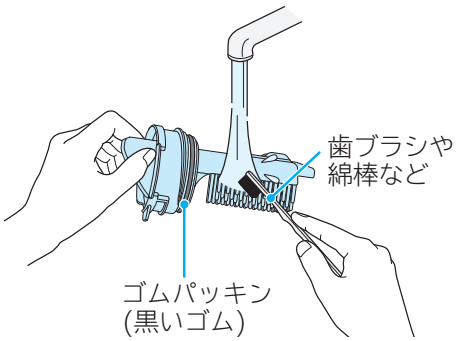


3 糸くずを取り除き、洗い流す

ゴムパッキンはこすらずに、糸くずなどの異物だけを取り除いてください。
ゴムパッキンについた潤滑剤をふき取ってしまうと、糸くずフィルターが回しにくくなります。



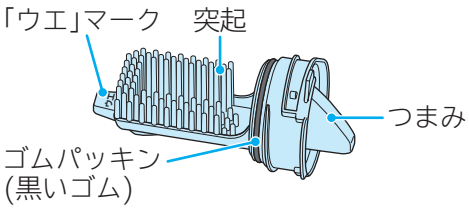
汚れがひどい場合は、歯ブラシや綿棒などで掃除する

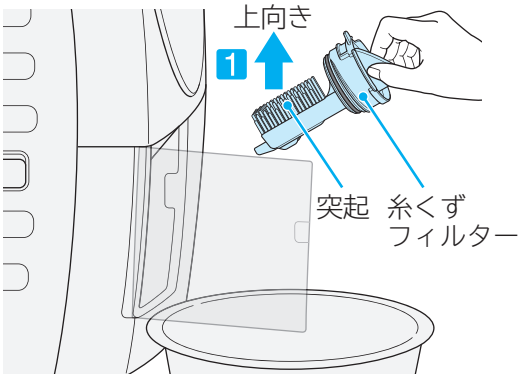


4 糸くずフィルターを取り付ける

1 糸くずフィルターの「ウエ」マークを上に向ける(突起が上向き)

●糸くずフィルターのゴムパッキンが外れていないことを確認してください。
●糸くずフィルター取り付け部やゴムパッキン部に、糸くずなどが付着していないことを確認してください。
●突起を上向き以外に取り付けないでください。
水漏れや破損の原因になります。



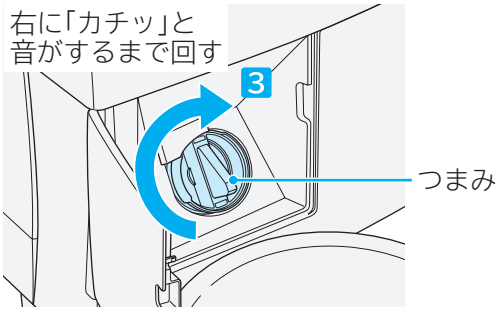


2 糸くずフィルターの「ウエ」マークを上に向けたまま奥まで差し込む



3 つまみを右に「カチッ」と音がするまでしっかり回す

「カチッ」と音がするまで回されていないと「糸くずフィルター」と「C16」が表示され、運転できません。→(P.87)



5 糸くずフィルターカバーを閉める

⚠注意

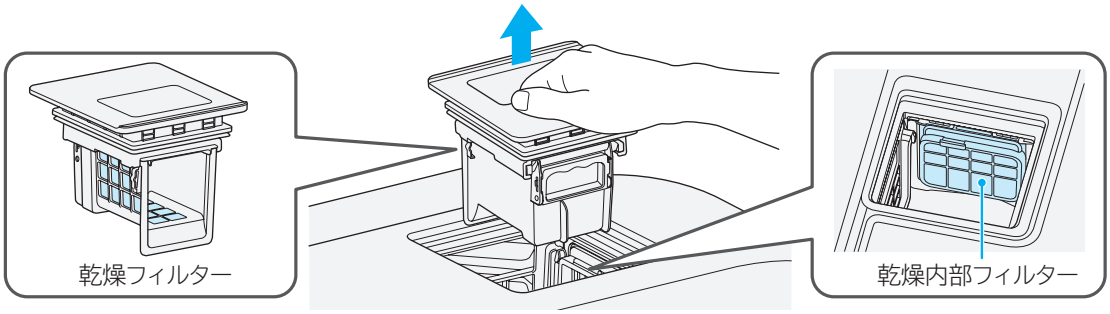
糸くずフィルターやゴムパッキンが破損した場合は、すぐに取り替える→(P.102)
水漏れや故障の原因になります。

糸くずフィルターをしっかり取り付けないと、「糸くずフィルター」と「C16」が表示されます。
水漏れを防ぐため、運転できません。→(P.87)

乾燥フィルター

乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れしてください。
衣類の量や種類により、乾燥フィルター内のほこりが少ない場合があります。

1 乾燥フィルターを垂直に引き上げる

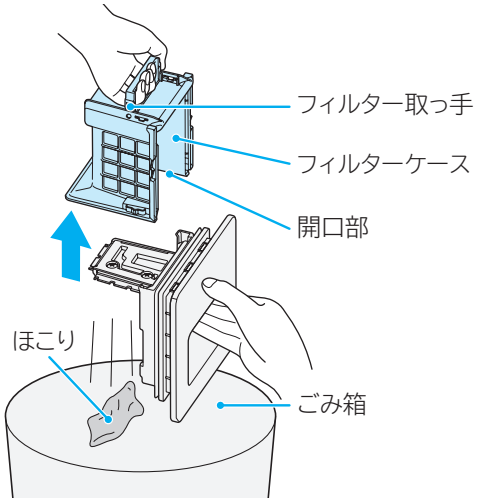


2 フィルター取っ手を手前にたおす



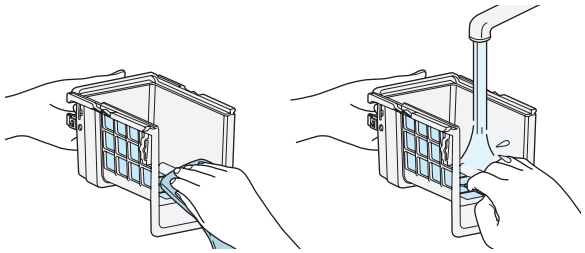
3 乾燥フィルターの開口部を下方に向け、フィルター取っ手を持ってフィルターケースを引き抜き、付着したほこりなどを取り除く

※フィルターケースが外れるまでしっかり引き抜いてください。途中でフィルターケースを戻すと、操作が重くなります。



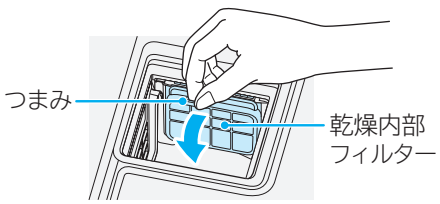
※ほこりの付き具合などによっては、フィルターにほこりが残る場合があります。

目詰まりしている場合や、汚れがひどい場合は湿った布で拭きとるか水で洗い流す

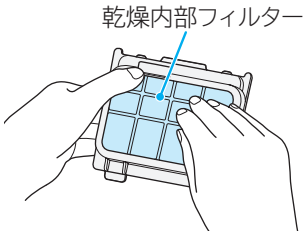


水洗いしたあとは、よく乾かしてから取り付けてください。

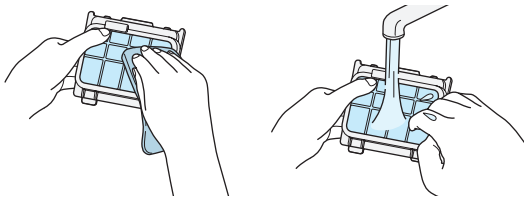
4 乾燥内部フィルターのつまみに指をかけて取り外す



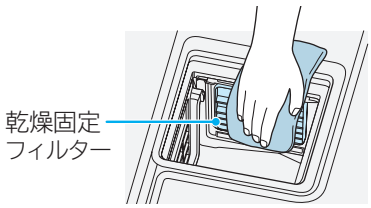
5 乾燥内部フィルターに付着したほこりを取り除く



目詰まりしている場合や、汚れがひどい場合は湿った布で拭きとるか水で洗い流す



水洗いしたあとは、よく乾かしてから取り付けてください。

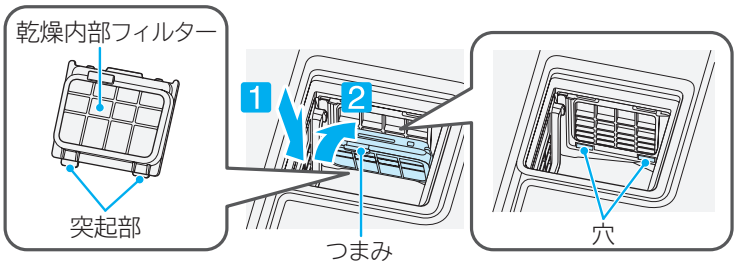


※乾燥固定フィルターにほこりが付着している場合や、「乾燥フィルター」のお知らせが表示された場合は、乾燥固定フィルターを湿った布で拭きとり、ほこりを取り除いてください。

6 乾燥内部フィルターを取り付ける

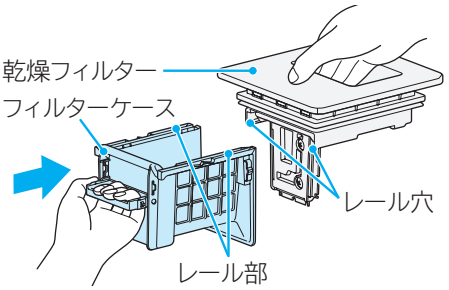
1 乾燥内部フィルターの突起部を穴に差し込む

2 つまみを押してしっかり取り付ける



7 乾燥フィルターのレール穴にフィルターケースのレール部を差し込んで奥まで押し込み、フィルターケース、フィルター取っ手を元どおり取り付ける

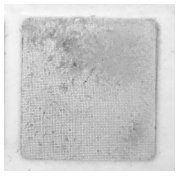
※フィルターケースは奥までしっかり押し込んでください。
途中でフィルターケースを引くと、操作が重くなります。



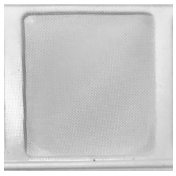
8 乾燥フィルターを元どおりしっかり取り付ける

●「乾燥フィルター」が点滅した場合、そのまま運転を続けると、「乾燥時間が長い」、「乾きがわるい」などの原因になります。→(P.87)
●パッキン部にほこりなどが付着している場合は、拭きとってください。
●取り付けたあと、電源を入れ、「乾燥フィルター」が表示されていても、スタートボタンを押すと消えます。
●乾燥フィルターのお手入れをしたあとに、「洗▸乾」または「乾燥」運転を10回運転するたびに表示します。(ほこりのたまり具合が少ない場合でも表示します)
●乾燥フィルターが詰まっていると、10回未満でも「乾燥フィルター」を表示する場合があります。

目詰まりしている状態



目詰まりしていない状態



お願い 乾燥フィルターは消耗品です。フィルターが破れたときは、販売店でお買い求めください。→(P.102)

乾燥フィルター差し込み口

「乾燥フィルター」表示が消えなかったり、「C06」が表示される場合は、お手入れしてください。
乾燥フィルター取り付け部の奥にほこりが付着している可能性があります。

準備

切/入 を押し、電源を入れ、 乾燥 を3秒以上押す

奥側までお手入れできるようにするための操作です。
残時間表示部に「---」を表示し、電源が切れます。

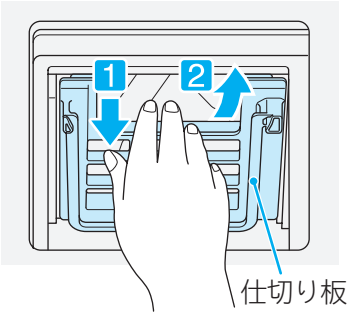
1 電源が切れたあと、乾燥フィルターと乾燥内部フィルターを取り外す

2 仕切り板を取り外す

1 手前に引いて固定を外す

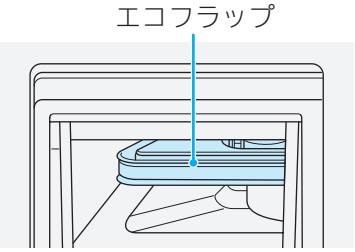
2 手前にゆっくり引き出す

仕切り板を無理に引っ張らないでください。
故障の原因になります。



3 乾燥フィルター差し込み口奥側に付着したほこりなどを取り除く

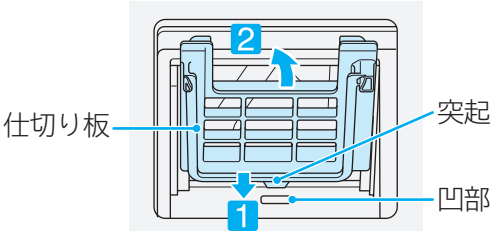
電源を入れているときは、乾燥フィルター差し込み口奥側に、指や棒などを入れないでください。
(内部でエコフラップが動いているため、けがや故障の原因になります)



4 仕切り板を元どおり取り付ける

1 仕切り板の突起を凹部にはめ込む

2 奥に押してしっかり取り付ける



5 乾燥フィルターと乾燥内部フィルターを元どおりしっかり取り付ける

仕切り板がしっかり取り付けられていないと、乾燥フィルターを固定することができません。
(「乾燥時間が長い」、「乾きがわるい」などの原因や異音、ほこりが舞い上がる原因になります)

- ●エコフラップを手や物で動かさないでください。
  故障の原因になります。
- ●仕切り板が破損した場合は、すぐに取り替えてください。→(P.102)

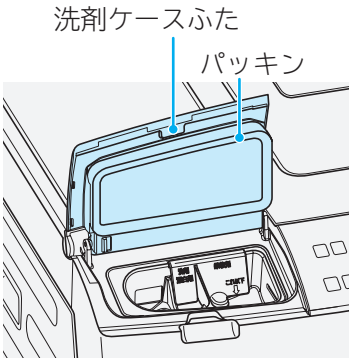
洗剤ケースふた

洗剤や柔軟剤が付着していたり、汚れていたら布でふき取ってください。

1 洗剤ケースふたを開ける

2 洗剤ケースふたのパッキンの汚れを布でふき取る

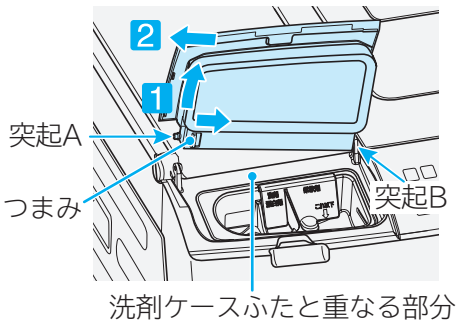
●パッキンに洗剤やほこりなどが付着している場合には、ふき取ってください。
●パッキンを無理に引っ張ったりしないでください。変形や亀裂、傷付きなど、ふたが閉められなくなる原因になります。



汚れがひどい場合

洗剤ケースふたと本体が重なる部分の汚れがひどい場合には、洗剤ケースふたを取り外して布でふき取ってください。

1 洗剤ケースふたを押さえ、つまみを右にスライドさせ、突起A側を持ち上げる
2 洗剤ケースふたを左にずらして取り外す



3 水気をふき取り、元どおり取り付ける

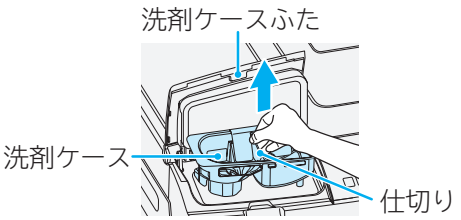
●突起B側を取り付けてから、つまみを左にスライドさせ、突起A側を取り付ける。
●洗剤ケースふたを取り付けないで運転すると、水が飛び散るおそれがあります。

洗剤ケース

洗剤や柔軟剤が付着していたり、汚れていたら水で洗い流してください。

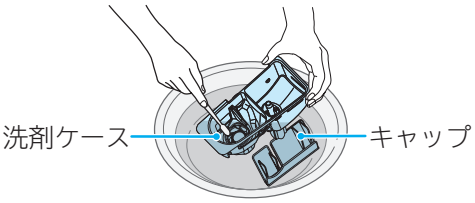
1 洗剤ケースふたを開ける

2 洗剤ケースの仕切りをつまみ、上に持ち上げて取り外す



3 洗剤ケースからキャップを取り外し、汚れを洗い流す

●洗剤や柔軟剤投入部、洗剤ケースの穴、キャップ、キャップの穴など、洗剤が付着しているところを綿棒などで掃除してください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約5分浸し、歯ブラシなどで掃除してください。
●洗剤ケースとキャップが凍結したときは、洗剤ケースにお湯(約40℃)を入れてください。





4 水気をふき取り、元どおりに取り付ける

洗剤ケース、キャップが取り付けられていることを確認してください。

お手入れをする　つづき

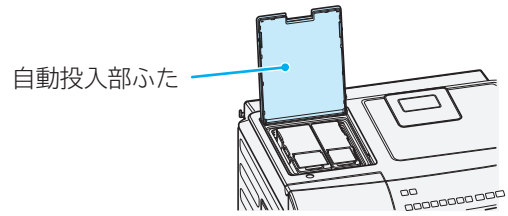
自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)・タンク取付部

次の場合に、お手入れをしてください。

- 2～3か月に一度(目安)
- 使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき
- 自動投入機能を1か月以上使わなかったとき
- 「残量少」表示が点滅したまま、1週間以上タンクに液体洗剤や柔軟剤を補充しなかったとき
- タンク取付部に汚れが残っているとき
- 透明ふたを開けたまま放置したときや残量が少ないまま放置したとき
- タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったとき

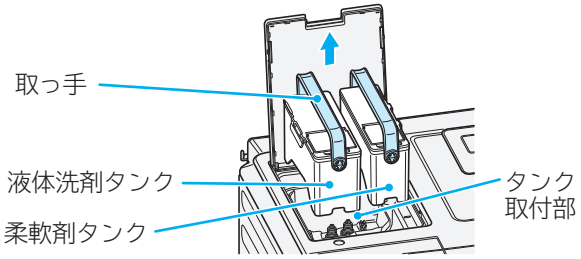
1 自動投入部ふたを開ける

ふたが外れた場合→(P.83)



2 液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクの取っ手を持ってまっすぐに引き上げて取り外す

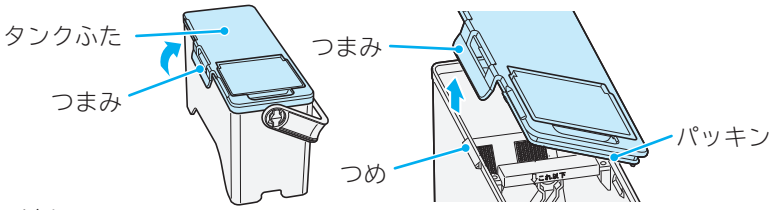
●液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクを傾けると液体洗剤や柔軟剤がこぼれたり、タンク取付部に垂れたりすることがあります。
柔らかい布でふき取ってください。



3 タンクふたのお手入れをする

1 タンクふたのつまみを開いてつめから外し、タンクふたを取り外す

2 タンクふたの汚れを洗い流す

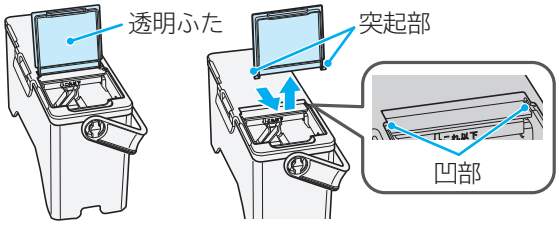


●パッキンを無理に引っ張らないでください。
変形や亀裂、傷が付いたり、パッキンが外れたりして液体洗剤や柔軟剤が液漏れする原因になります。
●パッキンに付着した液体洗剤や柔軟剤、ほこりは、湿った布でふき取ってください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約10分間浸し、湿った布でふき取ってください。

4 透明ふたのお手入れをする

1 透明ふたを開け、手前に引き、凹部から突起部を取り外す

2 透明ふたの汚れを洗い流す

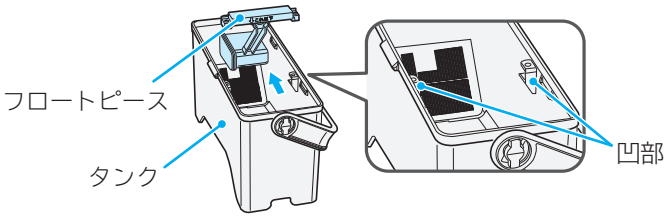


汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約10分間浸し、湿った布でふき取ってください。

5 タンク内のお手入れをする

1 タンク内のフロートピースを持って、凹部から取り外す

2 タンク内とフロートピースの汚れを洗い流す

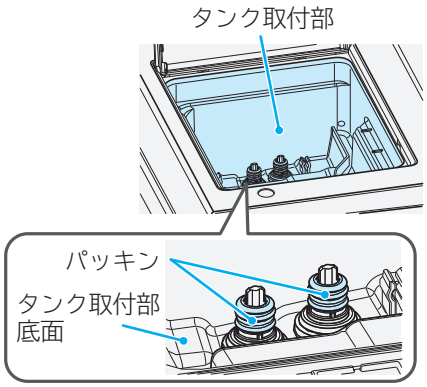


●タンク内は、泡立ち、ぬめりがなくなるまで、すすいでください。
●汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約10分間浸し、湿った布でふき取ってください。

6 タンク取付部のお手入れをする

タンク取付部周辺を湿った布でふき取る

- タンク取付部周辺に液体洗剤や柔軟剤の残りや汚れが付着していると、液体洗剤・柔軟剤経路の詰まりの原因になったりカビが発生することがあります。
- 使用する液体洗剤や柔軟剤の種類によっては、パッキンに色が移る場合があります。
- パッキン部をブラシなどで強くこすらないようにしてください。パッキンが傷み、液体洗剤や柔軟剤が液漏れする原因になります。
- タンク取付部底面に水やほこりが残っていないことを確認してください。



7 タンクを元どおり取り付ける

1 タンク内にフロートピースを取り付ける

2 タンクふたを取り付ける
「カチッ」と音がするまで押してください。

3 透明ふたを取り付ける
「カチッ」と音がするまで押してください。

4 本体にタンクを取り付ける
確実に取り付けないと、運転中に自動投入がされず、液体洗剤や柔軟剤が液漏れする原因になります。

お願い 液体洗剤タンク･柔軟剤タンクは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.102)

自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)と液体洗剤・柔軟剤経路

液体洗剤タンク・柔軟剤タンク・タンク取付部のお手入れのあと、液体洗剤・柔軟剤経路のお手入れをしてください。自動投入を継続して使用している場合は「4分」を設定、自動投入を継続して使用していない場合は「9時間」を設定してください。

液体洗剤経路のお手入れ

準備 水栓(蛇口)を開ける

1 お手入れをした液体洗剤タンクの透明ふたを開け、タンク内にお湯(約40℃)を入れる
液面が「これ以下」の位置まで入れてください。→(P.17)

2 透明ふたを閉める

3 次の手順でお手入れ運転をする
「柔軟剤」と設定を同時に行うことはできません。

1 [切/入] を押し、電源を入れる

2 [洗い] を3秒以上押す
受付音のあとも押し続けることで、残時間表示部に2桁の数字が表示されます。

3 [洗剤] を押し、「4分」または「9時間」を選ぶ
押すごとに表示が切り替わり、「多め」「少なめ」と残時間表示部に時間が表示されます。



4 [スタート 一時停止] を押し、運転する
上記設定した時間が経過したあと、「ピー」と音が鳴り、自動で電源が切れます。

柔軟剤経路のお手入れ

準備 水栓(蛇口)を開ける

1 お手入れをした柔軟剤タンクの透明ふたを開け、タンク内にお湯(約40℃)を入れる
液面が「これ以下」の位置まで入れてください。→(P.17)

2 透明ふたを閉める

3 次の手順でお手入れ運転をする
「液体洗剤」と設定を同時に行うことはできません。

1 [切/入] を押し、電源を入れる

2 [洗い] を3秒以上押す
受付音のあとも押し続けることで、残時間表示部に2桁の数字が表示されます。

3 [柔軟剤] を押し、「4分」または「9時間」を選ぶ
押すごとに表示が切り替わり、「多め」「少なめ」と残時間表示部に時間が表示されます。



4 [スタート 一時停止] を押し、運転する
上記設定した時間が経過したあと、「ピー」と音が鳴り、自動で電源が切れます。

お手入れ後に液体洗剤タンク・柔軟剤タンクを取り出して、残った水を捨ててからタンク内やタンク取付部周辺を柔らかい布で完全にふき取ってください。

本体、ドラム

水滴が付着したり、汚れているときは、お手入れしてください。

●水や洗剤に含まれる成分がドラムの表面に付着して酸化し、変色する場合があります。
気になる場合は、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。

●本体の水滴や汚れ、ドアなどのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着したときは、柔らかい布でふき取ってください。
放置すると傷み(表示のはがれなど)やさびが発生したり、破損することがあります。

●ドア内側のガラス面が汚れたら、湿った布でふき取ってください。

●ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。

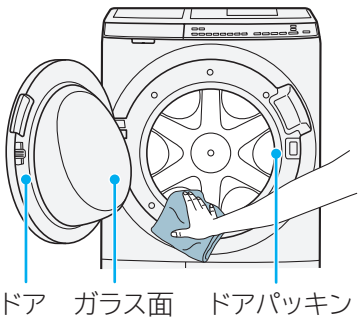
●ドラムのさびは、クリームクレンザーでふき取ってください。
金属たわしなどは使わないでください。

●ステンレスドラムはさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。
・ヘアピンなどのドラムへの長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
・ドラム内への塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤の長期間放置。

●運転終了後に、注水口から給水経路に残った水滴が垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。

●ドラムの汚れやにおいが気になるときは、「温水槽洗浄」「槽洗浄」コース、ドラムのカビ発生を防止したいときは「槽乾燥」コースを運転してください。→(P.84)

●ドアの周辺やドアパッキン周辺や裏側、ドラム内部に付着した糸くずなどは、毎回柔らかい布でふき取ってください。
ドアパッキンとドアの間に糸くずが付いて水漏れしたり、糸くずが洗濯物に付着する原因になります。
・ふき取っても洗濯物に糸くずが付着する場合には、「槽洗浄(3時間)」コースを運転してください。→(P.84)
(洗濯槽クリーナーは使用しなくてもお手入れできます)
・運転後は、糸くずフィルターをお手入れしてください。→(P.72)
●環境状態によっては、ドアやドアパッキン周辺に結露している場合がありますが、気になるときはふき取ってください。
●ドアパッキン周辺をお手入れしたとき、ぞうきんや布などをドアパッキンへかけたりしないでください。
ドアパッキンが変形し、水漏れの原因になります。



水栓(蛇口)、ワンタッチつぎて、給水ホース

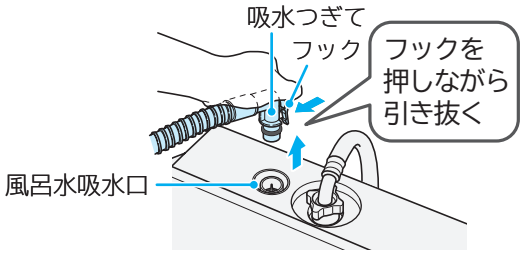
水栓(蛇口)のパッキンなど長年使用していると、経年劣化やさびなどにより、水漏れに至るおそれがあるため、定期的(使用時など)に水漏れがないか確認してください。
万一、水漏れが起きた場合は、水栓(蛇口)を閉めて点検・修理をご相談ください。→(P.107)

風呂水吸水口

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください

1 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

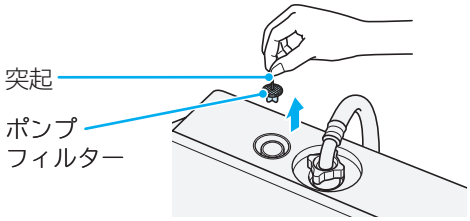
吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホースの残水がドラム内に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 ポンプフィルターを取り外し、水洗いする

ポンプフィルター中央部の突起を指またはペンチなどでつまみながら引き上げてください。

3 ポンプフィルターを風呂水吸水口に取り付ける

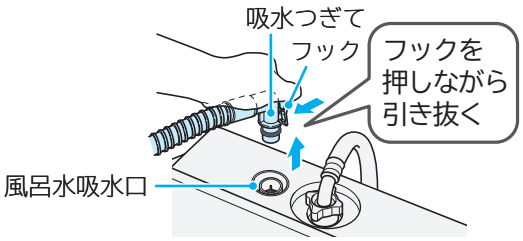


お湯取ホース・クリーンフィルター

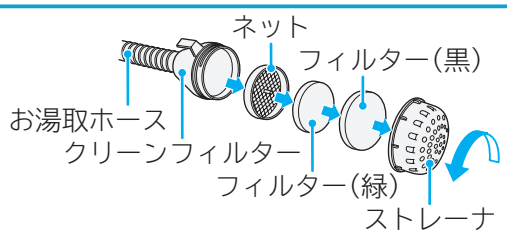
風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

1 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホースの残水がドラム内に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出す

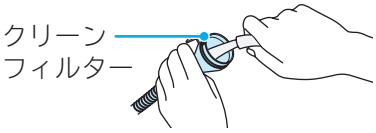


3 1 フィルター、ストレーナを水洗いする
2 ネットは歯ブラシなどで掃除する



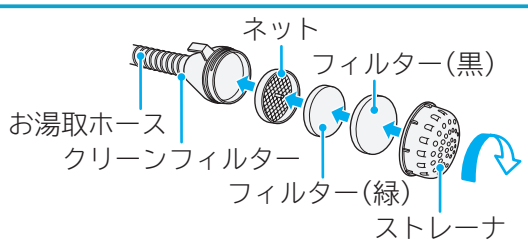
4 お湯取ホースの内部をお手入れする

勢いが強めの水道水をお湯取ホースの中に流し、内部のゴミを洗い流します。



5 水気をふき取り、取り外す前と同じ位置に取り付ける

フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、故障の原因になります。



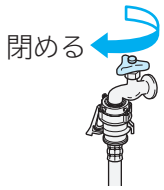
お願い お湯取ホース・クリーンフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。
→(P.102、103)

お手入れをする　つづき

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、「C01」が表示された場合、お手入れをしてください。
水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める



2 給水ホース内の水を抜く

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 清潔 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ

※すぐに給水動作が始まるためです。

3 スタート 一時停止 を押し、約10秒間運転させる

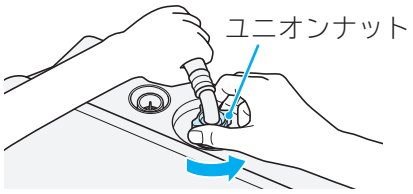
給水ホース内の残水がドラム内に入ります。

4 スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

5 切/入 押し、電源を切る

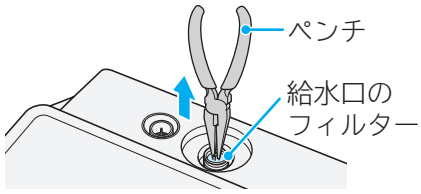
3 ユニオンナットを矢印方向に回し、給水ホースを外す

給水ホース内の残水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

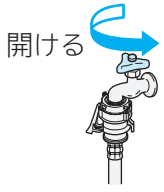
給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。



5 給水ホースを給水口に取り付ける →(据付説明書P.23)

ユニオンナットは確実に締め付けてください。
緩んでいると、水漏れの原因になります。

6 水栓(蛇口)を開ける



排水口・排水トラップ

⚠注意

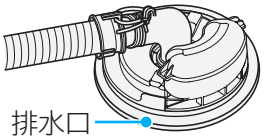
・「C02」が表示された場合には、ドラム内に水が残り、糸くずフィルターを外すと多量の水が漏れる場合がありますので、糸くずフィルターは外さないでください。
・ふたに穴のあいた排水トラップに排水ホースを接続している場合は、排水トラップカバーが正しく取り付けられていないとにおいや水漏れの原因になります。→(据付説明書P.14、16～19)

月に一度を目安にお手入れをしてください。
また、においが気になる場合、乾燥時間が長い、乾きがわるい場合、「C02」や「C18」が表示されたときにもお手入れをしてください。

1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する
「個別運転をする(「脱水のみ」など)」→(P.61)

2 排水ホースを排水口から外す
排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。



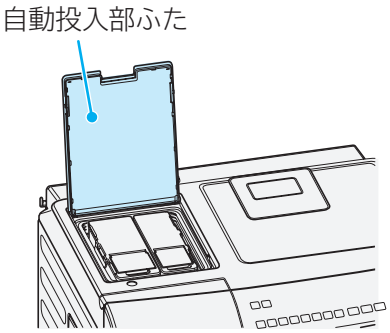
2 排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く
排水トラップのお手入れ方法については、排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3 排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する
お手入れをしても排水できない場合や、再び「C02」や「C18」が表示されるときは、お買い上げの販売店または、「商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口」へお問い合わせください。
→(P.107)

自動投入部ふた

洗剤や柔軟剤が付着していたり、汚れていたら布でふき取ってください。

1 自動投入部ふたを開ける

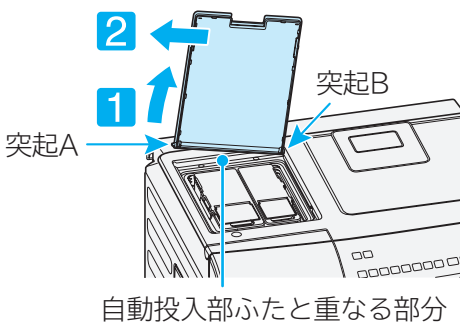


2 自動投入部ふたの汚れを布でふき取る

汚れがひどい場合
自動投入部ふたと本体が重なる部分の汚れがひどい場合には、自動投入部ふたを取り外して布でふき取ってください。

1 自動投入部ふたの突起A側を持ち上げる

2 自動投入部ふたを左にずらして取り外す



3 水気をふき取り、元どおり取り付ける
●突起B側を取り付けてから突起A側を取り付ける。
●自動投入部ふたを閉めてください。

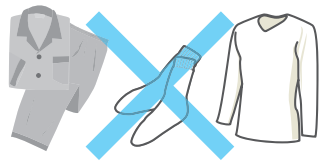
温水槽洗浄・槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする

ドラムの汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんなときに	運転時間	風呂水吸水
温水槽洗浄	ドラムの汚れやにおいが気になるときに、短時間でお手入れしたいとき	2時間	できる
槽洗浄	ドラムの汚れやにおいが気になるとき	11時間、3時間	
槽乾燥	ドラムを乾かしたいとき	1時間	できない

衣類は入れないでください



温水槽洗浄・槽洗浄コース

ドラムの汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、ドラムに蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約40分間または約1時間乾燥してにおいを取ります。

●ドラムの動作〔「槽洗浄(11時間／3時間)」コースと「温水槽洗浄」コースでは、洗い時間が異なります〕

コース	洗い	すすぎ	排水・脱水	乾燥
温水槽洗浄	給水され、かくはんと温風による加熱を繰り返す(1時間)※	排水して脱水後、注水すすぎ1回をする	排水して脱水する	約40分乾燥する
槽洗浄	給水され、かくはん(約15分)して休止(9時間30分または1時間10分)する 休止中もドラムは定期的に回転する	排水して脱水後注水すすぎ3回をする		約1時間乾燥する

※室温約8℃以下、もしくは水温13℃以下の場合、さらに約30分長くなります。
温水槽洗浄コースは、洗濯槽クリーナーのにおいを強く感じることがあります。

●においが気になるときは：温水槽洗浄コース 11時間コース

一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や汚れなどにより、においが発生しやすくなります。
においが気になるときは、温水槽洗浄コースまたは11時間コースを運転してください。温水槽洗浄コースは、11時間コースより消費電力量が増えます。

●においの抑制には：3時間コース

・石けんかすの付着や、においの発生を抑制するために、定期的に3時間コースの運転をおすすめします。
(1～2か月に一度程度が目安)
・洗濯物への糸くず付着が気になるときも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合

●必ず換気をしてください。
●衣類用塩素系漂白剤(「ハイター」など)または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
●しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」(例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品)を使用してください。→(P.102)
●洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
●使用量が表示されていない場合は、約200mLを使用してください。
●酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、機器の故障や水漏れの原因になります。
●ドラムの中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。



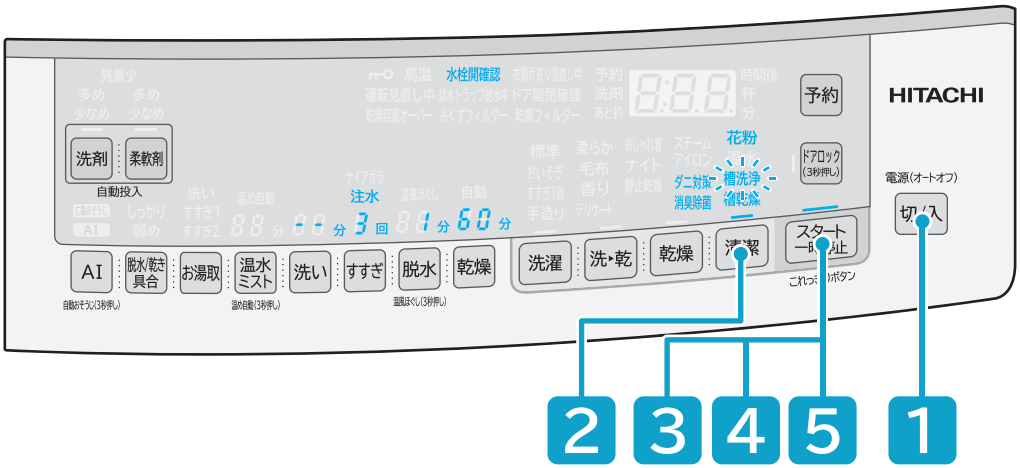
「自動おそうじ」を継続使用している場合

●「自動おそうじ」を継続使用している場合は、3～4か月に一度程度、衣類用塩素系漂白剤または洗濯槽用塩素系漂白剤を使った3時間コースの運転をおすすめします。

槽乾燥コース

約1時間、ドラムを乾燥します。

使いかた



「温水槽洗浄」「槽洗浄」コースの場合

準備 水栓(蛇口)を開ける

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は換気をしてください。

※洗濯槽クリーナーなどを先に入れないでください。
ドラム内に3L以上の水が入っている状態でスタートすると、排水したあとに運転が始まります。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 清潔 を押し、「温水槽洗浄」、「槽洗浄(11時間)」、「槽洗浄(3時間)」コースのいずれかを選ぶ

温水槽洗浄 → 槽洗浄 → 槽洗浄

ボタンを押すごとにコースが選べます。

3 ドアを閉め、スタート 一時停止 を押す

4 給水し、ドラムが回転し始めたらすぐに、再度スタート 一時停止 を押す

表示が次のように替わります。

スタート直後 → 残り時間「9時間59分」 → 終了

スタート直後から残り時間「10時間」まで

残り時間「9時間59分」表示後、終了まで1分ごとに減っていきます。

ドアハンドルを引いて、ドアを開け、日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤、洗濯槽用塩素系漂白剤を直接ドラムの中に入れる

5 ドアを閉め、スタート 一時停止 を押す

6 運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.72、73)

「槽乾燥」コースの場合

準備 水栓(蛇口)を開ける

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 清潔 を押し、「槽乾燥」コースを選ぶ

3 ドアを閉め、スタート 一時停止 を押す

お困りのとき

下記以外が表示されたときは→(P.95、96)

お知らせ表示(「C○○」などが表示)されたとき

「お知らせ表示」のみ点滅している場合、運転は終了しています。運転の途中で停止した場合は、表示とブザーでお知らせします。

「お知らせ表示」に加え、「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」のいずれかが点滅している場合は、点滅している行程で運転が停止しています。
そのときは、下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。
お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。



「C○○」が表示されるときは下表を確認してください。
繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
ご不明な点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。**→(P.107)**

お知らせ表示と内容	直しかた
水栓開確認  給水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。**→(P.82)** ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。**→(P.101)** 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 排水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ●排水ホースを正しく取り付けてください。 **→(据付説明書 P.14、16～19)** ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していますか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースは5m以下にしてください。また、敷居を越える場合は2m以下にしてください。 ●排水ホース、排水口、排水トラップのお手入れをしてください。**→(P.83)** ※乾燥運転時に表示されたときは、上記内容を確認し、それでも直らない場合は、一度電源を切り、洗濯の脱水のみを運転してください。 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ●洗濯物の片寄りを直してください。**→(P.15)** ・洗濯物が片寄らないように、ドラム内の外側に均一に入れ直してください。 ・大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。また、フリースなど水を含みにくい洗濯物は、一つだけで洗濯しないでください。ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。**→(据付説明書 P.22)** 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
水栓開確認  自動運転(最大4～10時間)で乾燥されません	切/入 を押して電源を切る ●乾燥フィルターや乾燥フィルター差し込み口が目詰まりしている場合は、お手入れしてください。**→(P.74～76)** ●洗濯物を脱水してください。 また、絡みをほぐしてください。 ●給水してください。(乾燥中も冷却用に水を使います) 「C01」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C02」表示されたときの直しかたを確認してください。 確認後 切/入 を押して運転開始

お知らせ表示と内容	直しかた		
 ドアのロックが解除されません		●ドアの中央右側(右開きドアタイプの場合は中央左側)を押して、しっかり閉めてください。 ●洗濯物を入れすぎていないか確認してください。	確認後 スタート 一時停止 を押して一時停止
 振動センサーが誤動作しています	切/入 を押して電源を切る	振動センサーが外来ノイズなどで誤動作している可能性があります。	確認後 切/入 を押して運転開始
 糸くずフィルターが正しく取り付けられていません		糸くずフィルターが正しく取り付けられていません。 糸くずフィルターを「カチッ」と音がするまで右方向に回して取り付けてください。→(P.72、73)	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C02」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●泡が多量に発生しているときは、一度すすぎを行い脱水してください。→(P.61)	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 ドラムが回転しません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯物の絡みをほぐしてください。 ●泡が多量に発生しているときは、一度すすぎを行い脱水してください。→(P.61) ●電源コードを延長して使用しないでください。→(P.8) ●同じコンセントにほかの機器を接続しないでください。→(P.8)	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 ドアが開いています	スタート 一時停止 を押して一時停止	●ドアをしっかり閉めてください。 ドラムが回転するときは、危険防止のため、ドアがロックされます。→(P.32) ●洗濯物を入れすぎていないか確認してください。 ●閉じ込め防止機能を設定している場合は、解除ボタンをスライドさせて、ドアハンドルを元の状態に戻してください。→(P.31)	ドアを閉め スタート 一時停止 を押して運転開始
 糸くずフィルターのお手入れ	切/入 を押して電源を切る	運転を15回行うたびに表示します。「洗▶乾」運転をした場合は、乾燥で出る糸くずがたまりやすいため、15回未満でも表示する場合があります。運転は最後まで終了しています。 (糸くずのたまり具合が少ないときでも表示されます) 糸くずがたまっている場合はお手入れしてください。→(P.72、73) 洗濯液が通過しにくくなり、排水ができなくなる原因(お知らせ表示「C02」)になります。	確認後 切/入 を押して運転開始
 乾燥フィルターが目詰まりしています	切/入 を押して電源を切る	●乾燥フィルターや乾燥フィルター差し込み口が目詰まりしている場合は、お手入れをしてください。→(P.74～76) 電源を入れると「乾燥フィルター」が表示する場合があります。スタートボタンを押すと解除できます。 ●「洗▶乾」または「乾燥」を10回運転するたびに表示します。 (ほこりのたまり具合が少ないときでも表示します) ●乾燥フィルターが詰まっていると、10回未満でも「乾燥フィルター」を表示する場合があります。	確認後 切/入 を押して運転開始
 乾燥容量が多すぎます	スタート 一時停止 を押して一時停止	●洗濯物の量を減らしてください。 (洗濯物の量は、種類や大きさ、布質により異なります) ●洗濯物がぬれている場合は、脱水してください。	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 液体洗剤、柔軟剤の残量が少なくなっています		●液体洗剤、柔軟剤を補充してください。 (残量少が点滅した状態でも、数回の洗濯運転は可能です) ●「残量少」表示が点滅したまま、液体洗剤や柔軟剤を1週間以上タンクに補充しなかったときや、液体洗剤、柔軟剤の種類を変えるときには、液体洗剤タンクや柔軟剤タンク・タンク取付部のお手入れを実施してから液体洗剤、柔軟剤を補充してください。→(P.78)	


電源プラグを抜き差ししても「F○○」が繰り返し表示される場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
ご不明な点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。→(P.107)

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。

音 マークの音は、ホームページからサンプル音が試聴できます。
(音は水道水圧、洗濯物の量、本体の設置環境などにより異なります)
2018_bd

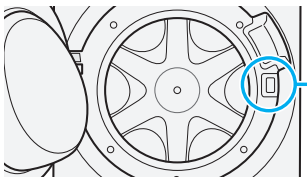
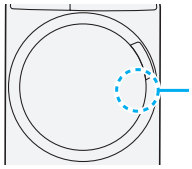
こんな音がしたときは		音の原因(故障ではありません)	
洗濯運転しているとき	ジュジュ	給水中の音です。 給水圧が高いと大きくなる場合があります。 水栓(蛇口)を少ししぼって給水量を調節してください。	音
	グー	自動投入が作動している音です。	音
	ズズズッ	循環ポンプが空気を吸い込む音です。 循環ポンプの音が一時的に大きくなることがあります。	音
	シャー	洗いやすすぎの泡を低減するためのシャワー水を流している音です。	—
	ウォーン・ウィーン	循環ポンプの運転音です。	音
	ウィーン	「温水ミスト」「温め自動」作動時の温水ミストポンプの運転音です。	音
	ブーン	コントロール基板を冷却している音です。	—
	キィーン	モーターの運転音です。 脱水はドラムの回転する速度が段階的に速くなっていくため、回転速度が上がると音が大きくなることがあります。	音
	ポコポコ	排水ホース内部にたまった水と空気が混ざったときに発生する音です。	—
	シャー・ポコポコ	すすぎ運転中に「自動おそうじ」が作動している音です。	音
乾燥運転しているとき	ブォー	ジェット送風ファンやモーターの運転音です。 乾燥運転中にジェット送風ファンの音が一時的に大きくなることがあります。	音
	キィーン		
	シャー	除湿乾燥用の冷却水を流している音です。	—
	ポコポコ	排水ホースから出る空気が、排水ホース内部や排水トラップにたまった水と混ざることで発生する音です。	音
		洗濯機用の排水トラップ・配管以外から「ポコポコ」と音がしている場合には、除湿方式を「水冷除湿方式」に変更してください。 **→(P.69 除湿方式を変更する)**	—
		乾燥フィルターが目詰まりし、槽内の圧力が変化して発生する音です。	—
	シャパシャパ	排水トラップ内に送っている空気が、排水トラップ内の水に当たっている音です。	—
	ヴォー	運転条件により、排水ホースに流れる空気が増え、音が大きくなることがあります。	—
お湯取運転しているとき	ブーン	風呂水ポンプの運転音です。	音
	ポコポコ	風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。	—
ドラムを手で回したとき	シャパシャパ	運転していないときに、ドラムを手で回すと、水が流れるような音がします。脱水時にバランスをとるために、バランスリングに入れてある水の音です。	音

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
① 音	排水口から音がする	空冷除湿方式では、乾燥運転中に湿った空気を排水口へ排出しているため、排水口から音がする場合があります。 気になる場合は設定を変更してください。**→(P.69 除湿方式を変更する)**
		洗濯機用の排水トラップ・配管以外から「ポコポコ」と音がしている場合には、 除湿方式を「水冷除湿方式」に変更してください。**→(P.69 除湿方式を変更する)**
	運転終了時に音が大きくなる	ジェット送風ファンの動作確認のために送風運転しています。
	運転中に電源ボタンを押した場合、または運転終了時に水が流れる音がする	排水口からのにおいの逆流を防ぐため、「排水トラップ給水中」が点滅し、排水トラップへ水をためています。 約3～12分後に電源が切れます。
	乾燥運転時に乾燥フィルター部から音がする	乾燥フィルターが奥までしっかりと取り付けられていないと「ピー」と音が発生しますが、故障ではありません。 乾燥フィルターを奥までしっかりと取り付けてから運転をしてください。
② 振動	振動や騒音が気になる	輸送用ボルトが取り付けられたままになっていないか確認してください。 **→(据付説明書 P.7)**
		付属品の水準器の気泡が円の中に入っていることを確認してください。 **→(据付説明書 P.22)**
		ドラム式洗濯乾燥機は横向きに回転しているため、振動が床に伝わりやすくなります。 低振動モードに設定してください。**→(P.69 脱水運転時の振動や音を抑える)** 床が弱い場合には、別売りの「補強板」をご使用ください。**→(据付説明書 P.8)**
		「洗▸乾」運転の場合、乾燥行程中に高速脱水を行います。床の強度などの条件によっては、運転中に振動が大きくなる場合があります。 乾燥行程の脱水モードを「中速モード」、または「低速モード」に変更してください。 **→(P.68「洗▸乾」運転時の振動や音を抑える)**
③ 給水口・給水	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)の形状が合っているか確認をしてください。**→(据付説明書 P.5)**
		ワンタッチつぎてやユニオンナットの締め付けに緩みがないか確認してください。 **→(据付説明書 P.6)**
		水栓(蛇口)を長年使用していると経年劣化やさびなどで水漏れすることがあります。 水道工事店へご相談することをおすすめします。
	洗い・すすぎの途中で給水する	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生し、泡センサーが検知して排水・給水することがあります。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。 **→(P.22、23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)**
	一時停止をしたとき、水がドラム内に出てくる	給水中に本体内部の配管経路に残った水が出てくる場合があります。
	給水が止まらない	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡を消すための給水をします。 (最大15分間) 洗剤は表示に従って適量を入れてください。 **→(P.22、23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)**

お困りのとき　つづき

こんなときは		ここを確認してください
④ 排水口・排水	排水口が詰まる	排水口を定期的にお手入れしてください。→**(P.83 排水口・排水トラップ)** それでも詰まる場合は、別売りの「糸くずボックス」を設置することをおすすめします。 →**(P.104 別売り部品)**
	排水口の周りがぬれている(泡立ち、ぬれている)	排水ホースや排水エルボ、排水トラップカバーが正しく設置されているか確認してください。→**(据付説明書 P.14、16～19)**
		「空冷除湿方式」では、乾燥運転中に湿った空気を排水口に排出するため、排水トラップカバーから水が出て周囲がぬれる場合があります。 気になる場合は設定を変更してください。→**(P.69 除湿方式を変更する)**
		洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は表示に従って適量を入れてください。 →**(P.22、23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)**
⑤ ドア	ドアが開かない	電源が入っている状態で「 🔒 」または「 高温 」が点灯しているときは、ドアを開けられません。→**(P.30～32 ドアのロックを解除する、運転中にドアを開けるとき)**
		ドアロックを設定している場合は解除してください。 →**(P.30 ドアロック(チャイルドロック)について)**
		水位が高いとドアのロックが解除されません。 ドアを開けたいときは、脱水運転をして排水してください。→**(P.30 ドアのロックを解除する)**
		ドラムやジェット送風ファンが回転しているときは、ドアは開けられません。 回転が止まるまで、お待ちください。
	ドアが閉まらない	ドアロック部に異物が詰まっていないか確認してください。 
		ドア中央右側(右開きドアタイプの場合は中央左側)を押して、しっかり閉めてください。 
		閉じ込め防止機能を設定している場合は、解除ボタンをスライドさせてドアハンドルを元の状態に戻してください。→**(P.31 閉じ込め防止機能について)**
⑥ ドラム	初めて使用するのに、ドラムや排水ホースがぬれている	工場出荷時の動作確認に使用した際の残水や結露した水分でぬれている場合があります。
⑦ 電源	運転途中で止まっている・運転の途中で電源が切れる	ドラムを回転させるモーターの温度が規定値を超えたときに、安全のため電源が切れます。 約1時間待ってから、再度運転してください。
⑧ 洗剤ケース	洗剤ケースに水が残っている	キャップが奥までしっかり取り付いているか確認してください。
		柔軟剤などの蓄積による汚れが付着していると、サイホン現象が働かず水が残ることがあります。 残水がある場合は、洗剤ケースの穴、キャップ、キャップの穴をお手入れしてください。→**(P.77 洗剤ケース)**

こんなときは		ここを確認してください
⑧ 洗剤ケース	洗剤ケースに水が残っている	本体が傾いて据え付けられていると、洗剤ケース内の水が残る場合があります。 付属品の水準器の気泡が円の中に入っているか確認してください。 **→(据付説明書 P.22)**
		柔軟剤の投入口は、サイホン現象により水を排出する構造のため少し水が残ります。
⑨ 自動投入部(柔軟剤タンク/液体洗剤タンク)	自動投入されない	自動投入が設定されているかを確認してください。**→(P.18 自動投入の設定・解除)**
		「おしゃれ着」コース、「洗い」なし、「温水ミスト(90分)」運転の場合は、液体洗剤の自動投入は設定できません。「すすぎ」なしの場合は、柔軟剤の自動投入は設定できません。
		液体洗剤タンク・柔軟剤タンクが正しく取り付けられているかを確認してください。 **→(P.17 自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の入れかた)**
		自動投入時、液体洗剤や柔軟剤の入れ間違いに注意してください。
		液体洗剤タンク・柔軟剤タンク内の液体洗剤や柔軟剤の残量を確認してください。 **→(P.17 自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の入れかた)**
		下記の場合は、液体洗剤タンク・柔軟剤タンク内に変質した洗剤成分が残っている場合があります。 ・透明ふたを開けたまま放置したときや残量が少ないまま放置したとき ・タンク内の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になったとき ・粘性の高いもの、固まったものや分離したものを使用したとき ・自動投入機能を1か月以上使わなかったとき お湯(約40℃)に約10分間浸し、泡立ち、ぬめりがなくなるまですすいでください。 上記を確認し、それでも自動投入されない場合は、自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)と液体洗剤・柔軟剤経路が詰まっているおそれがあります。 「9時間」設定で液体洗剤・柔軟剤経路のお手入れをしてください。 **→(P.79 自動投入部と液体洗剤・柔軟剤経路)**
		1回あたりの使用量はわずかなため、目視では正しく自動投入されたかどうか分からないことがあります。
	自動投入設定時に手動投入した	自動投入と手動投入が同時にされるため、洗剤・柔軟剤の入れ過ぎになります。
	自動投入設定時に漂白剤を使用する	スタート後に、洗剤量(目安)表示に従って、洗剤ケースに入れてください。 **→(P.20〜23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)**
	自動投入部ふたがぬれている	下記の場合は、自動投入部ふたに結露水が発生する場合があります。 ・「温水ミスト」、お湯取運転を設定した場合や乾燥運転をした場合、ドラムが温められ、蒸気により結露が発生しやすくなります。 自動投入部ふたをぬれたまま放置すると、カビが発生するおそれがあります。 自動投入部ふたを乾いた布でふき取る、または自然乾燥させてください。
⑩ 乾燥フィルター	乾燥フィルターがぬれている	下記の場合は、乾燥フィルターや乾燥フィルター取り付け部に結露水が発生する場合があります。 ・洗濯運転のみを行った場合でも、結露水が発生する場合があります。 ・「温水ミスト」、お湯取運転を設定した場合や、「ダニ対策」コースを運転している場合、ドラムが温められ、蒸気により結露が発生しやすくなります。 ・乾燥運転を途中で停止させた場合や、洗濯物が完全に乾かずに終了した場合。 ・乾燥フィルターが目詰まりしている場合。 乾燥フィルターをぬれたまま放置すると、カビが発生するおそれがあります。 乾燥フィルターを取り外して乾いた布でふき取る、または自然乾燥させてください。
	乾燥フィルターにほこりがたまらない	乾燥運転時の除湿方式が「水冷除湿方式」に設定のとき、ほこりは水冷除湿用の水と一緒に排出されるため、たまるほこりの量が少なくなる場合があります。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
11 風呂水吸水口・風呂水栓	お湯取設定しても風呂水吸水されない	お湯取ホース先端のクリーンフィルターに、ゴミなどが詰まっていないか確認してください。**→(P.81 お湯取ホース・クリーンフィルター)**
	浴槽内の風呂水が減らない	ドラム式洗濯乾燥機は節水型のため、風呂水使用量も少なく、風呂水を吸水していないように見える場合もあります。
		洗濯物の量が少ないとき(2kg以下)、吸水しない場合があります。
12 本体	表示部がくもる	乾燥運転時、ドラムが温められ、蒸気や湿気で表示部がくもることがあります。 くもりが消えるまでしばらくお待ちください。
	乾燥運転時に床面がぬれている	乾燥中の湿気で床面が結露することがあります。 別売りの「洗濯機用トレーYT-4」を設置していただくことをおすすめします。 **→(P.103 別売り部品)**
13 自動おそうじ	自動おそうじが設定できない	設定できないコースがあります。設定可能なコースを確認してください。 **→(P.54 自動おそうじを使う)**
	注水すすぎ動作中に排水する	注水すすぎを設定している場合は、自動おそうじ行程の前に、本体の振動を抑制するために排水することがあります。
14 運転動作	スタートボタンを押すと水が抜ける	ドラム内に約3L以上の水が入っている状態でスタートすると、排水したあとに運転が始まります。
	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。 **→(P.22、23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)**
		洗濯物の片寄りを直すために、すすぎを追加することがあります。 (残時間表示は増えますが、すすぎ回数の表示は変わりません)
		すすぎ行程での脱水時に洗濯物の片寄りを直せなかった場合は、自動で「注水すすぎ」に変更します。
		すすぎ設定を2回以上に設定している場合、最終すすぎ以外は「回転スプレーすすぎ」になります。
	「注水」が表示されているのに注水しない	最終すすぎが注水の場合、注水すすぎの途中から柔軟剤を浸透させるため、注水を行いません。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	脱水運転中に「高温」が点灯する	「柔らか」コースを運転していると、脱水運転中にヒーターを使用するため、「高温」が点灯します。
	運転中に靴下やハンカチがドアの内側とドアパッキンの間に挟まる	靴下やハンカチなどの小物類は、洗濯ネットに入れて運転してください。
		小物類はドラムの奥側に入れてから、残りの洗濯物を入れて運転してください。
		別売りの「お洗濯キャップ」をご使用ください。**→(P.102 別売り部品)**
	脱水後にほぐし動作をしない	「温風ほぐし脱水」が設定なしの状態で、すすぎ運転、または脱水運転から運転を開始した場合は、脱水終了後のほぐし動作を行いません。
		洗濯物が約6kg以上の場合は、ほぐし動作を行わない場合があります。
	脱水が不足していると感じる	脱水の時間設定を長くしてください。気になる場合は、脱水具合を調節してください。 **→(P.67 脱水具合を調節する)**

こんなときは		ここを確認してください
14 運転動作	自動投入の表示が点灯しない	自動投入が設定されているかを確認してください。**→(P.18 自動投入の設定・解除)**
		「おしゃれ着」コース、「洗い」なし、「温水ミスト(90分)」運転の場合は、液体洗剤の自動投入は設定できません。「すすぎ」なしの場合は、柔軟剤の自動投入は設定できません。
	運転終了時にドアの内側や下部、ドアパッキンに水滴がつく	洗濯中に飛び散った水滴が残る場合があります。 気になる場合は、タオルなどで拭き取ってください。
	運転終了後に、ドラムの内側に洗濯物がはり付く	下記をお試しください。 ・「柔らか」コースを運転してください。 ・「温風ほぐし脱水」を設定してください。 **→(P.71 脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる(温風ほぐし脱水))** ・少量の洗濯物の時は、洗濯物の量を増やして運転してください。
		それでも洗濯物がはり付くときは ・柔軟剤のご使用をおすすめします。 ・「洗▸乾」運転の場合、乾燥行程の脱水モードを「低速モード」に変更してください。 **→(P.68「洗▸乾」運転時の振動や音を抑える)**
	乾燥運転中に水を使用している	「乾燥15/30/60/90分」「ナイト」「スチームアイロン」「消臭除菌」「花粉」コースでは、乾燥運転中に水を使用します。
		「水冷除湿方式」に設定しているか確認してください。**→(P.69 除湿方式を変更する)**
		使用環境(水温や室温)や洗濯物の量、配管状態によって、水を使用する場合があります。
	洗濯コースで「しっかり」が設定できない	脱水の時間設定が1分の場合、「しっかり」が設定できません。
	「静止乾燥」コースが設定できない	「水冷除湿方式」の場合は設定できません。 「空冷除湿方式」に設定を変更してください。**→(P.69 除湿方式を変更する)**
	洗い動作中にドラムが回転していない	洗濯物の片寄り具合によっては、洗剤溶かし動作後、少しの間片寄りによる振動を防ぐため、ドラムを回転させません。
	運転が終了しても、すぐに終了音が鳴らない	洗濯物の量や組み合わせによっては、運転終了後に排水口からのにおいの逆流を防ぐための給水を行います。 その場合、表示が消えてから終了音のメロディが鳴るまでに約3～12分かかります。
	洗い動作中に押し洗いをしていない	洗濯物の量が少ないときや片寄り具合によっては、洗濯物の片寄りによる振動を防ぐため、押し洗いをしません。
		「おいそぎ」「毛布」「デリケート」「おしゃれ着」コースでは、押し洗い運転はしません。
	洗い動作中に排水する	室温が高い状態で連続運転すると、洗い動作中に洗いの水を一時排水する場合があります。
	温水ミストの表示が点灯しない	温水ミストが設定されているかを確認してください。**→(P.55 温水ミスト・温め自動を使う)** 温水ミスト「温め自動」:「毛布」「デリケート」「おしゃれ着」コース、乾燥運転、清潔運転では設定できません。 温水ミスト「30分」「90分」:「標準」コースのみ設定できます。
	温水ミストの表示が消えてしまう	下記の場合、温水ミストが設定できないため、自動的に消灯します。 ・あらかじめ水が入った状態で運転を開始したとき。 ・温水ミスト「温め自動」で、室温が8℃以上、かつ水温が13℃以上のとき。
	温水ミスト動作中に排水する	温水ミスト「90分」設定では、泡の発生を抑制するために、洗いの水の一部を排水します。異常ではありません。

お困りのとき　つづき

こんなときは		ここを確認してください
⑮ 運転時間	運転時間が長い	脱水運転中に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。
		洗濯運転の途中で洗濯物を追加すると、最初に自動計測された洗濯物の重さより重くなるので、運転時間が長くなる場合があります。
		洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、最初に表示された残時間は、実際の運転時間と異なる場合があります。
		洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、自動で泡を消す動作を行うため、最大15分運転時間が長くなります。 洗剤は表示に従って適量を入れてください。 **→(P.22、23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)**
		「温水ミスト」「温め自動」を設定している場合は、通常運転より動作時間が長くなります。 **→(P.55 温水ミスト・温め自動を使う)**
		AIお洗濯で、汚れの量が多いときは、洗い行程の運転時間が長くなる場合があります。 (衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)
		自動投入を設定すると、液体洗剤や柔軟剤の投入動作や液体洗剤・柔軟剤経路の洗浄動作が行われるため、運転時間が長くなる場合があります。
	予約した時間に運転が終わらない	洗濯物の量や布質、給水量によって、予約した運転終了予定時間より、実際の運転終了時間が遅くなる場合があります。**→(P.64 予約運転をする)**
	洗濯時間が長い	水温が13℃以下の場合は、自動で洗濯時間が長くなることがあります。
	乾燥時間が長い	乾燥フィルターが目詰まりしていると、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥フィルターは乾燥運転が終わったあと毎回お手入れしてください。 **→(P.74、75 乾燥フィルター)**
		水栓(蛇口)が開いているか確認してください。 給水されないと、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。
		給水温度が30℃以上になると、除湿効果が低下し、乾燥時間が長くなります。 乾燥時の給水には、30℃以上の水は使用しないでください。
		排水ができない場合、正常に乾燥運転ができなくなります。排水ホースや排水口、排水トラップのお手入れをしてください。**→(P.83 排水口・排水トラップ)**
		本体を置いている場所の室温が5℃以下、または30℃以上ではないか確認してください。 室温が低過ぎたり、高過ぎたりすると、乾燥時間が長くなります。
		配管状態によっては、乾燥途中で水を使う運転になる場合があり、そのときは時間が長くなることがあります。
		洗▶乾コースで、乾燥時間30、60、90分を設定した場合でも、衣類の片寄り具合によっては脱水に時間がかかるため、乾燥時間が長くなることがあります。

操作パネルの表示内容 〔「C○○」などの表示が出たとき→(P.86、87)〕

こんなときは		ここを確認してください
⑯ 洗剤量表示	洗濯物の量が少なくても、洗剤量目安表示が多めに表示される	洗濯物が湿気を多く含んでいたり、ぬれていたりすると、洗濯物の量が多めに計測されます。
		厚手の洗濯物は重いため、洗濯物の量が多めに計測される場合があります。
	洗濯物の量が多くても、洗剤量目安表示が少なめに表示される	洗濯物の片寄りが大きかったり、絡まっていたりすると、正確に洗濯物の量が計測できないため、少なめに計測されます。 片寄りを防ぐため、洗濯物をドラムに入れる際はご注意ください。
		化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに計測される場合があります。
	洗剤量目安表示が遅い・表示が出ない	洗濯物の量の計測には、30秒～2分かかります。 ドラム内に約3L以上の水が入っている状態でスタートした場合は表示が出ません。
	「おいそぎ」コースで洗剤量目安表示の0.6杯、0.7杯、0.9杯、1.0杯、1.1杯が表示されない	「おいそぎ」コースの場合、洗剤量目安表示は0.3または0.5杯の表示となります。
	「デリケート」コースで洗剤量目安表示の0.9杯、1.0杯、1.1杯が表示されない	「デリケート」コースの場合、洗剤量目安表示は0.3、0.6、0.7杯の表示となります。
⑰ 運転中表示	「スタート」ボタンのLED表示を消したい	電源を入れたときのLED表示を消灯させることはできません。 「スタート」ボタンを押すと消灯します。
	「衣類片寄り見直し中」が表示される	洗濯物の片寄りが大きいと、運転を見直すため表示されます。
	「運転見直し中」が表示される	AIお洗濯中や泡消し動作、「ダニ対策」コース時の温風行程中、乾燥中の残時間を見直しています。

お困りのとき　つづき

こんなときは		ここを確認してください
⑰ 運転中表示	「排水トラップ給水中」が表示される	排水口からのにおいの逆流を防ぐため、排水トラップへ水をためています。
	電源ボタンを押しても表示が消えない	運転中に電源ボタンを押すと、排水口からのにおいの逆流を防ぐため、「排水トラップ給水中」が点滅し、排水トラップへ水をためる場合があります。 約3～12分後に電源が切れます。
⑱ 残時間表示	洗い中に残時間が点滅する	AIお洗濯が、運転中に点滅することがあります。 汚れの落ち具合を見分けて、汚れの量が多いときは洗い行程の運転時間が長くなります。 (衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)
	すすぎ中に残時間が点滅する	「ダニ対策」コースの温風加熱運転中に点滅することがあります。 洗濯物の温めが足りない場合、運転時間を自動で追加するためです。
	脱水運転後に残時間が点滅する	温風ほぐし脱水、またはほぐし脱水中の表示です。 **→(P.71 脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる(温風ほぐし脱水))** 温風ほぐし脱水、またはほぐし脱水中に「一時停止」ボタンを押すと、自動的に電源が切れ、洗濯物を取り出すことができます。
		「柔らか」コースでの脱水運転中に、洗濯物に温風を吹きかける動作をしているときの表示です。
	乾燥運転中に残時間が減らないで点滅する	洗濯物の乾きが足りない場合に、運転時間を自動で追加しています。 (1～2時間運転を続けることがあります)
	脱水の設定時間より残時間表示が多い	実際の脱水運転時間に、排水動作や洗濯物の片寄りを修正する動作などの時間が含まれるため、残時間表示が多くなります。
	運転開始直後の残時間表示が前回よりも長くなっている	前回運転時の給水時間が長かった場合は、給水時間を補正するため、残時間が長く表示されます。
	残時間1分表示が長い	「スチームアイロン」コース運転時、ドラム内の温度を下げる冷却運転を追加するため、時間が長くなります。
	乾燥中に残時間表示が増える(減る)	洗濯物の脱水具合により、運転内容を見直す場合があります。
	「000」が表示される	ふんわりガードを運転している状態です。 スタートボタンを押すと表示が消灯し、運転が終了します。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
⑲洗剤残りがある (白いものが残る)	洗剤は洗剤ケースの正しい投入口に入れてください。 **→(P.20 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた)** ・直接ドラムに入れると溶け残る場合があります。 ・ジェルボール型洗剤などは、直接ドラムに入れてください。
	粉石けん(天然油脂)は使用できません。故障・水漏れの原因になります。
	それでも洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・自動投入の洗剤量を「少なめ」に設定してください。**→(P.18 自動投入時の設定・解除)** ・「ナイアガラすすぎ」を設定して運転してください。**→(P.58 ナイアガラすすぎを使う)** ・すすぎの回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。 **→(P.60 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定変更する)** ・洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
⑳糸くずが気になる	ドアガラス、ドアパッキンに糸くずが付着した場合は、柔らかい布でふき取ってください。 また、糸くず付着を減らしたい場合は、「脱水/乾き具合」ボタンで乾き具合を「しっかり」に設定して運転してください。**→(P.67 乾き具合を調節する)**
	糸くずフィルターをお手入れしてください。**→(P.72、73 糸くずフィルター)**
	「温水槽洗浄」「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.84 温水槽洗浄・槽洗浄コース)** ・ドラム内部に固形の汚れ(糸くずなどの固まり)がたい積していることがあります。 ・タオルなどのほこりの出やすい洗濯物を乾燥したあとに、色の濃い洗濯物洗濯した場合、糸くずが気になることがあります。
	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 ・「ナイアガラすすぎ」を設定して運転してください。**→(P.58 ナイアガラすすぎを使う)** ・すすぎの回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。 **→(P.60 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定変更する)** ・糸くずが気になるものは裏返して運転してください。 ・タオル・バスタオルなどは別にして洗ってください。
㉑汚れ落ちがわるい	洗剤は洗剤ケースの正しい投入口に入れてください。 **→(P.20 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた)** 直接ドラムに入れると、高濃度洗剤液を作ることができません。
	洗剤は表示に従って適量を入れてください。 **→(P.22、23 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)** ・洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちがわるくなります。 ・洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生して、たたき洗いの効果が小さくなったり、洗濯途中で泡消し動作(排水・給水する)を行ったりする場合があるため汚れ落ちがわるくなります。
	AIお洗濯を設定してください。**→(P.52 AIお洗濯を使う)**
	洗濯物を入れ過ぎていないか確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。**→(P.33 運転コースの選びかた)**
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは下記をお試しください。 ・予洗いをして、洗い時間を長く設定してください。 **→(P.60 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定変更する)** ・すすぎの回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。 **→(P.60 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定変更する)**
	温水ミストを設定してください。**→(P.53 温水ミスト・温め自動を使う)**
	自動投入の基準量を設定してください。**→(P.16 自動投入時の洗剤や柔軟剤の基準量を設定)** 使用する液体洗剤や柔軟剤に記載されている使用量の目安を確認してください。
	液体洗剤タンクに液体洗剤を入れたまましばらく使わないと、汚れ落ちがわるくなります。
	自動投入の洗剤を「多め」に設定してください。**→(P.18 自動投入の設定・解除)**

お困りのとき　つづき

こんなときは	ここを確認してください
22 黒ずみが気になる	洗剤・柔軟剤は洗剤ケースに入れてください。 **→(P.20 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)** 洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	自動投入が設定されているか確認してください。**→(P.18 自動投入の設定・解除)** 液体洗剤や柔軟剤がタンクに入っていることを確認し、自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の基準量を設定してください。**→(P.16 自動投入の使いかた)**
	液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。洗剤を粉末合成洗剤に変えてお試しください。
	ぬれた洗濯物を入れたままにしないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。
	井戸水を使用したとき、水質により異物の混入や黒カビが発生する場合があります。
23 黄ばみが気になる	洗剤・柔軟剤は洗剤ケースに入れてください。 **→(P.20 手動投入時の洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた)** 洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	自動投入が設定されているか確認してください。**→(P.18 自動投入の設定・解除)** 液体洗剤や柔軟剤がタンクに入っていることを確認し、自動投入時の液体洗剤や柔軟剤の基準量を設定してください。**→(P.16 自動投入の使いかた)**
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・自動投入の洗剤量を「多め」に設定してください。**→(P.18 自動投入の設定・解除)** ・「温水ミスト」30分を設定してください。**→(P.55 温水ミスト・温め自動を使う)** ・「ナイアガラすすぎ」を設定して運転してください。 ・予洗いをする、または洗い時間を長く設定してください。 **→(P.60 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定変更する)** ・すすぎの回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」に設定してください。 **→(P.60 洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定変更する)**
24 色移りや変色が気になる	洗濯物の取り扱い表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどに水を通して確認してください。 さびが含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
25 洗濯物がゴワゴワする	下記をお試しください。 ・柔軟剤をご使用ください。 ・「柔らか」コースで運転してください。**→(P.34 洗濯・洗濯～乾燥する)** ・「温風ほぐし脱水」を設定してください。 **→(P.71 脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる(温風ほぐし脱水))**
	乾いたあとごわつきが気になる洗濯物は、下記をお試しください。 ・乾燥時間「30分」設定で運転してください。 **→(P.36 時間設定して運転する場合)** ・「スチームアイロン」コースで運転してください。 **→(P.50 スチームアイロンを使う)**

こんなときは	ここを確認してください
26 においがする	ご購入後しばらくの間、ゴム部品などのにおいがすることがあります。 使用するにつれて、においはなくなります。
	水栓(蛇口)が開いているか確認してください。 乾燥運転終了時、排水口からのにおいの逆流を防ぐため、排水トラップへ水をためるため、蛇口を開けずに運転した場合、においの原因になります。
	乾燥運転中に一時停止をしたまま放置すると、排水トラップ内にたまっている水がぬけたままとなり、排水口のにおいが上がってくる場合があります。 **一時停止をしたまま放置しないでください。**
	乾燥運転中にコンセントを抜いたり、停電などで電源が切れた場合には、排水トラップ内にたまっている水がぬけたままとなり、排水口のにおいが上がってくる場合があります。 **排水トラップに直接水(約1L)をためるか、「洗い」と「脱水」運転を実施して、排水トラップに水をためてください。**
	ドラムに石けんかすや汚れなどが蓄積すると、においの原因となります。 **「温水槽洗浄」「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.84 温水槽洗浄・槽洗浄コース)** においがしない場合でも、におい予防のため定期的な運転をおすすめします。
	排水口に糸くずなどがたまっていないか確認してください。 **→(P.83 排水口・排水トラップ)** 排水口が詰まっていると、においの原因になります。
	ふたに穴のついた排水トラップに排水ホースを接続している場合は、排水トラップカバーが正しく取り付けられているか確認してください。→(据付説明書 P.18、19) 正しく取り付けられていない場合、においの原因になります。
	乾燥運転時の除湿方式を「水冷除湿方式」に変更してください。 **(ただし、乾燥運転時に使用する水の量が増えます)→(P.69 除湿方式を変更する)** 「空冷除湿方式(工場出荷時)」の場合、設置条件(排水トラップの形状や排水管の状態など)によっては、乾燥運転中に排水口のにおいが上がってくることがあります。 **設定を変更してもにおいが気になる場合には、「温水槽洗浄」「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.84 温水槽洗浄・槽洗浄コース)**
	香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることがあります。
	(入浴剤入り)風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後や生乾きの状態で洗濯物を放置すると、においの原因になります。運転終了後は洗濯物をすぐに取り出してください。
	排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 **においが気になる場合は、別売りの「洗濯機用排水トラップ」をお買い求めいただき、設置されることをおすすめします。→(P.104 別売り部品)** ※排水トラップの取り付けには、排水・配管などの工事が必要です。
	「香り」コースを運転すると、ドラム内に柔軟剤のにおいが残る場合があります。
	液体洗剤や柔軟剤経路の詰まりなどにより、においの原因になります。

お困りのとき　つづき

こんなときは	ここを確認してください
27 柔軟剤の効果がない	柔軟剤タンク内の柔軟剤の残量が少ないまま長時間放置したときやしばらく自動投入を行わなかった場合、柔軟剤タンクが詰まって、規定量が投入されないおそれがあります。 また、柔軟剤の香り成分が変化する場合もあります。 柔軟剤タンクをお手入れしてください。 **→(P.78 自動投入部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)・タンク取付部)**
28 乾きがわるい	お好みの時間設定で追加の乾燥運転をしてください。 **→(P.36 時間設定して運転する場合)**
	洗濯物が多く入っていると、乾きがわるくなる場合があります。 洗濯物の量を減らしてください。
	乾燥フィルターが目詰まりしていると、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥フィルターは乾燥運転が終わったあと毎回お手入れしてください。 **→(P.74、75 乾燥フィルター)**
	乾燥運転中に乾燥フィルターを外すと、乾きがわるくなる場合があります。 運転中は乾燥フィルターを外さないでください。
	洗濯物が絡んだまま乾燥すると、乾きムラになる場合があります。 脱水運転後に一度洗濯物の絡みをほぐしてから、乾燥運転をしてください。
	脱水が不十分な洗濯物を乾燥すると、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 脱水運転をしたあとで、乾燥運転をしてください。
	水栓(蛇口)が開いているか確認してください。 「空冷除湿方式」に設定の場合でも、使用環境(水温や室温)や洗濯物の量、配管状態によって、水を使用する場合があります。給水されないと、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。乾燥運転のみの場合も同様です。
	洗濯物の組み合わせや、気温が低い場合(時に冬場など)には、乾きムラになる場合があります。 「脱水/乾き具合」ボタンで乾き具合を「しっかり」に設定してください。 **→(P.67 乾き具合を調節する)**
	排水ができない場合、正常に乾燥運転ができなくなります。 排水ホースや排水口、排水トラップ、糸くずフィルターのお手入れをしてください。 **→(P.83 排水口・排水トラップ)** **→(P.72、73 糸くずフィルター)**
	タオルなどの小さい洗濯物1枚で「スチームアイロン」コースを続けて運転した場合、運転終了後、ドラムの奥に水が残る場合があります。 洗濯物を追加して運転してください。
29 乾燥じわが気になる	洗濯物が絡んだまま乾燥運転すると、しわになる場合があります。 脱水運転後に一度洗濯物の絡みをほぐし、しわを伸ばしてから乾燥運転をしてください。
	しわを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・「ふんわりガード」を設定してください。 **→(P.70 乾燥後の洗濯物のふんわり感を保つ(ふんわりガード))** ・「スチームアイロン」コースで運転してください。**→(P.50 スチームアイロンを使う)** ・乾燥時間「30分」設定で運転してください。生乾きのまま乾燥運転が終わりますので、運転後につり干ししてください。**→(P.36 時間設定して運転する場合)**
	洗濯物の量が多いとしわになる場合があります。 洗濯物の量を約3kg以下に減らして、乾燥運転してください。
	運転終了後、洗濯物を放置すると、洗濯物の重みでしわになる場合があります。 運転終了後は洗濯物をすぐに取り出してください。

もしものとき

給水ホース内の水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く

1. 排水ホースが排水口に差し込まれているかを確認し、水栓(蛇口)を閉める
2. 切/入 を押し、電源を入れる
3. 清潔 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
   ※すぐに給水動作が始まるためです。
4. スタート 一時停止 を押し、約10秒間運転する
   給水ホース内の残水がドラム内に入ります。
5. スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する
6. 切/入 を押し、電源を切る
7. 給水ホースを外し、下に向ける
   ※残水が垂れる場合があるため、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。

ドラムの水を抜く

8. お湯取ホースを取り付けている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す→(P.26)
9. 切/入 を押し、電源を入れる
10. 脱水 を押し、脱水「1分」を設定して運転する→(P.61)
    ドラムと排水ホース内の残水が排水されます。

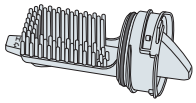
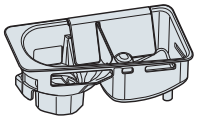
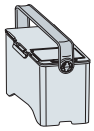
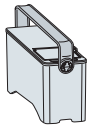
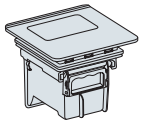
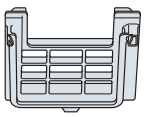
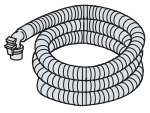
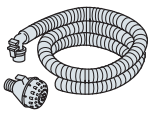
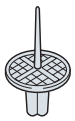
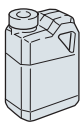
※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。

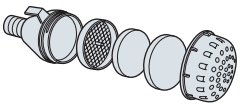
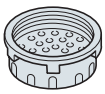
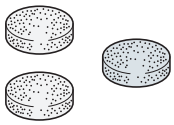
もしも凍結したとき

1. 給水ホースを外し、約40℃のお湯につける
   ※お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。
2. 約40℃のお湯を、ドラムに約5L入れ、約10分間放置する
3. 給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける
4. 切/入 を押し、電源を入れる
5. スタート 一時停止 を押し、放置する(給水弁を解凍します)
   通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(約20分程度)
6. 切/入 を押し、電源を切る
7. 次の3点を確認する
   (1)手でドラムを回せるか
   (2)電源を入れ、「脱水」を押し、脱水「1分」→(P.61)を設定してスタートし、排水するか
   (3)風呂水が吸水されるか(「標準」コースでお湯取運転の設定をして運転する)
   　風呂水ポンプの解凍は時間がかかるため、吸水できない場合は、自動で水道水給水に切り替わります。
   ※確認できない場合は、1 ～ 6 を始めからやり直してください。

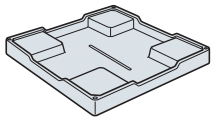
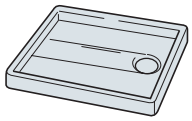
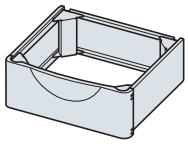
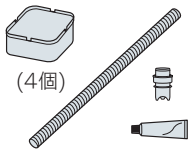
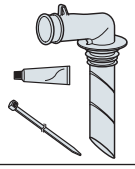
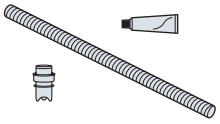
別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

こんなときに	別売り部品
毛布コースで洗濯をするとき	**お洗濯キャップ（MO-F104）** (部品番号MO-F104-001) 希望小売価格 1,200円(税別) 
糸くずフィルターが破損したとき	**糸くずフィルター** (部品番号NET-KV5-001) 希望小売価格 600円(税別) 
洗剤ケースが破損したとき	**洗剤ケース** (部品番号BD-SX110CL-002) 希望小売価格 960円(税別) 
液体洗剤タンクまたは柔軟剤タンクが破損したとき	**液体洗剤タンク** (部品番号BD-SX110CL-003) 希望小売価格 2,880円(税別) 
	柔軟剤タンク (部品番号BD-SX110CL-004) 希望小売価格 2,880円(税別) 
乾燥フィルターのフィルターが破れたときや、破損したとき	**乾燥フィルター** (部品番号BD-SX110CL-001) 希望小売価格 3,000円(税別) 
乾燥内部フィルターのフィルターが破れたときや、破損したとき	**乾燥内部フィルター** (部品番号BD-SV110BL-002) 希望小売価格 300円(税別) 
仕切り板が破損したとき	**仕切り板** (部品番号BD-SV110CL-002) 希望小売価格 350円(税別) 
お湯取ホースを延長したいとき (付属のお湯取ホース(約4m)で長さが足りない場合)	**お湯取ホース（約7m）** (部品番号NW-7P5-045) 希望小売価格 1,800円(税別) 
	お湯取ホース（約5m） (部品番号NW-7P5-046) 希望小売価格 1,700円(税別) (クリーンフィルター付き) 
風呂水吸水口のフィルターが破損したとき	**ポンプフィルター** (部品番号BD-ST9700L-003) 希望小売価格 300円(税別) 
固定ピースを紛失したときや、破損したとき	**固定ピース** (部品番号BD-ST9800L-043) 希望小売価格 300円(税別) 
洗濯物への糸くず付着やにおいが気になるときや、ドラムのにおい、汚れが気になるとき	**洗濯槽クリーナー（SK-1）** **(防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL)** 希望小売価格 2,000円(税別) 

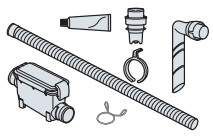
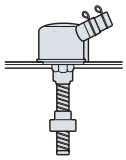
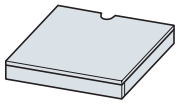
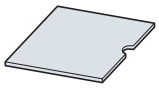
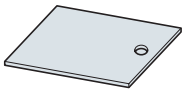
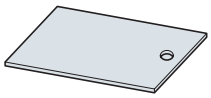
こんなときに	別売り部品
クリーンフィルターが目詰まりしたときや、破損したとき	**クリーンフィルター** (部品番号 NW-7S-059) 希望小売価格 500円(税別) 
	お湯取ポンプストレーナ (部品番号NW-60RS1-048) 希望小売価格 300円(税別) 
	お湯取ポンプフィルター(緑)(黒)セット (部品番号BW-D9JV-088) 希望小売価格 300円(税別) 
	お湯取ポンプネット (部品番号NW-7S-057) 希望小売価格 300円(税別) 

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

こんなときに	別売り部品
結露による水滴から床面を守るとき	**洗濯機用トレー(YT-4)** (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号YT-4-001) 希望小売価格 12,700円(税別) 
本体からの水漏れや、結露による水滴から床面を守るとき	**洗濯機用防水パン(TP-780)** (幅780×奥行640×高さ63mm) 希望小売価格 12,000円(税別) 工事が必要です。 
洗濯物をより取り出しやすくするため、本体を高くするとき	**設置台（TR-BD2）** 希望小売価格 15,000円(税別) 
本体を少し高くしたいとき	**据付脚（GO-BD2）** (部品番号GO-BD2-001) 希望小売価格 2,000円(税別)  (4個)
排水口が本体の下にあるとき	**直下排水キット（HO-BD4）** 希望小売価格 3,700円(税別)  (4個)
排水口に接続するとき	**Lパイプ** (部品番号BD-V3700L-003) 希望小売価格 700円(税別) 
排水ホースを延長したいとき	**延長用排水フラットホース（約83cm）** (部品番号BD-V9500L-005) 希望小売価格 1,500円(税別) 

別売り部品　つづき

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

こんなときに	別売り部品	
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	**糸くずボックス（WLB-5）** (同梱排水ホース：長さ83cm) (部品番号WLB-5-001) 希望小売価格 2,400円(税別)	
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	**洗濯機用排水トラップ（YT-T1）** 希望小売価格 4,000円(税別) 工事が必要です。	
設置面が弱いとき (防水パンがなく直下排水するとき)	**補強板（HSB-600）※** 希望小売価格 11,000円(税別)	
設置面が弱いとき (幅640mmタイプの防水パンを使用するとき)	**補強板（HSB-630）※** 希望小売価格 8,000円(税別)	
設置面が弱いとき (幅800mmタイプの防水パンを使用するとき)	**補強板（HSB-790）※** 希望小売価格 8,000円(税別)	
設置面が弱いとき (幅900mmタイプの防水パンを使用するとき)	**補強板（HSB-890）※** 希望小売価格 8,000円(税別)	

※補強板を使用するときは、別途延長用排水フラットホースが必要となる場合があります。
上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様・試験結果

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

型　　式	BD-SX110CL／BD-SX110CR	電動機の定格消費電力	140W (50-60Hz)
電　　源	100V、50-60Hz共用	電熱装置の定格消費電力	710W (50-60Hz)
標準洗濯･脱水容量	11kg (乾燥状態での布質量)	定格消費電力	980W (30℃)
標準乾燥容量	6kg (乾燥状態での布質量)	洗濯方式	ドラム式
標準水量	37L (洗濯「標準」コース)	水道水圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
標準使用水量	11kg 洗濯時 78L (洗濯「標準」コース) 6kg 洗乾時 53L (洗乾「標準」コース)	外形寸法	幅630mm×奥行715mm×高さ1,065mm
		質　　量	約80kg

このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率がJIS C 0950：2008による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/

風呂水ポンプ(本体に内蔵)

定格消費電力	40W(50-60Hz)	揚水量	毎分12L (全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき)
定格電圧	DC 24V		
定格電流	DC 1.7A	お湯取ホース内径	15mm(市販のホースは使えません)

自動おそうじの効果

	試験方法	除菌・抑制方法	対象部分	試験結果
除菌	外槽・ステンレス槽に取り付けた菌付着プレートの菌の減少率測定	自動おそうじによる	外槽・ドラム	菌の減少率99%
黒カビ抑制	外槽・ステンレス槽に取り付けたカビ付着プレートのカビ抑制確認	自動おそうじによる	外槽・ドラム	カビの減少率99%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

消臭除菌コースの効果

	試験方法	除菌方法	対象部分	試験結果
除菌	洗濯物に付着させた菌の減少率測定	温風乾燥方式	衣類に付着した菌	菌の減少率99%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

花粉コースの効果

	試験方法	除去方法	対象部分	試験結果
花粉	衣類に付着させた花粉の減少率測定	花粉コースによる	衣類に付着した花粉	花粉の減少率98%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

ダニ対策コースの効果

	試験方法	除去方法	対象部分	試験結果
ダニ対策	毛布に付着させたダニの死滅率測定(当社基準)	ダニ対策コースによる	毛布に付着したダニ	ダニの死滅率99%以上(当社換算値)
	毛布に残ったダニのアレル物質(フンや死がい)の量を測定(当社基準)	ダニ対策コースによる	毛布に残ったダニのアレル物質(フンや死がい)	ダニのアレル物質(フンや死がい)の除去率90%以上(当社換算値)

※試験依頼先：(株)エフシージー総合研究所

温水ミスト(90分)の効果

	試験方法	除菌・消臭方法	対象部分	試験結果
抑制	部屋干し臭が付着したタオルの6段階臭気強度表示法にて官能評価(部屋干し乾燥後、タオルを湿らせて評価)	温水ミスト90分による	洗濯した衣類	標準コース：臭気強度3.2 温水ミスト90分：臭気強度1.7
除菌	菌を塗布した試験布の菌の減少率測定	温水ミスト90分による	洗濯した衣類	菌の減少率99%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

洗濯乾燥機の修理以外(洗濯物の変色または損傷など)は、保証の対象外となります。

補修用性能部品の保有期間

洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→**(P.107)**にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

86～100ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	電気洗濯乾燥機
型　　式	BD-SX110CL , BD-SX110CR
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。
●車両、船舶に搭載して使用された場合。
●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検

長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●ドラムが止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手) ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。 ●乾燥時間が異常に長くなった。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

●お電話の前に・「よくあるご質問」をホームページでご紹介しております。　日立家電品 よくあるご質問 検索
・本取扱説明書の「お困りのとき」もご覧ください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/

TEL　0120-3121-11
携帯電話・PHSから　050-3155-1111（有料）
(FAX)　0120-3121-34

■受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)
年末年始は休ませていただきます。
《発信者番号通知のお願い》
「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

スマートフォンやタブレットから

①コードを読み取る　②出張修理の Web 受付 ボタンから入力画面へ　③製品型式など必要情報を入力





コードが読み取れない場合やパソコンからは

●検索からアクセス　日立家電修理 WEB 検索　https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/web.html

オペレーターとの通話をご希望の場合は

TEL　0120-3121-68
携帯電話・PHSから　0570-0031-68（有料）
(FAX)　0120-3121-87

■受付時間：9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)
《発信者番号通知のお願い》
「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

●ご相談・ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。
日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 https://parts.hitachi-cm.com/pshop/

「日立の家電品お客様サポート」のご利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- ▶ 使いかた動画
- ▶ 家電品の登録 ※1
- ▶ お知らせ
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ

① コードを読み取る

日立の家電品
お客様サポート

② 画面の案内に従ってお客様サポートのご利用や家電品の登録 ※1 を行う



※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書または製品本体の銘板に記載されている製造番号を入力してください。製品本体のコードから登録することで製造番号の入力を省略できます。

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/
●ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。
●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。
●「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

点字シール

本体の操作パネル部にお使いいただく「点字シール」をご用意しています。
「点字シール」を操作パネル部にはり付けていただくと、操作部の位置がわかるようになります。
ご希望の方は、「商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口」へご連絡をお願いします。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　電話(　　)　-

ご購入年月日　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-Q5355-2A
B9(C)